



超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成

平成30年度

活動成果報告書



金沢大学



信州大学



富山大学



福井大学



金沢医科大学



石川県立看護大学



ご挨拶

超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成
北信がんプロ 事業推進代表者 金沢大学長
山崎 光悦



文部科学省の公募事業である「がんプロフェッショナル養成プラン」は、がん対策基本法が施行された2007年にはじまり、「がんの均てん化」をテーマに全国18拠点/95大学が取り組みました。2011年からの第2期目は「教育改革、研究者育成、地域連携」をテーマに全国15拠点/100大学が、がん医療の人材育成について取り組み、その実績が高く評価されました。2017年からスタートした第3期目のがんプロ事業である「多様な新ニーズに対応する“がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）”養成プラン」では全国11拠点/80大学が採択されております。採択拠点及び参加大学の数は従来と比べ絞られており、各大学は、より大きな成果をあげることが文部科学省から求められております。

金沢大学は、第1期・第2期と、本学を中心に北陸3県の富山大学、福井大学、金沢医科大学、石川県立看護大学と連携し、5大学による「北陸がんプロ」として活動してまいりました。第3期では、新たに信州大学とも連携し、6大学による「北信がんプロ」として活動を北陸・長野の北信地域に広げました。2018年からは新たに山梨大学をオブザーバー参加として、7大学連携にてセミナーを開催するなど、新たな枠組みでの事業にも取り組んでいます。本事業は、北信地域が全国平均と比較し15年以上進んだ超少子高齢化社会であることを地域の特徴として掲げ、「超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成」というテーマで、戦略的にがん医療人を養成してまいります。

本事業は、運営を担う「がんプロ運営協議会」に地域すべてのがん診療連携拠点病院、医師会、行政が参加し、協力体制が整備されていること、患者会の方々にもご参画いただいて連携していること、6大学の学長による学長連絡協議会を設置し、大学院生の受入れ状況など事業の進捗を管理することが、がんプロ養成推進委員会でも高く評価されております。

この体制により各大学及び連携機関が一丸となり、地域がん医療の特徴を把握するためのがんデータベース化、全国e-learningクラウドによる教材の充実・共有化のほか、教員向けの海外FD研修の実施など多彩な取り組みを行っております。さらには、連携大学が合同で開催する合同市民公開講座やニュースレターなどによる教育成果の公表を行っており、本事業の成果に積み上げられつつあります。

これら「北信がんプロ」の活動が一層の成果を挙げ、他地域や都市圏でのがん医療のモデルとなりうるよう、これまで以上に取組を活発にし、推進してまいります。



北信がんプロ統括コーディネーター
金沢大学附属病院がんセンター教授

やの せいじ
矢野 聖二



本学は、ゲノム医療をメインテーマとして掲げており、本科生コースとして医師・歯科医師対象、薬剤師対象、医学物理士対象の3コースを開設しています。社会人向けのインテンシブコースとしては医師・歯科医師対象の「がんゲノム生涯教育コース」と薬剤師対象の「がん個別化薬物療法実践薬剤師コース」の2コースを平成30年4月にオープンしましたが、その後、がんゲノム医療教育のニーズが高いことから、多職種向けのインテンシブコースとして「がんゲノム多職種連携入門コース」を新たに追加でオープンしています。

どのコースにも平成30年度は目標受け入れ人数を上回るかたに受講してもらっており、「勉強になった」と高い評価をいただいています。次年度からも多くの方の受講をお待ちしております。



「がんゲノム医療の実践指導と認定遺伝カウンセラーの育成」

信州大学包括的がん治療学教授

こいずみ とも のぶ
小泉 知展



本学は 2017 年 9 月からがんクリニカルシーケンスを開始しゲノム医療の実践・指導体制を構築しました。また、家族性腫瘍や遺伝性卵巣乳がん症候群等では、その診断・遺伝子解析および遺伝カウンセリングを継続・発展させています。

第三期北信がんプロではこれらの体制のもと、「ゲノム医療に精通したがん治療医育成コース」に 2 名、「がん診療に詳しい認定遺伝カウンセラー養成コース」1 名の本科生への指導を行っています。さらに、チーム医療の重要性、希少がんを含む多くのがん種また小児から高齢者までの幅広い年代のがん種の診断・治療に精通させるため、腫瘍内科でのローテイト研修や、カンサーボードやがんサロン等での研修を通じてがん医療人の人材育成を行っています。



「2018年度の富山大学の成果報告」

富山大学附属病院臨床腫瘍部教授 はやし りゅうじ
林 龍二

今年度より本科生コースの募集が始まり、いよいよ本格始動となりました。富山大学においても本科生医師コース6名、薬剤師コース1名、インテンシブコース医師2名、薬剤師4名、看護師6名と目標人数を上回る応募をいただきました。そして、最先端のがん医療従事者育成のために現在最も注目される「がんゲノム医療」に関する研修会を重点的に開催し、多くの学生が先端医療を習得する機会を創出することができました。また、本科医師コースには学部学生の履修する枠を設け、超早期から専門医療、研究体験を積むがん専門の人材育成を図っています。来年度にはさらに各種委員会事業を発展させ、さらなる成果・実績を上げるようスタッフ一同、努力してまいります。



「患者の思いに寄り添える医師の養成」

福井大学がん診療推進センター教授 かたやま かんじ
片山 寛次

福井県のがんの現状として、5大がんを拠点病院と地域で安全、適正に提供するための診療計画「地域連携クリティカルパス」の使用が全国的にみて多いことが挙げられます。特筆すべきは全県で7年にわたり在宅緩和ケアパスを運用してきたことです。

本学は、この特色に対応できる、地域で専門的がん治療から在宅緩和までカバーできる、がん専門医の育成を課題と位置づけしました。

インテンシブコースでは「在宅緩和医療コース」「在宅栄養管理コース」を開設します。痛みの緩和や栄養、高齢者、小児のがん、さらに心の問題まで、充実した教育を実施します。

その他、希少がん対策として、特に腹膜偽粘液腫について、本学は全国的に症例を集めており、さらに他の地域からも、詳しいデータをいただいて、研究に活用します。

次年度からは、本学のコーディネーターは私から後任の廣野靖夫に代わります。今後も北信がんプロ福井大学をどうぞよろしく願いいたします。



「患者の思いに寄り添える医師の養成」

金沢医科大学腫瘍内科学教授 もお よしはる
元雄 良治

私たちは、希少がんを含むさまざまながん患者を、臓器横断的に診療できる専門家の養成を目指しています。その目的のため、北信がんプロでは本科生に「がん専門医リーダー養成コース」、インテンシブでは「集学的治療医養成コース」を設置しました。

本学は再生医療センターで、希少がんの免疫療法・再生医療に取り組んでいます。また、2018年4月からゲノム医療センター（それまでの遺伝子医療センターを発展させ改称）では、遺伝カウンセリングを中心に独自の教育内容を有しております。

腫瘍内科では、肉腫・神経内分泌腫瘍・原発不明がんなどの診療・教育・研究に携わっているのも特色です。

私たちが養成すべき人材像は、患者の思いに寄り添い、最新のエビデンス（医学的根拠）と情報を集め、患者と家族の希望をかなえるよう努力できる専門医師です。本学の教育プログラム・コース修了者が、各専門分野の専門医・認定医などの資格を取得し、地域を問わず、広く教育職・研究職・第一線の診療医として活躍できることを構想しています。



「高いアセスメント力と心のケアを担えるがん看護」

石川県立看護大学成人看護学領域教授 まきの ともえ
牧野 智恵

本学はがんプロ本科生では「がんライフステージコース」、インテンシブでは「がんライフケアコース」を開設しています。近年、AYA世代（思春期・若年成年）の子宮頸がんが増えていることもあり、予防や治療と平行して、看護師による心のケアが重要ではないかと考えております。

本科生コースは、がん患者のQOL（生活の質）の向上を目的に、小児からAYA世代、高齢者までの各ライフステージにおいて、治療・療養など全般に卓越した看護を提供できるがん看護専門看護師を育てます。富山大学・福井大学と連携し、がん看護専門看護師の育成と科目の充実を図っていきたいと思っております。

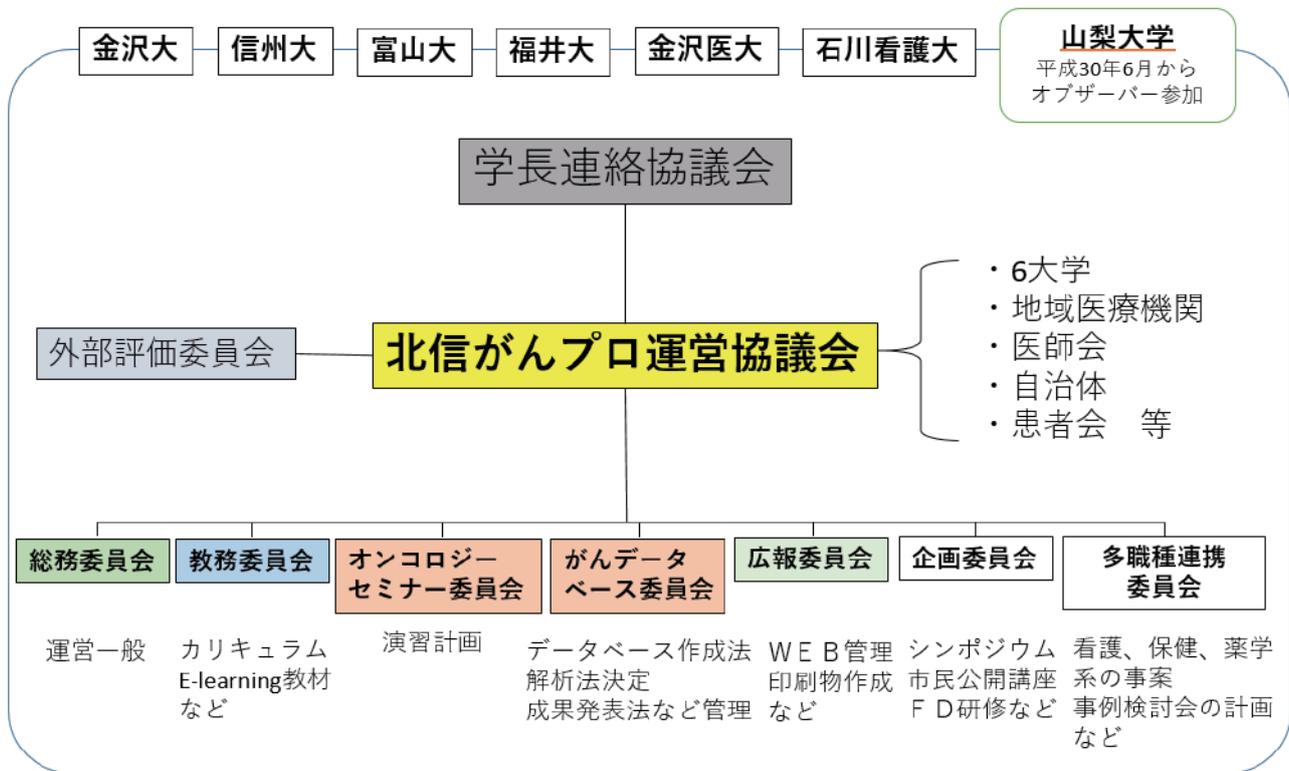
インテンシブでは、これまでのテレビ会議システムを用いた「ライフステージ事例検討会」の参加施設を増やし、看護師だけでなく医師、医療従事者を対象とした内容に発展させて実施する予定です。

特に金沢大学の薬学類とも協力して、看護学のみならず、医学、薬学の視点からがん患者支援について検討していく予定です。

北信がんプロ 実施体制・各組織委員



北信がんプロ実施体制



【学長連絡協議会】

氏名	所属	部署/役職
山崎 光悦	金沢大学長	事業統括・学長連絡協議会会長
濱田 州博	信州大学長	事業統括・学長連絡協議会委員
遠藤 俊郎	富山大学長	事業統括・学長連絡協議会委員
眞弓 光文	福井大学長	事業統括・学長連絡協議会委員
神田 享勉	金沢医科大学長	事業統括・学長連絡協議会委員
石垣 和子	石川県立看護大学長	事業統括・学長連絡協議会委員

【運営委員】

氏名	所属	部署/役職
蒲田 敏文	金沢大学	病院長
大竹 茂樹		基幹教育改革・財務・附属病院担当理事
堀 修		医薬保健学総合研究科長
多久和 陽		医学類長・血管分子生理学教授
矢野 聖二		がんセンター長 腫瘍内科教授 統括コーディネーター
中田 光俊		脳神経外科学教授 副統括コーディネーター
松下 良		臨床薬物情報学教授
溝上 敦		泌尿器集学的治療学教授

絹谷 清剛		核医学診療科長
大島 正伸		腫瘍遺伝学教授
稲垣 美智子		臨床実践看護学教授
鶴浦 雅志	国立病院機構金沢医療センター	病院長
萱原 正都		統括診療部長
常塚 宣男	石川県立中央病院	呼吸器外科科長・診療部長
土山 寿志		消化器内科部長
元雄 良治	金沢医科大学	腫瘍内科学教授・集学的がん治療センター長
安本 和生		腫瘍内科学特任教授
下平 滋隆		再生医療学教授
西野 昭夫	小松市民病院	副病院長（泌尿器科）
又野 豊		消化器内科担当部長
横川 明男	石川県済生会金沢病院	病院長
龍澤 泰彦		副病院長
安田 健二	石川県医師会	会長
上田 博		副会長
菊地 修一	石川県健康福祉部	健康福祉部次長
相川 広一		健康福祉部健康推進課長
石垣 和子	石川県立看護大学	石川県立看護大学長
牧野 智恵		実践看護学領域成人看護学分野教授
高見 俊也	北國新聞社	論説委員長
和田 真由美	「萌の会」	代表
腰地 孝昭	福井大学	病院長
谷澤 昭彦		がん専門医育成推進講座教授
片山 寛次		がん診療推進センター長 腫瘍病態治療学講座教授
磯見 智恵		看護学科成人・老年看護学教授
吉川 淳	福井県立病院	副病院長
河合 泰一		血液腫瘍内科主任医長
高木 治樹	福井赤十字病院	病院長
廣瀬 由紀		外科部長
登谷 大修	福井県済生会病院	病院長
宗本 義則		外科部長
半田 祐二	国立病院機構 敦賀医療センター	病院長
戸川 保		診療部長
木村 俊久		診療部長
大中 正光	福井県医師会	会長
広瀬 真紀		理事
宮下 裕文	福井県健康福祉部	健康増進課長
齋藤 滋	富山大学	病院長
林 龍二		臨床腫瘍部教授
北村 寛		医学薬学研究部（医学）腎泌尿器科学教授
新田 淳美		医学薬学研究部（薬学）薬物治療学教授

清水 康一	富山県立中央病院	病院長
前田 基一		がんセンター部長
石田 陽一	富山市民病院	病院長
長谷川 徹		産婦人科部長
北川 清秀	厚生連高岡病院	病院長
高仲 強		総合のがん診療センター長
藪下 和久	高岡市民病院	副病院長
菓子井 達彦		呼吸器内科主任部長
西嶋 博司	市立砺波総合病院	がん診療部長
又野 禎也		血液内科部長
桐山 正人	黒部市民病院	副病院長
角谷 直孝	富山労災病院	副病院長
石浦 嘉之		泌尿器科部長
佐々木 正寿	富山赤十字病院	副病院長
尾崎 淳		第二血液内科部長
野田 八嗣	富山県済生会高岡病院	病院長
吉田 徹		外科部長
清水 哲朗	富山県済生会富山病院	外科部長
菓子井 良郎		内科部長
梶 博久	金沢医科大学氷見市民病院	病院長
馬瀬 大助	富山県医師会	会長
前田 彰久	富山県厚生部	厚生部長
助野 吉昭		厚生部参事・健康課長
佐久間 寛	芳珠記念病院	病院長
渡辺 美智夫		副病院長
中積 泰人	金沢市立病院	呼吸器内科科長
廣瀬 宏一		外科科長
大石 尚毅		消化器内科科長
二上 文夫	金沢赤十字病院	第一外科部長
富澤 ゆかり		看護部長
渡辺 和良	地域医療機能推進機構金沢病院	副病院長
安居 利晃		統括診療部長
荒木 一郎	浅ノ川総合病院	病院長
中野 達夫		外科部長
卜部 健	白山石川医療企業団	副企業長
谷 卓	公立松任石川中央病院	病院長
上木 修	公立能登総合病院	病院長
牛島 聡		副病院長
徳楽 正人		外科部長
鎌田 徹	恵寿総合病院	副病院長
山崎 雅英		診療部長
三浦 基嗣		医事課長

本田 孝行		病院長
田中 榮司	信州大学	医学系研究科長
小泉 知展		包括的がん治療学教室教授
渡辺 仁	佐久総合病院佐久医療センター	病院長
梶川 昌二	諏訪赤十字病院	病院長
川合 博	伊那中央病院	病院長
堀米 直人	飯田市立病院	病院長
田内 克典	相澤病院	病院長
吉岡 二郎	長野赤十字病院	病院長
松田 至晃		副病院長
袖山 治嗣		外科部長兼がん治療センター長
野口 和子		がん診療連携課長
池田 宇一	長野市民病院	病院長
西村 秀紀		副病院長・がんセンター長
関 隆教	長野県医師会	会長
関 健		副会長
岡田 啓治		副会長

【総務委員】

氏名	所属	部署/役職
矢野 聖二	金沢大学	がんセンター長 腫瘍内科教授 統括コーディネーター
中田 光俊		脳神経外科学教授 副統括コーディネーター
田中 榮司	信州大学	医学系研究科長
小泉 知展		包括的がん治療学教室教授
林 龍二	富山大学	臨床腫瘍部教授
新田 淳美		医学薬学研究部（薬学）薬物治療学教授
谷澤 昭彦	福井大学	がん専門医育成推進講座教授
磯見 智恵		看護学科成人・老年看護学教授
片山 寛次		がん診療推進センター長 腫瘍病態治療学講座教授
元雄 良治	金沢医科大学	腫瘍内科学教授 集学的がん治療センター長
下平 滋隆		再生医療学教授
石垣 和子	石川県立看護大学	石川県立看護大学長
牧野 智恵		実践看護学領域成人看護学分野教授

【教務委員】

氏名	所属	部署/役職
溝上 敦	金沢大学	泌尿器集学的治療学教授
鈴木 健之		がん進展制御研究所 がん分子標的探索プログラム 機能ゲノミクス教授
田嶋 敦		革新ゲノム情報学教授
松下 良		臨床薬物情報学教授
武村 哲浩		保健学系医療科学 量子医療技術学教授
田中 榮司	信州大学	医学系研究科長
中沢 洋三		小児医学教室教授
小泉 知展		包括的がん治療学教室教授
北村 寛	富山大学	大学院医学薬学研究部(医学)教授
早川 芳弘		和漢医薬学総合研究所 病態生化学教授
小林 基弘	福井大学	腫瘍病理学教授
磯見 智恵		看護学科成人・老年看護学教授
片山 寛次		がん診療推進センター長 腫瘍病態治療学講座教授
下平 滋隆	金沢医科大学	再生医療学教授
川端 浩		血液免疫内科学特任教授
牧野 智恵	石川県立看護大学	実践看護学領域成人看護学分野教授
金谷 雅代		小児看護学講師

【広報委員】

氏名	所属	部署/役職
大島 正伸	金沢大学	がん進展制御研究所 先進がんモデル共同研究センター 腫瘍遺伝学教授
吉崎 智一		耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教授
塩沢 丹里	信州大学	産科婦人科学教室教授
新田 淳美	富山大学	医学薬学研究部(薬学) 薬物治療学教授
長田 拓哉		附属病院集学的がん診療センター(第二外科)人材育成部門長 講師
片山 寛次	福井大学	がん診療推進センター長 腫瘍病態治療学講座教授
上野 栄一		基礎看護学教授
犀川 太	金沢医科大学	小児科学教授
新井田 要		総合医学研究所先端医療研究領域教授 遺伝子医療センター長
林 静子	石川県立看護大学	基礎看護学准教授
磯 光江		老年看護学助教

【がんデータベース委員】

氏名	所属	部署/役職
中田 光俊	金沢大学	脳神経外科学教授、副統括コーディネーター
土屋 弘行		整形外科教授
谷本 梓		がん進展制御研究所 腫瘍内科助教
小泉 知展	信州大学	包括的がん治療学教室教授
野見山 哲生		衛生学公衆衛生学教室教授
中沢 洋三		小児医学教室教授
塩沢 丹里		産科婦人科学教室教授
伊藤 研一		外科学第二教室教授
林 龍二	富山大学	臨床腫瘍部教授
関根 道和		医学薬学研究部（医学）教授
吉田 好雄	福井大学	産科婦人科学教授
黒川 哲司		産科婦人科学准教授
西野 善一	金沢医科大学	公衆衛生学教授
浦本 秀隆		呼吸器外科学教授

【オンコロジーセミナー委員】

氏名	所属	部署/役職
矢野 聖二	金沢大学	がんセンター長 腫瘍内科教授 統括コーディネーター
中田 光俊		脳神経外科学教授 副統括コーディネーター
小泉 知展	信州大学	包括的がん治療学教室教授
中沢 洋三		小児医学教室教授
塩沢 丹里		産科婦人科学教室教授
伊藤 研一		外科学第二教室教授
藤井 努	富山大学	大学院医学薬学研究部（医学）教授
梶浦 新也		附属病院集学的がん診療センター緩和ケア部長 助教
片山 寛次	福井大学	がん診療推進センター長 腫瘍病態治療学講座教授
谷澤 昭彦		がん専門医育成推進講座教授
安本 和生	金沢医科大学	腫瘍内科学特任教授
木南 伸一		一般・消化器外科学臨床教授
今方 裕子	石川県立看護大学	成人看護学助教

【企画委員】

氏名	所属	部署/役職
絹谷 清剛	金沢大学	核医学教授
谷本 梓		がん進展制御研究所 腫瘍内科助教
伊藤 研一	信州大学	外科学第二教室教授
北村 寛	富山大学	大学院医学薬学研究部(医学)教授
櫻井 宏明		大学院医学薬学研究部(薬学)教授
谷澤 昭彦	福井大学	がん専門医育成推進講座教授
山下 芳範		医療情報部准教授
山田 壮亮	金沢医科大学	臨床病理学教授
川崎 康弘		精神神経科学教授
牧野 智恵	石川県立看護大学	実践看護学領域成人看護学分野教授
松本 智里		成人看護学助教

【多職種連携委員】

氏名	所属	部署/役職
松下 良	金沢大学	臨床薬物情報学教授
崔 吉道		附属病院薬剤部 薬剤部長 教授
稲垣 美智子		臨床実践看護学教授
多崎 恵子		臨床実践看護学准教授
武村 哲浩		保健学系医療科学 量子医療技術学教授
笠島 里美		保健学系医療科学 病態検査学准教授
徳丸 季聡		附属病院診療科栄養管理部栄養管理室長
内田 緑	信州大学	看護部副看護部長
間宮 敬子		附属病院信州がんセンター緩和部門教授
安田 智美	富山大学	医学薬学研究部(医学)臨床看護学成人看護学教授
八塚 美樹		医学薬学研究部(医学)臨床看護学成人看護学教授
新田 淳美		医学薬学研究部(薬学)薬物治療学教授
上野 栄一	福井大学	基礎看護学教授
繁田 里美		成人・老年看護学准教授
影近 謙治	金沢医科大学	医学部リハビリテーション医学特任教授
北村 佳子		看護学部成人看護学講師
牧野 智恵	石川県立看護大学	実践看護学領域成人看護学分野教授
金谷 雅代		実践看護学領域講師

ご挨拶

◇北信がんプロ各組織委員一覧

目次

第Ⅰ部 事業の概要

1. 事業の構想	1
2. 達成目標・評価指標	3
3. 事業の実現可能性	3
4. 平成 30 年度 教育プログラムコース一覧	7
◇本科生コース	
◇インテンシブコース	

第Ⅱ部 実績

◇平成 30 年度 教育コース受入実績	31
◇平成 30 年度 北信がんプロ行事一覧	33
◇学長連絡協議会／運営協議会	40
◇オンコロジーセミナー	52
◇がんライフステージ事例検討会	54
◇FD・国際セミナー・国際シンポジウム	56
◇合同市民公開講座／市民公開講座	66
◇海外 FD 研修会（台湾／高雄）	76
◇広報活動	79

第Ⅲ部 外部評価委員会

◇外部評価委員会（次第）	83
◇外部評価委員会 評価手順	85
◇外部評価結果	88

第 I 部 事業の概要

1. 事業の構想

概要

本事業は、県の枠を超えた北信4県（石川県、富山県、福井県、長野県）での戦略的がん医療人育成システム構築を目指し、6大学（金沢大学、信州大学、富山大学、福井大学、金沢医科大学、石川県立看護大学）の強みを生かした最先端がんゲノム医療、小児・AYA世代・希少がんの集学的治療、ライフステージに応じたケアを大学の枠を超えて学修できる、教育プログラム・コースを構築。e-learningによる講義や、2期がんプロで構築したTV会議システムを発展させた北信オンコロジーセミナー、ライフステージ事例検討会等を定期開催し、遠隔教育により多施設・多職種連携を推進する。さらに免疫チェックポイント阻害薬使用例など特色ある症例の北信地域がんデータベースを構築し、学会・論文発表に使用して専攻生や教員の意欲を高めると共に、地域がん対策に活用し成果を社会に還元する。これらの活動により、患者中心のチーム医療を行う超少子高齢化地域で活躍できる先進的がん医療人を輩出し、将来の日本の超少子高齢化社会におけるがん医療人材育成モデルを確立する。

課題

北信地域は全国と比較し、15年以上進んだ超少子高齢化状態にあり、将来の日本を反映したモデル地域である。北信地域でも全国と同様最先端のゲノム医療による高度医療実現、小児・AYA世代・希少がん治療、ライフステージごとの対応が必要だが、進行した超少子高齢化により、社会を支える小児・AYA世代・働き盛り世代がんの最適な診療・治療・就労支援、増加した高齢者がんの最適な治療・在宅緩和ケアが喫緊のニーズである。これまでは金沢大の先進的な集学的個別化ゲノム医療、信州大の小児・AYA世代がん診療、金沢医大の希少がん病理診断や集学的治療、富山大の高齢者がん対策、福井大の先進的在宅緩和ケア、石川看護大の全人的ケアと認定看護師養成等、各大学が特徴ある診療やがん医療人育成を行ってきた。しかし北信地域では医療スタッフが少ない、小児・AYA世代・希少がん症例数が少ない、地域として医療実態の把握がなされていない等、がん医療人育成における地域的医療課題がある。

対応策

北信地域に適合するがん医療人材育成のためには、6大学の強みを生かした相互補完的教育の実施、症例数が少ないがんでも効率よく経験できる遠隔教育・研修システムの確立、北信地域全体の症例・がん医療のデータベース化による医療実態の把握等に取り組み、県の枠を超えた戦略的ながん医療人育成システム構築が必要である。現状の北信地域で多様なニーズに対応した患者中心のチーム医療を行う先進的がん医療人材育成モデルを構築できれば、将来の日本の超少子高齢化社会で活躍するがん医療人材を育成できると考えられる。

新規性・独創性

本事業（北信がんプロ）においては、北信6大学の強み（金沢大：先進的な集学的個別化ゲノム医療、信州大：がん診療に詳しい認定遺伝カウンセラー養成、小児・AYA世代がん診療、金沢医大：希少がん病理診断や集学的治療・就労支援、富山大：高齢者がん対策、福井大：先進的在宅緩和ケア、石川看護大：患者のライフステージに合わせた全人的ケア・認定看護師養成）を生かした相互補完的教育プログラムを19コース新設（本科10コース、インテンシブ9コース）し、大学の枠を超えて履修できる共通選択科目や単位互換の導入によって、北信地域における多様な新ニーズに対応できる知識を相互補完的に習得できる特色がある。

また、2期がんプロでの北陸5大学と共通のTV会議システムを信州大にも導入し、TV会議システムを活用した従来の北陸がんプロキャンサーボードをさらに充実・発展させた、北信地域での遠隔教育システムの構築・活用に取り組む。遠隔教育システムにより6大学やがん診療連携拠点病院の専攻生や教員、医療スタッフ等の多職種が一堂に会する北信オンコロジーセミナー（病態や治療中心）やライフステージ事例検討会（患者ケア・支援中心）を定期開催する。

これにより北信地域全体の多職種が、最先端のゲノム医療、小児・AYA世代・高齢者がんや希少がん症例の研究、診断、治療、緩和ケア、就労支援等を効率的に学修することができる。地域医療機関との人材交流、金沢大がん進展制御研究所や国立がん研究センター、シンガポール国立大、復旦大等との連携を利用した国際シンポジウムも実施する。さらに、各大学教員を海外連携機関へFD研修に派遣（平成33年度末までに各大学1回）し、スタッフの活性化とレベルアップを図る。海外FD研修の参加者は、上記TV会議システムを活用した北信地域でのFD講習会で成果発表（成果共有・還元）すると共に、多職種のスキルアップ指導を行う。これらの取り組みによって、多施設・多職種連携を一層推進するチーム医療教育を行うところに本事業の独創性がある。

北信地域のがん症例・がん医療（先進的医療を含む）の実態を把握するため、北信地域のがん診療連携拠点病院（28施設）の院内がん登録データを活用するとともに、金沢大附属病院先端医療開発センター（データマネージメント部門）が作成する電子入力システム（Ptoshを応用）を用い、免疫チェックポイント阻害薬や分子標的薬使用症例、在宅緩和ケア実施症例、障がい者がん症例、妊孕性保存症例など特色ある症例を対象とした独自の北信地域がんデータベースを新たに構築する。それを基盤とした臨床研究（高額な薬剤の有効利用法の探索を含む）成果の国内・国際学会発表や英語論文発表を推進することで、専攻生や教育スタッフの意欲を高め、本事業の求心力を保ち、データベースの情報や論文等の成果を北信がんプロの教育コースへも還元する。研究成果を継続的に社会に発信・還元することで、将来のがん対策の一環として地域住民へ「がん教育（がんの理解）・予防・検診受診・早期発見・早期治療・早期社会復帰」に対する啓蒙を行う。

以上の県の枠を超えた戦略的がん医療人材育成システム構築活動により6大学から輩出される医師・歯科医師・薬剤師・看護師・遺伝カウンセラー等は、現状の北信地域、ひいては将来の日本の超少子高齢化社会において、ゲノム医療や多職種による就労支援及び切れ目ない緩和ケアを実践し活躍できる先進的がん医療人材となることが期待されるが、このような育成モデル確立に挑戦する点に最大の新規性がある。

社会との関係

信州大を中心とした遺伝カウンセラー養成では、家族性腫瘍（乳がん、卵巣がん等を含む）の患者・家族のカウンセリングを行い、心のケアや検診・早期発見・早期治療を支援する。また、北信地域の患者会等と連携し、地域メディア（テレビ、新聞、雑誌等）や合同市民公開講座を通じて地域住民にがん教育を行い、がん予防、検診受診による早期発見・早期治療、早期社会復帰等の啓蒙活動を積極的に行う。これらの活動を通じて患者や家族の意見を収集し、北信がんプロ運営協議会でその対応を議論し、がん患者及び家族の視点に立った取組みを推進する。また、2期北陸がんプロでは小・中学校教諭向けがんe-learning教材を作成し、北陸3県の小・中学校に無償配布を行った。本事業ではゲノム医療、小児・AYA世代・希少がん等の内容を盛り込んだ教材の改訂を行い、北陸3県に加えて長野県や高校にも配布し、がん教育を支援する。全国的にも実態が把握されていない障がい者のがんや特にAYA世代のがん患者や家族において重大な問題となる妊孕性保存についても北信地域がんデータベースで実態を把握し、患者

や家族のための対策立案に取り組む。

キャリア教育・キャリア形成支援

北信がんプロでは教員（各大学数名ずつ）を海外連携機関へFD研修に派遣し、後日TV会議システムを活用した北信地域でのFD講習会で成果発表させることにより、国際化と教育のキャリア形成を行う。また、多職種連携、役割分担によるチーム医療を通じて業務の効率化を試み、女性でも継続的勤務が可能な働きやすい職場環境の実現を目指す。2期北信がんプロで看護師の復帰支援の取組を行い実績を上げたが、連携施設間で他施設の長所を取り入れ、医師、歯科医師、薬剤師、遺伝カウンセラー、ソーシャルワーカー、放射線技師、リハビリテーション技師、栄養士等を含む多職種についても復帰支援を積極的に行う。

2. 達成目標・評価指標

教育プログラム・コースにより、本事業全体として、355名の医師、薬剤師、看護師、遺伝カウンセラー等を輩出し、北信地域における超少子高齢化社会に対応した地域医療従事者の輩出および北信地域医療へ貢献する。

その他の指標としては、多職種連携、FD講習、人材交流などの人材育成のためのセミナーやシンポジウムの回数、地域医療レベル向上のための地域医療機関での診療回数、セミナーの実施回数、地域のがん医療の実態を把握する北信地域がんデータベースで機能するデータベース項目数等を掲げる。

その他の指標としては、多職種連携、FD講習、人材交流などの人材育成のためのセミナーやシンポジウムの回数、地域医療レベル向上のための地域医療機関での診療回数、セミナーの実施回数、地域のがん医療の実態を把握する北信地域がんデータベースで機能するデータベース項目数等を掲げる。

3. 事業の実現可能性

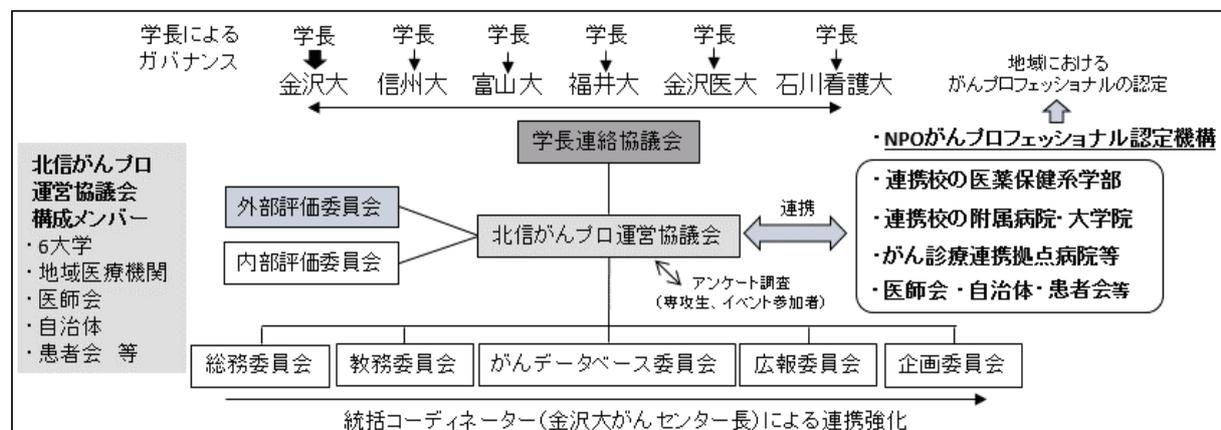
(1) 事業の運営体制

① 事業の実施体制

各大学の学長が各施設においてガバナンスを発揮して事業を推進する。全学長が集まる学長連絡協議会を設置し、事業の進捗を管理する。6大学・地域医療機関・医師会・自治体・患者会等による運営協議会（年1回開催）を設置し、実際の意思決定及び運営を行う。さらに6大学

本科生コース 平成30年4月受入れ開始								
教育コース	対象	H30	H31	H32	H33	合計		
金沢大	先進的個別化医療	医師等	5	5	5	5	20	
	個別化薬物療法	薬剤師	1	2	2	2	7	
	高度化医学物理士	物理士	2	2	2	2	8	
信州大	ゲノムがん治療医	医師	2	2	2	2	8	
	遺伝カウンセラー	多職種	1	1	1	1	4	
富山大	高齢がん患者対策	医師	4	4	4	4	16	
	個別化医療薬剤師	薬剤師	1	1	1	1	4	
福井大	地域がん専門医	医師	2	2	2	2	8	
金沢医大	がん専門医リーダー	医師	2	2	2	2	8	
石川看護大	ライフステージ	看護師	2	2	2	2	8	
合計			22	23	23	23	91	
インテグレーションコース 平成29年10月受入れ開始（一部平成30年4月開始）								
教育コース	対象	H29	H30	H31	H32	H33	合計	
金沢大	がんゲノム生涯教育	医師等	2	6	6	6	6	26
	個別化薬物実践	薬剤師	0	1	2	2	2	7
富山大	高齢がん患者対策	医師	2	2	2	2	2	10
	高齢対策薬剤師	薬剤師	1	2	2	2	2	9
	在宅緩和リハ	看護師	0	1	2	2	2	7
福井大	在宅栄養管理	医師等	0	12	22	22	22	78
	在宅緩和医療	医師等	0	24	24	24	24	96
金沢医大	がん集学的治療	医師	1	2	2	2	2	9
石川看護大	がんライフケア	多職種	2	5	5	5	5	22
合計			8	55	67	67	67	264
シンポジウム等（5年間）				参加校数	開催数	参加者数		
多職種連携	北信オンコロジーセミナー	6	18	6,500				
	ライフステージ事例検討会	6	30	4,500				
FD	海外FD研修	6	1回/校	30				
	FD講習会	6	3	90				
人材交流	国際シンポジウム	6	2	400				
	市民公開講座	6	5	1,000				
	地域医療機関での診療	6	3,000	3,000				
実態把握	北信地域がんデータベース	7種類以上の機能する疾患データ						

による総務委員会（ステアリングコミッティー）、教務委員会、がんデータベース委員会（がんデータベースの個人情報管理状況、倫理審査状況も掌握）、広報委員会、企画委員会等を設置（年数回開催）し、実務を担当する。金沢大学がんセンター長が統括コーディネーターとして6大学の連携強化・調整を行う。



② 事業の評価体制

内部評価委員会（研究科長等の内部有識者）及び外部評価委員会（地域医療機関の長や患者会代表等の外部有識者）を立上げ、事業（特に数値目標の達成状況や一般向け情報発信状態）を定期的（中間、最終）に評価する。各評価委員会が評価結果を北信がんプロ運営協議会に提出し、同協議会で評価に対するPDCAサイクルを回して事業計画を見直し、運営状態の改善を常に図る。また、専攻生や市民公開講座等のイベント参加者へのアンケート調査を行い、同様に事業内容改善を図る。

③事業の連携体制（連携大学、自治体、地域医療機関、民間企業等との役割分担や連携のメリット等）

連携6大学では学長連絡協議会・北信がんプロ運営協議会等の実施体制を整備し、各大学の強みを生かした相互補完的教育プログラムのコースを設置する他、北信オンコロジーセミナーやライフステージ事例検討会等を実施することで、多施設・多職種連携・チーム医療教育を行いスキルアップを図る。北信地域がんデータベースは金沢大附属病院先端医療開発センター（データマネージメント部門）による電子入力システム（Ptoshを応用）構築で、円滑なデータ管理・運用が可能となるメリットがある。

また、本事業の実施にあたり、金沢大がん進展制御研究所、国立がん研究センター、がん拠点病院・医師会、患者会、海外連携施設、他のがんプロチーム、文科省人材養成プログラム等と連携する。金沢大がん進展制御研究所によりがんゲノム等の基礎知識教育を実施する。国立がん研究センター（金沢大が連携協定締結）が実施中のがん遺伝子解析事業（SCRUM-JAPAN）と連携し、分子標的薬等による個別化医療研究・医師主導治験に関する支援を受け北信がんプロ及び北信地域の先進的医療の推進を図る。シンガポール国立大や復旦大等の海外連携施設では教育・医療スタッフが海外FD研修（各大学が1回海外出向する）を受け、医療のグローバル化を見据えて教育・医療スタッフの能力向上を図るとともに、FD講習会により北信地域の医療従事者や北信がんプロの教育コース専攻生に教育成果を還元する。北信4県のがん拠点病院（28施設）や医師会との連携では北信地域がんデータベース作成の支援を受ける一方で、人材交流による地域がん医療レベルの向上に貢献する。また、合同市民公開講座開催で予防・検診受診による早期発見・早期治療・早期社会復帰の概念を市民に啓蒙・普及させる。4県の患者会とは運営協議会や市民公開講座を通じて患者の意見を広く取り入れることで、患者目線の医療立案に役立てる。他のがんプロチームとは合同シンポジウムを開催（H30年2月に名古屋大等と血

液がんシンポ開催予定) し、連携を深め本事業の普及を図る。他の文科省人材養成プログラム「(未来医療人材養成プログラム(金沢大・第三の道)、課題解決型高度医療人材養成プログラム(金沢大・北陸認知症プロフェッショナル医養成プラン、信州大・次世代スーパードクターの育成)」とも合同シンポジウム等で人材交流・相互のプロジェクト内容の改善を図る。

全国規模の e-learning システムに参画し、新規教材作成に協力して本事業の情報発信を行う一方で、必須科目教材の提供を受ける。

(2) 取組の継続・事業成果の普及に関する構想等

①取組の継続に関する構想

将来の日本の超少子高齢化社会で活躍できるがん医療人材の戦略的育成のため、本事業で設置した教育コース、連携事業等は基本的に各大学の学長のガバナンスにおいて予算を確保して継続させる。特に、北信地域がんデータベース構築事業は、北信地域ひいては将来の日本の超少子高齢化社会における効率的ながん医療人材教育システム構築に向けた基盤形成事業と位置付け、改善・発展させながら継続する。そのために、自己資金の支出のみに依存せず、公的研究費獲得に向けた申請を継続的に行う。

②事業成果の普及に関する計画

本事業で構築するがん医療人材育成システムは、将来の日本の超少子高齢化社会においても機能するがん医療人材育成モデルであり、国内のがん関連学会(日本癌学会、日本癌治療学会、日本臨床腫瘍学会等)や市民公開講座、ホームページ、マスメディア(TV、新聞、雑誌等)等を通じて成果を発信し、国民に「がん教育・予防・検診受診促進・早期発見・早期治療・早期社会復帰」の意識付けができるよう啓蒙に努める。

北信がんプロの実施事業

大学院生・医療従事者向け

①全国 E クラウドによる e-learning 講義

インターネット環境があればどこでも学修できる e-learning 教材で最先端がんゲノム医療、小児・AYA 世代・希少がんの集学的治療、ライフステージに応じたケアを、大学、地域の枠を超えて学修できるようにします。

②TV 会議システムによる遠隔演習

連携大学、がん診療連携拠点病院などで受講可能とした、TV 会議システムを介して北信オンコロジーセミナー等を定期開催し、遠隔教育により多施設・多職種連携を推進します。

③北信がんデータベースの構築

特色ある症例を集めた「北信地域データベース」を構築し、受講生や教員が「学会・論文発表に活用するとともに、地域のがん対策に運用していきます。

教職員、受講生向け

④FD海外研修などのスタッフ研修

海外研修を実施し、最先端ゲノム医療や緩和ケア、グリーフケアなどを学んだ参加教員が、講習会を開いて最新の治療や緩和ケア等の情報共有を図ります。

大学間

⑤大学間

他エリアのがんプロ拠点や、人材育成プログラムと積極的に連携し、国際シンポジウム、合同シンポジウムを開催します。

市民向け

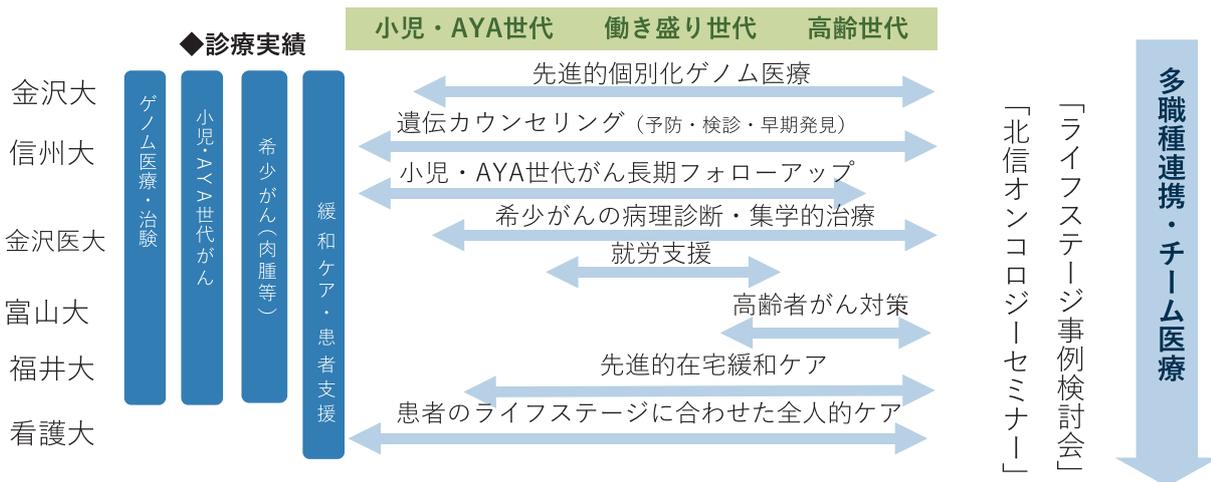
⑥市民啓発・がん教育

患者会や北信4県の自治体、医師会、がん拠点病院と連携し、公開講座やシンポジウムを開催して、がんに関する正しい理解の啓蒙と情報発信に努めます。

◆各大学の強みを生かした**相互補完的教育コース**
(本科10コース、インテンシブ9コース)

多施設・多職種連携の演習

TV会議システム、
遠隔教育システム活用



特徴ある症例の地域がんデータベース構築

「将来の日本を映し出すデータベース」

大学院生による学会・英語論文発表

モチベーションを高め事業の求心力を保つ

社会に対する成果の発信・還元

⇒がん教育・予防・検診受診・早期発見・
早期治療・早期社会復帰へ

超少子高齢化地域で活躍する
先進的がん医療人



予防からケア、啓発まで

「将来の日本の
がん医療人育成モデル」

平成30年度 教育プログラム・コース

■本科生コース

	教育コース
金沢大学	◆先端的個別化医療コース 【医薬保健学総合研究科医学専攻】
	◆がん個別化薬物療法薬剤師リーダーコース 【医薬保健学総合研究科薬学専攻】
	◆個別化高度化を担う医療技術・医学物理人材育成コース 【医薬保健学総合研究科保健学専攻】
信州大学	◆ゲノム医療に精通したがん治療医育成コース 【総合医理工学研究科医学系専攻・生命医工学専攻】
	◆がん診療に詳しい認定遺伝カウンセラー養成コース 【医学系研究科医科学専攻】
富山大学	◆高齢がん患者対策専門コース 【医学薬学教育部生命・臨床医学専攻・東西統合医学専攻】
	◆高齢化した地域医療を個別化医療で支えることができる 高度薬剤師養成コース 【医学薬学教育部薬学専攻】
福井大学	◆地域がん専門医養成コース 【医学系研究科統合先進医学専攻】
金沢医科大学	◆がんプロフェッショナルがん専門医リーダー養成コース 【医学研究科生命医科学専攻】
石川看護大学	◆がんライフステージコース 【看護学研究科(博士前期課程) 看護学専攻実践看護学領域成人看護学分野】

教育プログラム・コースの概要

大学名等	金沢大学大学院医薬保健学総合研究科医学専攻						
教育プログラム・コース名	先端的個別化医療コース						
対象者	医薬保健学総合研究科医学専攻大学院学生						
修業年限（期間）	4年						
養成すべき人材像	ゲノム解析等により分子標的薬や免疫チェックポイント阻害薬の最適化使用を目指す先端的研究を理解し、遺伝子解析に基づく最適の集学的個別化医療（手術、放射線、薬物治療等）を実践できる医師及び歯科医師を養成する。						
修了要件・履修方法	<p><修了要件>北信がんプロフェッショナル授業科目のうち、選択必修科目5単位を含む10単位以上を取得し、研究論文が学位審査に合格すること。</p> <p><履修方法>e-learning教材、TV会議によるセミナー、演習等で履修する。</p>						
履修科目等	<p><選択必修科目>分子生物学入門（1単位）、分子腫瘍学特論、ほか3科目</p> <p><選択科目>がんゲノム学特論（1単位）、小児・AYA世代・希少がん特論（1単位）、在宅緩和ケア特論（1単位）、老年医療学特論（1単位）、がんライフステージ演習（1単位）、腫瘍薬物学特論（1単位）、臨床腫瘍学演習（1単位）ほか10科目</p>						
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	従来の個別化医療は主に遺伝子解析に基づく薬物療法であったが、本コースでは、今後のわが国で必要とされる遺伝子解析に基づいた最適の集学的治療（手術、放射線、薬物治療の逐次・同時併用を含む）を行うために必要な一連の過程（遺伝子解析検査説明と同意取得、検体採取と提出、遺伝子解析結果の解釈と患者への説明、治療法選択と治療の実施、効果判定と副作用対策、再発時の対応など）を全て北信がんプロ科目において学習し、実践できる能力を養う点に独創性がある。演習で、金沢大学附属病院において実施されている医師主導治験や先進医療等の実際を学ぶ（先端医療開発センターや国立がんセンターと連携）。選択演習として、ゲノム解析等により分子標的薬や免疫チェックポイント阻害薬の最適化使用を目指す先端の基礎を実際に行う（がん進展制御研究所との連携）プランを設定するところにも特色がある。						
指導体制	本コースでは、金沢大学がん進展制御研究所や金沢大学の遺伝子解析、個別化医療研究のエキスパートやがんプロ卒業生が、実際に進行しているプロジェクトを通じたon-the-jobトレーニングを行う。また、e-learningやTV会議セミナー等も活用して幅広く能率的に指導する。指導方法の標準化について教務委員会で検討する。						
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	本コースで養成された人材は、がんゲノム医療における世界水準の知識・技能・研究力を有し、将来、医学教育機関等のスタッフやがん診療連携拠点病院等の地域基幹病院におけるがんゲノム診療のリーダーとして貢献するとともに、高額な薬剤の有効利用により医療費コストの軽減に貢献する。						
受入開始時期	平成30年4月						
受入目標人数	対象者	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	大学院学生	/	5	5	5	5	20
	計	0	5	5	5	5	20

教育プログラム・コースの概要

大学名等	金沢大学大学院医薬保健学総合研究科薬学専攻						
教育プログラム・コース名	がん個別化薬物療法薬剤師リーダーコース						
対象者	医薬保健学総合研究科薬学専攻大学院学生						
修業年限（期間）	4年						
養成すべき人材像	がん・緩和薬物療法の安全性・有効性を向上させ、がん患者の多様性に応じた個別化薬物療法の処方支援、有害事象回避ができる人材。 がん・緩和薬物療法に関する最新知識を有するとともに、がん患者の心理を良く理解し、チーム医療の中で他の医療従事者を支援できる人材。 以上の様な業務を先駆けて実践し、広めていくことができるリーダー。						
修了要件・履修方法	<p><修了要件>北信がんプロフェッショナル授業科目6単位〔選択必修の基礎科目2単位、実習、演習科目1単位を含む〕を修得すること。</p> <p><履修方法>e-learning教材、TV会議によるセミナー、演習等で履修する。実習演習科目は、金沢大学医薬保健研究域薬学系又は附属病院を中心に富山大学を含めた他大学及び医療施設と共同で実施する。スクーリング、TV会議によるセミナー、演習等の中から選択して履修する。</p>						
履修科目等	<p><選択必修科目（基礎科目）>分子腫瘍学特論、臨床統計学特論、臨床栄養学特論（各1単位）</p> <p><選択必修科目（実習、演習科目）>先進的がん薬物療法個別化実習（0.5単位）、がんリスクマネジメント実習（0.5単位）、有害事象解析演習（0.5単位）、がんライフステージ演習（0.5単位）</p> <p><選択科目>>腫瘍薬物学特論（1単位）、がん緩和医療学特論（1単位）、がんゲノム学特論（1単位）、小児・AYA世代・希少がん特論（1単位）、在宅緩和ケア特論（1単位）、老年医療学特論（1単位）ほか4科目</p>						
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	全国的にも非常に少ない6年制学士課程の本コース入学者が、将来の薬剤師の教育者、研究者・指導者となること目標とし、がん個別化薬物療法に特化した専門能力を向上させるための4年制博士課程教育の充実をはかる点に独創性がある。患者の多様性に応じた個別化薬物療法の実践に必要な薬剤師のスキル（薬物療法の最適化・個別化、有害事象回避、抗がん剤・医療用麻薬の混合調製など）を地域・職種の壁を越えて教育し、多職種連携のリーダーとなる薬剤師を養成するところに新規性がある。						
指導体制	がん・緩和薬物療法に関連する専門資格を有する金沢大学の薬学系教員・薬剤師が、臨床現場等でon-the-jobトレーニングにより指導する。						
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	本コース修了者は、本プログラムを基盤として、日本医療薬学会が認定するがん専門・指導薬剤師や日本緩和医療薬学会が認定する緩和薬物療法認定薬剤師の資格取得が可能となる。更に、がん薬物療法の個別化及び安全性向上を実践し、ん薬物療法及び地域包括ケアを推進する多職種連携のリーダーとなる薬剤師のキャリア形成につながる。						
受入開始時期	平成30年4月						
受入目標人数	対象者	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	大学院学生	/	1	2	2	2	7
	計	0	1	2	2	2	7

教育プログラム・コースの概要

大学名等	金沢大大学院医薬保健学総合研究科保健学専攻						
教育プログラム・コース名	個別化高度化を担う医療技術・医学物理人材育成コース						
対象者	医薬保健総合研究科（博士後期課程）保健学専攻大学院学生						
修業年限（期間）	3年						
養成すべき人材像	がん治療において基礎的及び臨床的がん診療を理解し、より高度化した放射線治療において放射線技術および医学物理学による個別化医療を目指す臨床研究を実践できる診療放射線技師・医学物理士を養成する。						
修了要件・履修方法	<p><修了要件>機能画像解析学特別研究もしくは量子診療技術学特別研究（6単位）、放射線治療物理臨床技術学特講（2単位）、臨地専門マネジメント演習（2単位）を必修とすること、及びその他、北信がんプロフェッショナル授業科目2単位以上を履修することとし、合計12単位以上の修得が必要。また、個別化医療の基礎・臨床研究を行い、研究論文が学位審査に合格すること。</p> <p><履修方法>e-learning教材、TV会議によるセミナー、演習等で履修する。</p>						
履修科目等	<p><選択必修科目>放射線治療物理臨床技術学特講（2単位）、臨地専門マネジメント演習（2単位）、機能画像解析学特別研究もしくは量子診療技術学特別研究（6単位）</p> <p><選択科目>腫瘍薬物学特論（1単位）、腫瘍放射線医学特論（1単位）、がん緩和医療学特論（1単位）、コンサルテーション論（2単位）、分子生物学入門（1単位）、医療統計学特論（2単位）、がんゲノム学特論（1単位）、小児・AYA世代・希少がん特論（1単位）、在宅緩和ケア特論（1単位）、老年医療学特論（1単位）、北信オンコロジーセミナー（1単位）、がんライフステージ演習（1単位）</p>						
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	2期までのがんプロで放射線治療技術の底上げを目指した教育により、放射線治療技術の均てん化は進んできた。その為、2期がんプロのがん専門放射線技術・医療物理コースを改修し、放射線治療技術の更なる高度化や個別化医療に資する人材を育成することを目指す。本コースはその点に新規性がある。また、より高精度な放射線治療技術及び個別化放射線治療の包括的な知識を習得させ、自身で個別化要因を洗い出し、研究を計画・実施・評価できる能力を養う点に独創性がある。金沢大学附属病院におけるon-the-jobトレーニング演習と北陸オンコロジーセミナー等への参加により、より実践的な技術及びがん治療の全体像を学習する点に特色がある。						
指導体制	本コースでは、金沢大学医薬保健総合研究科保健学専攻と金沢大学附属病院の教員やがんプロ卒業生により直接on-the-jobトレーニングを行う。e-learningやTV会議等も活用して幅広く能率的に指導する。指導方法の標準化について、連携協議会で検討する。						
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	本コースで養成された人材は、世界水準の研究力を有し、将来、医学教育機関等のスタッフやがん診療連携拠点病院等の地域基幹病院における研究及び放射線治療の品質管理のリーダーとして貢献する。得られた知識や研究からの副作用の少ない放射線治療を医師と共同で実践し医療費コストの軽減に貢献する。						
受入開始時期	平成30年4月						
受入目標人数	対象者	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	大学院学生	/	2	2	2	2	8
	計	0	2	2	2	2	8

教育プログラム・コースの概要

大学名等	信州大学大学院総合医理工学研究科						
教育プログラム・コース名	ゲノム医療に精通したがん治療医育成コース						
対象者	総合医理工学研究科医学系専攻及び生命医工学専攻大学院学生						
修業年限（期間）	4年						
養成すべき人材像	1) 遺伝性・家族性のがんを含めた幅広いがん治療に精通する医師、2) 個別化医療やゲノム医療の実際を経験し、その重要性を理解し、その推進に関わることができる医師 3) 個別化医療やゲノム医療へのリサーチマインドを有する医師						
修了要件・履修方法	<p><修了要件> 医学系専攻または生命医工学専攻の修了要件計32単位を修得し、研究論文が学位審査に合格すること。</p> <p><履修方法> 各専攻の対象専門科目を履修し、コース必修のe-learning科目の履修、TV会議によるセミナー、演習等で履修する。</p>						
履修科目等	<p>医学系専攻</p> <p><研究科共通科目> 先鋭領域融合研究群最先端研究特講（2単位）</p> <p><専攻共通科目> 生命倫理・研究倫理特論（2単位）、医学統計・疫学特論（2単位）、生涯保健学研究法特論（2単位）</p> <p><分野共通科目> 医科学研究遂行特論（2単位）ほか6科目</p> <p><専門科目> 論文演習（2単位）、特別研究（10単位）、ほかがん・ゲノム関係科目</p> <p>生命医工学専攻</p> <p><研究科共通科目> 先鋭領域融合研究群最先端研究特講（2単位）</p> <p><専攻共通科目> 社会医工学特論（2単位）、イノベーションセミナー（2単位）</p> <p><分野共通科目> 特別演習Ⅰ（2単位）、特別演習Ⅱ（2単位）</p> <p><専門科目> 特別演習Ⅲ（4単位）、生命倫理・研究倫理特論（2単位）、医科学研究遂行特論（2単位）、ほかがん・ゲノム関係科目</p> <p>両専攻共通</p> <p><コース必修科目> がんゲノム医療（1単位）、小児・AYA・希少がん（1単位）、ライフステージに応じたがん医療（1単位）〔全国共通e-learning科目〕</p>						
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	当研究科では 1) 先のがんプロ事業で新規講座を開設し、その担当診療科で、AYA世代から高齢者に渡り、多がん種のがん診療を行う体制を整備した。2) 小児の血液がんおよび悪性腫瘍の診療・研究・指導体制が充実している。3) 附属病院遺伝診療研究センターで、遺伝性・家族性腫瘍患者のデータベースおよび診療が整備されている。4) 附属病院ではゲノム医療推進の試みとしてクリニカルシーケンス開設の準備中である。5) このコースでは、幅広いがん診療・治療を経験させながら、個々のがんゲノム医療の重要性とリサーチマインドを持つ医療人を育成する。						
指導体制	当研究科は従来より大学院生に対して主および副担任制度を設けている。本コースに配属する大学院生に関しては必ずコーディネイターおよび事業推進委員のどちらかの担任となり指導体制をとる。事業推進委員の各教室が連携して幅広い領域の臨床研鑽を可能とし、研究指導を行う。なお、本学医学系研究科（博士課程）は、平成30年度に総合工学系研究科とともに「総合理医工学研究科」を設置すべく準備中であり、新たな研究科の中で人材養成を行う。						
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	当施設は先のがんプロにおいて大学院修了者を県内の地域がん拠点病院に輩出（2名）及び学内で指導者（2名）として雇用している実績がある。また当附属病院は都道府県がん拠点病院としての責務もあり、院外からも多くの若手がん治療医の短期研修（総勢3名）の受け入れをし、がん薬物療法専門医等の受験資格までの指導を行ってきた。この事業でも修了者は、県内7か所の地域がん診療連携拠点病院との人材ネットワークの中核として県内全体のがん研究・診療の向上に寄与させる。						
受入開始時期	平成30年4月						
受入目標人数	対象者	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	医師	/	2	2	2	2	8
	計	0	2	2	2	2	8

教育プログラム・コースの概要

大学名等	信州大学大学院医学系研究科医科学専攻						
教育プログラム・コース名	がん診療に詳しい認定遺伝カウンセラー養成コース						
対象者	医学系研究科（修士課程）医科学専攻大学院生						
修業年限（期間）	2年						
養成すべき人材像	認定遺伝カウンセラー資格を取得できる能力を身につけた医療人。 家族性・遺伝性がん診療における遺伝カウンセリングの重要性を理解でき、臨床の現場で実践できる医療人。 がん診療におけるクリニカルシーケンスの意義を理解し、臨床の現場で実践できる医療人。 遺伝性がんに関するリサーチマインドを有する医療人。						
修了要件・履修方法	<p><修了要件>遺伝カウンセリングコースの科目（修士課程必修科目26単位、修士課程選択必修科目4単位、計30単位及びコース必修科目23単位）に選択科目として臨床腫瘍学、がんサロン実習等を加え、がん診療に詳しい認定遺伝カウンセラーとなるに相応しい能力があることを試験により確認する。</p> <p><履修方法>e-learning教材、TV会議によるセミナー、演習等で履修する。</p>						
履修科目等	<p><必修科目>医科学研究概論（1単位）、生命倫理・医学概論（3単位）、健康科学概論（1単位）、人間機能・形態学概論（1単位）、ほか8科目</p> <p><選択必修科目>医科学研究方法論演習Ⅰ～Ⅵ（各2単位）</p> <p><コース必修科目>基礎人類遺伝学（4単位）、遺伝医学（1単位）、染色体検査実習（1単位）、遺伝カウンセリングロールプレイ（2単位）、ほか6科目</p> <p><コース選択科目>ライフサイエンス知的財産概論（2単位）、医学科臨床腫瘍学（2単位）、臨床腫瘍学研究特論（2単位）、がんサロン実習（6単位）、ほか4科目</p> <p>全国共通のe-learning科目〔がんゲノム医療（1単位）、小児・AYA・希少がん（1単位）、ライフステージに応じたがん医療（1単位）〕</p>						
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	信州大学では平成15年本邦で初めて遺伝カウンセリングコースを設定し、毎年1～3名の学生を受け入れ、今までに15名の認定遺伝カウンセラーを全国（長野県以外では、長崎県、岡山県、福岡県、福島県2名、兵庫県、奈良県、新潟県、大分県）に輩出してきた。このコースでは、従来存在するコースの履修内容に追加して、がんに関する講義と実習の場を選択的に設定することで、がん診療に詳しい認定遺伝カウンセラーを養成する。北陸5大学との連携により、広報に努め、北陸地方からの応募者を積極的に受け入れる。						
指導体制	従来の修士課程遺伝カウンセリングコースでは、遺伝医学・予防医学教室及び附属病院遺伝子医療研究センターの教員が、担任として、ほぼマンツーマンの体制で指導し、認定遺伝カウンセラーを養成してきたが、今回開設する「がん診療に詳しい認定遺伝カウンセラーコース」では、遺伝医学・予防医学教室、附属病院遺伝子医療研究センターに加えて包括的がん治療学教室及び小児医学教室の教員が副担任となり、学生の指導にあたる。						
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	本コース修了者は、臨床の現場特に当院で始めるクリニカルシーケンスの現場に携わる医療人を目指す。また、関連施設で、遺伝子性のがん診療の現場で遺伝カウンセリングに対応し、遺伝性腫瘍の疫学、臨床研究に参加・関与・推進する。						
受入開始時期	平成30年4月						
受入目標人数	対象者	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	カウンセラー	0	1	1	1	1	4
	計	0	1	1	1	1	4

教育プログラム・コースの概要

大学名等	富山大学大学院医学薬学教育部生命・臨床医学専攻・東西統合医学専攻						
教育プログラム・コース名	高齢がん患者対策専門コース						
対象者	医学薬学教育部大学院学生、医学科研究医養成コース履修者（学部学生）						
修業年限（期間）	4年（学部2年）						
養成すべき人材像	がん患者の多数を占める高齢がん者の診療を行う上で必要となる老年医学を学び、脆弱な高齢者にあった診療を実現する専門医を養成する。本人の健康状態だけではなく、介護状況などの社会背景、家族への配慮も必要となるため、幅広い全人的医療を行う専門医を養成する。						
修了要件・履修方法	<p><修了要件>必修科目26単位以上、選択科目8単位以上合計34単位以上を履修し、高齢者がんに関する基礎又は臨床研究を行い、研究論文が学位審査に合格すること。</p> <p><履修方法>e-learning教材、TV会議によるセミナー、演習等で履修する。</p> <p><単位認定>e-learning各科目の単位認定は、e-learning科目の合格とオンコロジーセミナーの出席により所定の単位を認定する。</p>						
履修科目等	<p><必修科目>臨床薬物学特論（1単位）、腫瘍放射線医学特論（1単位）、がん緩和医療学特論（1単位）、臨床腫瘍学特論（1単位）、医学特論（4単位）、医学演習（4単位）、医学特別研究（14単位）</p> <p><選択科目>分子腫瘍学特論（1単位）、腫瘍病理学特論（1単位）、がん外科学特論（1単位）、分子生物学入門（1単位）、臨床統計学特論（1単位）、がんゲノム学特論（1単位）、小児・AYA世代・希少がん特論（1単位）、在宅緩和ケア特論（1単位）、老年医療学特論（1単位）、がんライフステージ演習（1単位）、北信オンコロジーセミナー（1単位）</p> <p>注：他大学の授業科目履修は10単位まで認められる。</p>						
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	超高齢社会の我が国においてがん患者の年齢も高齢化している。がんは高齢者に多い疾患であるが、臨床試験が難しく、エビデンスが蓄積されにくい。こうした高齢がん者に焦点を絞った研究、人材育成は今まで意外なほど調査研究が進んでいない。高齢がん者のライフステージに合わせた教育、人材育成に独創性がある。						
指導体制	富山県を含む北信地域は国内でも高齢化率が高い地域で、本プログラムを行う地盤は充実している。富山大学では大学病院でありながら地方の特性を生かし、地域密着型の診療を行っている。在宅療養を目指した地域連携を強化しており、高齢がん患者の看取りまでを踏まえた指導を実現する。富山大学では学部生に対し、研究医養成コースを設けており、このコース学生を本プログラムの対象とすることにより、専門医教育の底辺拡張を目指す。						
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	e-learningを含む座学による知識習得のほかに、実際の症例を検討する北信オンコロジーセミナーや高齢がん患者の診療を通して専門医としてのスキルを習得する。さらに、北信地域の高齢がんの実態を調査するデータベース研究を展開し、リサーチの実践にも取り組む。コース修了者は地域において最も重要な高齢がん患者診療のプロとして機能するほか、研究を発展させて他地域、次世代への貢献も期待される。						
受入開始時期	平成30年4月または10月						
受入目標人数	対象者	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	大学院学生	/	2	2	2	2	8
	学部学生	/	2	2	2	2	8
	計	0	4	4	4	4	16

教育プログラム・コースの概要

大学名等	富山大学大学院医学薬学教育部薬学専攻						
教育プログラム・コース名	高齢化した地域医療を個別化医療で支えることができる高度薬剤師養成コース						
対象者	医学薬学教育部薬学専攻大学院学生						
修業年限（期間）	4年						
養成すべき人材像	<p>がん化学療法のほぼ全てがレジメンに基づき行われ、多くが外来通院で実施されるようになってきている。レジメンの作成や管理、外来化学療法室での医薬品管理や患者への化学療法の説明に加え、緩和医療チームへの参画など薬剤師のがん治療に対する貢献度が特段に増してきている。これらのことについては、日本病院薬剤師会等によって、数多くの講習や実習を含む事業がなされており、基礎的な事柄は6年制薬学部での教育内容に含まれてきている。そこで、我々は、現在の薬剤師を越える高度薬剤師の輩出を目指す。病院における、がん治療や緩和医療の個別化医療に加え、地域包括ケア制度に策定に伴う在宅での抗がん剤や緩和医療への貢献ができる人材の養成をしたい。特に富山県は、三世帯同居率が高く、制度の整備とともに、病院薬剤師とかかりつけ薬剤師が連携を持って、治療にあたる体制が構築されつつあることから、大学院生レベルで、医療現場で演習を行うことは意義の高いことである。加えて、国立大学薬学部として、10年後の医療を担う人材の育成も想定し、次世代のゲノム医療にも深い理解を持つ人材を養成したい。</p>						
修了要件・履修方法	<p><修了要件>所属専攻の修了要件単位数（30単位）に加え、北信がんプロフェッショナル授業科目6単位（必修科目5単位、選択単位1単位以上）を修得し、合計36単位の修得及び、研究論文が学位論文審査に合格すること。</p> <p><履修用法>授業はe-learning及び対面で行う。在宅医療に関する実習については地域病院と共同して実施する。演習・実習科目は金沢大学薬学系が開講する科目の履修を認め、単位互換を可能とする。</p> <p><単位認定>e-learning各科目の単位認定は、e-learning科目の合格とオンコロジーセミナーの出席により所定の単位を認定する。</p>						
履修科目等	<p><必修科目>分子腫瘍学特論、臨床統計学特論、臨床栄養学特論（各1単位）、がん治療におけるゲノム医療演習（1単位）、地域包括医療でのがん治療演習（0.5単位）、ライフステージ事例検討演習（0.5単位）</p> <p><選択科目>腫瘍薬物学特論、がん緩和医療学特論、腫瘍放射線医学特論、腫瘍病理学特論、臨床腫瘍学特論、分子生物学入門（各1単位）、臨床疫学、最先端医療、AYA世代診療、腫瘍学（各2単位）、がんゲノム学特論、在宅緩和ケア特論、老年医療学特論（各1単位）</p>						
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	<p>国立大学での6年制薬学教育を受け、薬剤師免許を有する博士課程薬学専攻の学生を対象とすることから、15年後の日本のがん治療を薬学的観点から担える人材の育成を意識している。現在の病院・薬局薬剤師が、すでに行っていることだけでなく、大学でしか実施できない高度な内容を含む。本プログラムから開始されるがん治療におけるゲノム医療の講義については、講義に加え、実習や遺伝子多型の検出、それらへの抗がん薬との治療効果などについて、深く学ぶシステムをとる。在宅でのがん治療に参画できるだけの薬剤師としての養成だけでなく、地域で他の職種との連携の要となれるよう本学独自の在宅研修ラボを使用して演習をし、加えて、医療現場での実習も行う予定である。演習、実習科目は、金沢大学附属病院での実施分も富山大学の大学院生も履修可能として単位認定できるようにし、富山大学での実施分も両大学の大学院生が履修できるようにし、大学間連携を持ち、地域で薬剤師としての医療を支えることを体験する。</p>						
指導体制	<p>富山大学大学院医学薬学教育部薬学専攻の統括は、医学薬学研究部・薬物治療学研究室 新田淳美教授が担当する。さらに、地域医療における薬剤師職に関する実習のために、同医療薬学研究室 藤 秀人教授が実習の計画に参画する。また、がん治療へのゲノム医療に関する講義や演習については、同がん細胞生物学 櫻井宏明教授が担当する。</p>						
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	<p>全国の医学部附属病院へ薬剤師として勤務し、日本医療薬学会認定のがん薬物療法認定薬剤師を目指し、将来的には、がん専門認定薬剤師やがん専門指導薬剤師の取得をする。6年制薬学部卒業後、4年制の薬学専攻の大学院への入学生は全国でも100名前後であり、特に国公立大学卒業生には、将来の大学病院薬剤部長としての期待がなされている。または、厚生労働省等の中央官庁に勤務し、がん治療を含む行政職につき、日本の薬学関連の医療をリードする。</p>						
受入開始時期	平成30年4月または10月						
受入目標人数	対象者	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	大学院学生		1	1	1	1	4
	計	0	1	1	1	1	4

教育プログラム・コースの概要

大学名等	福井大学大学院医学系研究科統合先進医学専攻						
教育プログラム・コース名	地域がん専門医養成コース						
対象者	医学系研究科統合先進医学専攻大学院学生						
修業年限（期間）	4年						
養成すべき人材像	がん医療に携わる専門的な知識及び技能に加えて、臨床研究に卓越した医師やその他の医療従事者の養成、本学の特色を活かした緩和ケアや在宅医療にも精通する。						
修了要件・履修方法	<p><修了要件>がんプロフェッショナル授業科目の必須科目5単位を含む10単位以上を取得すること。がんに関する研究論文が学位審査に合格すること。</p> <p><履修方法>e-learning教材、TV会議によるセミナー、演習等で履修する。（e-Learning科目の単位認定は、e-Learning科目+オンコロジーセミナー（演習）出席にて、1単位とする。）</p>						
履修科目等	<p><必修科目>分子生物学入門（1単位）、分子腫瘍学特論（1単位）、臨床栄養学特論（1単位）、臨床統計学特論（1単位）、臨床統計学演習（1単位）</p> <p><選択科目>がん緩和医療学特論（1単位）、腫瘍薬物学特論（1単位）、腫瘍放射線医学特論（1単位）、がん患者看護論（1単位）、がん患者看護論Ⅱ（1単位）、がん外科学特論（1単位）、腫瘍病理学特論（1単位）、臨床腫瘍学特論（1単位）、腫瘍病理学演習（1単位）、医学物理学特論（1単位）、コンサルテーション論（1単位）、がんゲノム学特論（1単位）、小児・AYA・希少がん特論（1単位）、がんライフステージ演習（1単位）、在宅緩和ケア特論（1単位）、老年医療学特論（1単位）</p>						
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	本学大学院の統合先進医学専攻 先端応用医学コース 腫瘍医学部門の科目に加え北信がんプロ養成プログラムの科目を履修することにより、地域におけるがん診療力の高度な知識を修得できる。						
指導体制	福井大学腫瘍病態治療学講座及び福井大学の教職員が対応する。						
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	研修の修了者は、医師では施設の緩和ケアチーム医師、緩和ケア病棟医師、地域緩和ケアチームのリーダーとしての活躍が期待できる。また、日本緩和医療学会の専門医を目指す為の教育を提供できる。医師以外のスタッフでは、地域緩和ケアチームのスタッフとして期待される。						
受入開始時期	平成30年4月						
受入目標人数	対象者	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	大学院学生	/	2	2	2	2	8
	計	0	2	2	2	2	8

教育プログラム・コースの概要

大学名等	金沢医科大学大学院医学研究科生命医科学専攻						
教育プログラム・コース名	がんプロフェッショナルがん専門医リーダー養成コース						
対象者	医学研究科生命医科学専攻大学院学生						
修業年限（期間）	4年						
養成すべき人材像	希少がんを含むがん患者を臓器横断的に診療できる専門家の養成を目指し、がん患者の思いに寄り添い、最新のエビデンスと情報を集めると同時に、患者・家族の希望を叶えられるように努力できる、がん専門医師を養成する。						
修了要件・履修方法	<p><修了要件>博士課程に4年以上在学し、所定の単位数（30単位）以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、学位論文の審査に合格することで博士（医学）を授与する。専門医養成コースの授業科目のうち必修科目10単位を含む13単位を修得をもって大学院修了単位の11単位に読み替えし、独自に設立されるNPO法人の認定医の申請資格を授与する。</p> <p><履修方法>e-learning教材、TV会議によるセミナー、演習等で履修する。</p>						
履修科目等	<p>主として専攻する科目の講義・演習・実験実習（各4単位、計12単位）、特別研究（6単位）、医の倫理または生命倫理学（各1単位）のほか、以下に掲げる専門医養成コースの授業科目13単位以上</p> <p><必修科目>がんゲノム医療学特論（1単位）、小児・AYA世代・希少がん特論（1単位）、ライフステージに応じたがん医療特論（1単位）、在宅緩和ケア特論（1単位）、腫瘍薬物学特論（1単位）、腫瘍放射線医学特論（1単位）、がん緩和医療学特論（1単位）、腫瘍病理学特論（1単位）、臨床腫瘍学特論（1単位）、がん外科学特論（1単位）</p> <p><選択科目>分子腫瘍学特論（1単位）、臨床統計学特論（1単位）、臨床栄養学特論（1単位）、臨床統計学演習（1単位）、分子生物学入門（1単位）、がんライフステージ演習（1単位）ほか6科目</p>						
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	金沢医科大学病院再生医療センターにおける希少がん等対象の免疫療法・再生医療、集学的医療部遺伝子医療センターにおける遺伝カウンセリングにおける独自の教育内容を有する。また金沢医科大大学院医学研究科腫瘍内科学/金沢医科大学病院腫瘍内科では肉腫・神経内分泌腫瘍・原発不明癌などの臓器横断的分野の診療・教育・研究を行っている。						
指導体制	腫瘍内科学：元雄 良治、安本和生、再生医療学：下平 滋隆、先進呼吸器外科学：浦本 秀隆、消化器外科治療学：小坂 健夫、遺伝子医療センター：新井田 要、をはじめとする本施設の教育スタッフが指導を行う。						
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	本教育コースの修了者は、各専門分野の専門医・認定医等の資格を取得し、その後は地域を問わず広く教育職・研究職・第一線の診療医として活躍できる。						
受入開始時期	平成30年4月						
受入目標人数	対象者	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	医師	/	2	2	2	2	8
	計	0	2	2	2	2	8

教育プログラム・コースの概要

大学名等	石川県立看護大学大学院看護学研究科（博士前期課程） 看護学専攻実践看護学領域成人看護学分野						
教育プログラム・コース名	がんライフステージコース						
対象者	がん看護専門看護師コース大学院学生						
修業年限（期間）	2年						
養成すべき人材像	がん患者のQOLの向上を目的として、小児、AYA世代、壮年、高齢者といった各ライフステージにおける痛みに関する知識・技術を駆使して、対象の治療・療養・生活過程の全般を統合・管理し、卓越した看護ケアを提供できる看護師。さらに、総合的な判断能力と組織的な問題解決力を持ち、専門領域における新しい課題に挑戦し、現場のみならず、教育や政策の課題にも反映できる開発的役割がとれる変革推進者として機能できる看護師。						
修了要件・履修方法	共通科目と各専門看護分野の専門科目から38単位の他に「がんライフステージ演習」を履修すること。「がんライフステージ演習」は、各大学のTV会議システムからの参加でも可能とする。						
履修科目等	<必修科目>看護科学論（2単位）、看護研究（2単位）、フィジカルアセスメント（2単位）、病態生理学（2単位）、臨床薬理学（2単位）、特別研究（6単位）、成人看護学特論（2単位）、がん看護援助論（2単位）、がん病態治療学特論（2単位）、緩和ケア演習Ⅰ（2単位）、がん看護学演習Ⅰ（2単位）、ほか6科目 <選択科目> コンサルテーション論（2単位）、ケアと哲学（2単位）、がんゲノム学特論（1単位）、小児・AYA世代・希少がん特論（1単位）、住宅緩和ケア特論（1単位）、老年医療学特論（1単位）、がんライフステージ演習（1単位）						
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	本コースでの「がんライフステージ演習」は、テレビ会議システム等を活用し、がん看護専門看護師養成コースを有する大学（石川県立看護大学、富山大学、福井大学）が提携し、単位互換を可能とする。従来の教育とは異なり、各大学の教授陣の専門を学ぶことが出来る。講師として、がん看護、小児看護、老年看護、リエゾン看護の専門看護師を採用することで、それぞれの専門性の視点から、各ライフステージにおけるがん看護について理解を深めることができる。						
指導体制	北信越におけるがん看護専門看護師、小児看護専門看護師、老人看護専門看護師、精神看護専門看護師を講師に迎え、講義や演習を通してライフステージにおけるがん看護の特徴と支援の在り方を教授する。						
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	本コース修了には北信がんプロNPO機構より「がんライフステージ・スペシャリスト」（仮）の認定を授与する。また、本コース修了生は、北信がんプロのインテンシブコース等で講義、演習を行い、さらに自身のキャリアアップを行う。						
受入開始時期	平成30年4月						
受入目標人数	対象者	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	看護師	/	2	2	2	2	8
	計	0	2	2	2	2	8

平成 30 年度 教育プログラム・コース

■ インテンシブコース

	教育コース
金沢大学	◆がんゲノム医療生涯教育コース 【医薬保健学総合研究科医学専攻】
	◆がん個別化薬物療法実践薬剤師コース 【医薬保健学総合研究科薬学専攻】
	◆がんゲノム多職種連携入門コース 【医薬保健学総合研究科】
	平成 30 年度より新設!
富山大学	◆高齢がん患者対策専門コース 【医学薬学教育部生命・臨床医学専攻・東西統合医学専攻】
	◆高齢化した地域医療を個別化医療で支えることができる 専門的薬剤師養成コース 【医学薬学教育部薬学専攻】
	◆在宅がん緩和リハビリテーションコース 【医学薬学教育(博士前期課程)医学領域看護学専攻成人看護学分野】
福井大学	◆在宅栄養管理コース 【医学部】
	◆在宅緩和医療コース 【医学部】
金沢医科大学	◆がん集学的治療医養成コース 【医学研究科生命医科学専攻】
石川看護大学	◆がんライフケアコース 【看護学研究科(博士前期課程) 看護学専攻実践看護学領域成人看護学分野】

平成30年度より「がんゲノム多職種連携入門コース」(インテンシブ)を新設！受講生募集開始！

今後、がんゲノム医療教育に関するニーズが拡大することから、多職種向けのコースを新設いたしました。

文部科学省 多様なニーズに対応する「がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)」養成プラン
北信がんプロ 超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成

NEW **がんゲノム多職種連携入門コース**
(インテンシブコース)

受講料無料 **受講生募集**

平成30年
!9月新規開校!



コースについて

- ★ 本コースでは、北陸、長野県在住の医療従事者の方々が、職種を問わず、広く、気軽に、今注目されている「がんゲノム医療」を学ぶことができます。
- ★ 授業は、自宅のパソコンからでも視聴できるe-learningと各地域の医療機関をつなぐテレビ会議システムを介して参加するセミナー等から構成されています。
- ★ 興味のある方は修了要件に該当する科目だけでなく、全国がんプロe-learningクラウドの全科目も閲覧することで、深く学ぶことができます。
- ★ いくつかの専門領域では、更にステップアップを望む方を対象に専門領域のインテンシブコースが別途用意されています。

対象	看護師、薬剤師、臨床検査技師、診療放射線技師、理学療法士、作業療法士、栄養士、ソーシャルワーカー等
定員	募集定員 10名(制限定員ではありません。)
開講期間	平成30年9月～
修了	修了要件を満たすことにより、修了証が授与されます。

応募について

- ★ 履修申請書に必要事項をご記入の上、下記の大学事務担当までFAX・メールまたはご郵送にてお申し込みください。
履修申請書は北信がんプロホームページ<http://www.gan-pro.net/>からダウンロードできます。

【問い合わせ先】

金沢大学 北信がんプロ事務局
〒920-8640 石川県金沢市宝町13-1 医学類B棟1階
TEL : 076-234-4205 FAX : 076-265-2855
URL <http://www.gan-pro.net/> Email gpro@med.kanazawu.ac.jp



インテンシブ コース

がんゲノム多職種連携入門コース ご案内

- ★【履修方法】インターネットを利用したe-learning講義とテレビ会議システムを利用した北信がんプロオンコロジーセミナーまたはがんライフステージ事例検討会または北信がんプロ主催の講演会への参加

がんプロ全国e-learningクラウド講座の講義例



テレビ会議システムを利用した北信がんプロ主催のセミナーの様子



北信がんプロ主催のセミナー等のポスター上:
上:「がんライフステージ事例検討会」
下:「北信オンコロジーセミナー」

- ★【修了要件】北信がんプロフェッショナル授業科目の以下のうち2単位以上取得

授業科目の名称	単位数 (必須選択)	単位認定要件
がんゲノム学特論	1	e-learning + セミナー出席1回 [北信がんプロオンコロジーセミナー 又はがんライフステージ事例検討会 又は北信がんプロ主催の講演会]
小児・AYA世代・希少がん特論	1	
在宅緩和ケア特論	1	
老年医療学特論	1	
多職種連携演習	1	5回出席で1単位 [北信がんプロオンコロジーセミナー 又はがんライフステージ事例検討会 又は北信がんプロ主催の講演会]

※なお、これらの履修単位は、下記、各専門領域のインテンシブコースの単位に含めることができます。但し、履修単位およびセミナー・演習・講演会の出席は2年以内。

- ・がん個別化薬物療法実践薬剤師コース(インテンシブ/金沢大学)
- ・高齢化した地域医療を個別化医療で支えることができる専門的薬剤師コース(インテンシブ/富山大学)
- ・在宅がん緩和リハビリテーションコース(インテンシブ/富山大学)
- ・在宅栄養管理コース(インテンシブ/福井大学)
- ・在宅緩和医療コース(インテンシブ/福井大学)
- ・がんライフケアコース(インテンシブ/石川県立看護大学)

教育プログラム・コースの概要

大学名等	金沢大学大学院医薬保健学総合研究科医学専攻						
教育プログラム・コース名	がんゲノム医療生涯教育コース（インテンシブ）						
対象者	地域でがん診療に携わる医師及び歯科医師						
修業年限（期間）	1年（延長可）						
養成すべき人材像	遺伝子解析に基づいた分子標的治療や免疫チェックポイント阻害薬による治療の概要を理解し、多職種と連携して実地医療における個別化医療を実践できる医師及び歯科医師を養成する。						
修了要件・履修方法	<p><修了要件>北信がんプロフェッショナル授業科目3単位以上の修得及び北信がんプロオンコロジーセミナーへの出席又はがんライフステージ事例検討会への参加。</p> <p><履修方法>全国規模のe-learnin教材及び本事業の講義教材を利用して自己学習を行うのみならず、テレビ会議システムを利用した北信がんプロオンコロジーセミナー又はがんライフステージ事例検討会への参加による学修を行う。</p>						
履修科目等	<p><選択科目>がんゲノム学特論（1単位）、小児・AYA世代・希少がん特論（1単位）、在宅緩和ケア特論（1単位）、老年医療学特論（1単位）、北信オンコロジーセミナー（1単位）、がんライフステージ演習（1単位）</p>						
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	従来のがん治療の均てん化を目的とした講義内容にとどまらず、本事業においては、今後のわが国で必要とされるであろう遺伝子解析に基づいた最適の集学的治療（手術、放射線、薬物治療の逐次・同時併用を含む）を行うために必要な一連の過程（遺伝子解析検査説明と同意取得、検体採取と提出、遺伝子解析結果の解釈と患者への説明、治療法選択と治療の実施、効果判定と副作用対策、再発時の対応など）を全て教育し、将来の日本のがんゲノム医療に対応できる能力を養成する点に特色がある。						
指導体制	大学及び連携機関に所属するがんゲノム医療のエキスパートであるスタッフが、遺伝子解析に基づいた最適の集学的治療を行うために必要な一連の過程をe-learning又はシンポジウムで講義する。						
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	本コースで養成された医師及び歯科医師は、多職種と連携できるがんゲノム診療のリーダーとして、がん診療連携拠点病院等の地域基幹病院におけるがんゲノム医療に貢献する。						
受入開始時期	平成29年10月						
受入目標人数	対象者	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	地域医療機関の医師及び歯科医師	2	6	6	6	6	26
	計	2	6	6	6	6	26

教育プログラム・コースの概要

大学名等	金沢大学大学院医薬保健学総合研究科薬学専攻						
教育プログラム・コース名	がん個別化薬物療法実践薬剤師コース（インテンシブ）						
対象者	薬剤師免許を有し、がん専門薬剤師又は緩和薬物療法認定薬剤師の資格を取得しようとする者。						
修業年限（期間）	3月から1年（延長可）						
養成すべき人材像	がん・緩和薬物療法の安全性・有効性を向上させ、がん患者の多様性に応じた個別化薬物療法の処方支援、有害事象回避ができる人材。 がん・緩和薬物療法に関する最新知識を有するとともに、がん患者の心理を良く理解し、チーム医療の中で他の医療従事者を支援できる人材。 がん・緩和領域における地域包括ケアを推進する人材。 次世代のリーダーになることを目指す人材。						
修了要件・履修方法	北信がんプロフェッショナル授業科目3単位以上の修得及び北信がんプロオンコロジーセミナーへの出席又はがんライフステージ事例検討会への参加。 全国e-learningクラウド等のe-learning教材及び本事業が開催するがんゲノムシンポジウムにおける講義教材を利用して自己学習を行うのみならず、テレビ会議システムを利用した北信がんプロオンコロジーセミナー、がんライフステージ事例検討会への参加による学習を行う。実習演習については富山大学との共同開催として、他大学での開講科目も履修可能とする。						
履修科目等	＜選択科目＞がんゲノム学特論（1単位）、小児・AYA世代・希少がん特論（1単位）、在宅緩和ケア特論（1単位）、老年医療学特論（1単位）、北信オンコロジーセミナー（1単位）、先進的がん薬物療法個別化実習（0.5単位）、有害事象解析演習（0.5単位）、がんライフステージ演習（0.5単位）等						
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	本プログラムの特色は、がん患者に対する地域包括ケアにおいて、薬剤師が患者の多様性に応じた個別化薬物療法の実践に要求されるスキル（薬物療法の最適化・個別化、有害事象回避、抗がん剤・医療用麻薬の混合調製など）を地域・施設間の壁を越えて、受講者の能力・ニーズに応じた教育を受けられることにある。そのために、先進的がん薬物療法個別化実習では、受講者がそれぞれの能力・ニーズに合致する実習ユニット（個別化薬物療法、在宅緩和医療、病院がん薬物療法、先進的注射薬管理、フィジカルアセスメントなど）が選択できる。また、有害事象解析演習については、TV会議システムを用いて、北信がんプロ参加大学間で協働して実施する。このユニットは、教育プログラムを発展させ、大学間多職種参加型研究プロジェクトとして、がん薬物療法の有害事象対策を多職種連携により確立することを目指すことによって、エビデンスを発信するスキルも学べる点に新規性・独創性がある						
指導体制	本コースでは、がん・緩和薬物療法に関連する専門資格を有する薬学系教員・薬剤師が、臨床現場において、on-the-jobトレーニングにより指導する。また、e-learningを活用した受講者の能動的学習を促し、実習により知識を定着化させる。						
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	本コース修了者には、本プログラムを基盤として、日本医療薬学会が認定するがん専門・指導薬剤師や日本緩和医療薬学会が認定する緩和薬物療法認定薬剤師の資格を取得する。さらには、地域において、がん・緩和薬物療法の個別化および安全性を向上させ、地域包括ケアの牽引者となる。そして、それらの経験を生かし、薬剤師や薬学生に対する講義、実習を行うことで、次世代の医療者の育成者となる						
受入開始時期	平成30年4月						
受入目標人数	対象者	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	大学院学生	/	1	2	2	2	7
	計	0	1	2	2	2	7

教育プログラム・コースの概要

大学名等	金沢大学大学院医薬保健学総合研究科						
教育プログラム・コース名	がんゲノム多職種連携入門コース（インテンシブ）						
対象者	北信4県（石川県、長野県、富山県、福井県）在住の、看護師、薬剤師、臨床検査技師、診療放射線技師、理学療法士、作業療法士、栄養士、ソーシャルワーカー等						
修業年限（期間）	1年（延長可）						
養成すべき人材像	がん治療等における多職種連携の基本として、最近のがん治療等の最新の知識を持ち、遺伝子解析に基づいた分子標的治療や免疫チェックポイント阻害薬による治療の概要を理解し、医師をはじめとする他の医療職と連携して実地医療における個別化医療を実践する基本的な能力を持つ医療職（看護師、薬剤師、臨床検査技師、診療放射線技師、理学療法士、作業療法士、栄養士、ソーシャルワーカー等）を養成する。						
修了要件・履修方法	<p><修了要件>北信がんプロフェッショナル授業科目2単位以上の修得及び北信がんプロオンコロジーセミナー又はがんライフステージ事例検討会又は北信がんプロ主催の講演会への参加。</p> <p><履修方法>全国規模のe-learnin教材及び本事業の講義教材を利用して自己学習を行うのみならず、テレビ会議システムを利用した北信がんプロオンコロジーセミナー又はがんライフステージ事例検討会又は北信がんプロ主催の講演会への参加による学修を行う。</p>						
履修科目等	<選択科目>がんゲノム学特論（1単位）、小児・AYA世代・希少がん特論（1単位）、在宅緩和ケア特論（1単位）、老年医療学特論（1単位）、多職種連携演習（1単位）						
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	従来のがん治療の均てん化を目的とした講義内容にとどまらず、本事業においては、今後のわが国で必要とされるであろう遺伝子解析に基づいた最適の集学的治療（手術、放射線、薬物治療の逐次・同時併用を含む）を行うために必要な一連の過程（遺伝子解析検査説明と同意取得、検体採取と提出、遺伝子解析結果の解釈と患者への説明、治療法選択と治療の実施、効果判定と副作用対策、再発時の対応など）を概括できる教育を通して、将来の日本のがんゲノム医療に対応できる基本的能力を養成する点に特色がある。						
指導体制	大学及び連携機関に所属するがんゲノム医療のエキスパートであるスタッフが、遺伝子解析に基づいた最適の集学的治療を行うために必要な一連の過程をe-learning又はセミナーで講義する。						
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	本コースで養成された医療職（看護師、薬剤師、臨床検査技師、診療放射線技師、理学療法士、作業療法士、栄養士、ソーシャルワーカー等）は、多職種と連携できるがんゲノム診療の一員となる。コース修了者は、更に各医療職の専門コースを学び、リーダーとして、がん診療連携拠点病院等の地域基幹病院におけるがんゲノム医療に貢献する。						
受入開始時期	平成30年9月						
受入目標人数	対象者	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	地域医療機関の看護師・薬剤師・臨床検査技師・診療放射線技師・理学療法士・作業療法士・栄養士・ソーシャルワーカー等	0	10	10	10	10	40
	計	0	10	10	10	10	40

教育プログラム・コースの概要

大学名等	富山大学大学院医学薬学教育部						
教育プログラム・コース名	高齢がん患者対策専門コース(インテンシブ)						
対象者	各種医療機関で実際にごん診療に携わる医師						
修業年限(期間)	1年(延長可)						
養成すべき人材像	がん患者の多数を占める高齢担癌者の診療を行う上で必要となる老年医学を学び、脆弱な高齢者にあった診療を実現する専門医。本人の健康状態だけではなく、介護状況などの社会背景、家族への配慮も必要となるため、幅広い全人的医療を行う専門医。スピリチュアルペインに対応し、患者の人生観、死生観にも向き合える医師。						
修了要件・履修方法	<p><修了要件>指定する北信がんプロフェッショナル授業科目の選択科目の中から、3単位以上の修得及び北信がんプロオンコロジーセミナーへの出席又は多職種連携セミナーへの参加。</p> <p><履修方法>全国規模のe-learning教材及び本事業が開催するがんゲノムシンポジウムにおける講義教材を利用して自己学習を行うのみならず、テレビ会議システムを利用した北信がんプロオンコロジーセミナー又は多職種連携セミナーへの参加による学習を行う。</p> <p><単位認定>e-learning各科目の単位認定は、e-learning科目の合格とオンコロジーセミナーの出席により所定の単位を認定する。</p>						
履修科目等	<p><選択科目>がんゲノム学特論(1単位)、小児・AYA世代・希少がん特論(1単位)、在宅緩和ケア特論(1単位)、老年医療学特論(1単位)、がんライフステージ演習(がんライフステージ事例検討会に5回出席で1単位)</p> <p>上記選択科目の他に下記科目も開講しています。 腫瘍薬物学特論(1単位)、腫瘍放射線医学特論(1単位)、がん緩和医療学特論(1単位)、腫瘍病理学特論(1単位)、臨床腫瘍学特論(1単位)、がん外科学特論(1単位)、分子腫瘍学特論(1単位)、分子生物学入門(1単位)、臨床統計学特論(1単位)</p>						
教育内容の特色等(新規性・独創性等)	超高齢社会の我が国においてがん患者の年齢も高齢化している。がんは高齢者に多い疾患であるが、臨床試験が難しく、エビデンスが蓄積されにくい。こうした高齢担癌者に焦点を絞った研究、人材育成は今まで意外なほど調査研究が進んでいない。高齢担癌者のライフステージに合わせた教育、人材育成に独創性がある。						
指導体制	富山大及び連携機関に所属する高齢者の代表的がんである肺癌の医療を専門とするエキスパートであるスタッフが、老年がん患者診療を行うために必要な一連の過程をe-learning又はシンポジウムで講義する(e-learningやシンポジウム参加、TV会議システムで受講)。						
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	本コースで養成された医師は、多職種と連携できる高齢者がん診療のリーダーとして、がん診療連携拠点病院等の地域基幹病院における地域医療に貢献する。						
受入開始時期	平成30年4月以降随時						
受入目標人数	対象者	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	地域医療機関の医師	2	2	2	2	2	10
	計	2	2	2	2	2	10

教育プログラム・コースの概要

大学名等	富山大学医学薬学教育部薬学専攻						
教育プログラム・コース名	高齢化した地域医療を個別化医療で支えることができる専門的薬剤師養成コース（インテンシブ）						
対象者	北陸3県及び長野県の病院及び薬局薬剤師、特に、がん専門薬剤師の資格を取得しようとする者。日本医療薬学会認定のがん薬物療法認定薬剤師。						
修業年限（期間）	3カ月から1年（延長可）						
養成すべき人材像	がん治療や緩和医療に加えて、地域包括ケア制度の策定と、高齢化に伴い、在宅での抗がん剤の使用や緩和医療への関与も求められるようになった。特に北陸や長野県は、三世帯同居率が高く、制度の整備とともに、病院薬剤師とかかりつけ薬剤師が連携を持って、治療にあたる体制が構築されつつある。一方で、在宅医療に薬剤師が参画して、間もないことから、理論や技術の習得が困難なのが現状であり、経験則で医療が行われていることも否めない。そこで、薬学系大学院が地域を牽引して、要請度の高い在宅医療でのがん治療に対する薬剤師の役割、最近の抗体医薬品やゲノム医療の講義や演習を実施し、がん治療に関して、最先端医療から地域での在宅医療を担える先導的な人材の育成をする。少子高齢化が日本で最も進んでいる地域であることから、地域全体でも、がん医療を薬学的にリードする人材を育成し、チーム医療を介して、がん患者を全人的に支えることができる薬剤師を輩出する。						
修了要件・履修方法	<p><修了要件>北信がんプロフェッショナル授業科目6単位以上（必修科目4単位、選択科目2単位以上）の修得。</p> <p><履修方法>授業はe-learning及び対面で行う。本プログラムから開始する高齢者における薬物治療やゲノム医療については、本学の専門家が講義をすることから、1年目は、講義を実施するが、TV会議システムを活用し、金沢大学や他の地域へも公開する。在宅医療に関係する実習については地域病院と共同して実施する。演習・実習科目は金沢大学薬学系が開講する科目の履修を認め、単位互換を可能とする。</p> <p><単位認定>e-learning各科目の単位認定は、e-learning科目の合格とオンコロジーセミナーの出席により所定の単位を認定する。</p>						
履修科目等	<p><必修科目>分子腫瘍学特論（1単位）、臨床統計学特論（1単位）、臨床栄養学特論（1単位）、がん治療におけるゲノム医療演習（1単位）、地域包括医療でのがん治療演習（0.5単位）、ライフステージ事例検討演習（0.5単位）</p> <p><選択科目>腫瘍薬物学特論（1単位）、がん緩和医療学特論（1単位）、臨床疫学（2単位）、最先端医療（2単位）、AYA世代診療（2単位）、腫瘍学（2単位）、がんゲノム学特論（1単位）、在宅緩和ケア特論（1単位）、老年医療学特論（1単位）、がんライフステージ演習（1単位）、腫瘍放射線医学特論（1単位）、腫瘍病理学特論（1単位）、分子生物学入門（1単位）</p>						
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	講義科目は、e-learningにより受講。本プログラムから開始されるがん治療におけるゲノム医療の講義については、平成30年度は講義を実施し、平成31年度以降はe-learningに移行する。演習、実習科目は、金沢大学と共同で開催する。金沢大学附属病院での実施分も単位認定を行い、地域連携をする。						
指導体制	富山大学大学院医学薬学教育部薬学専攻の統括は、医学薬学研究部・薬物治療学研究室 新田淳美教授が担当する。さらに、地域医療における薬剤師職に関係する実習のために、同医療薬学研究室 藤秀人教授が実習の計画に参画する。また、がん治療へのゲノム医療に関係する講義については、同がん細胞生物学 櫻井宏明教授が担当する。						
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	日本医療薬学会が認定するがん専門・指導薬剤師や日本緩和医療薬学会が認定する緩和薬物療法認定薬剤師の資格を取得する。受講者の所属している医療提供機関によって異なるが、急性期病院に勤務する者は、がん化学療法を含むチーム医療に貢献し、ゲノム医療を含めた先進的な化学療法に従事し、臨床研究への参画を期待している。慢性期病院や薬局に所属する者は、緩和医療や終末期医療をはじめ、がん患者へのケアを地域で牽引するようになる。実務実習指導薬剤師となり、次世代の人材養成にも貢献する。						
受入開始時期	平成30年4月以降随時						
受入目標人数	対象者	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	病院・薬局薬剤師及び薬系大学教員	1	2	2	2	2	9
	計	1	2	2	2	2	9

教育プログラム・コースの概要

大学名等	富山大学大学院医学薬学教育部（博士前期課程） 医学領域看護学専攻成人看護学分野						
教育プログラム・コース名	在宅がん緩和リハビリテーションコース（インテンシブ）						
対象者	看護師						
修業年限（期間）	1年						
養成すべき人材像	がん患者のQOLの向上を目指して、小児、AYA世代、壮年、高齢者といった各ライフステージの個人、家族、及び集団に対して、総合的な判断能力と問題解決力さらに倫理に関する解決能力を養い、全人的緩和医療が行える看護師。						
修了要件・履修方法	<p><修了要件>必修科目：在宅がん緩和リハビリテーション事例演習（1単位）、 「公開講座」又は「実技演習」（1単位）、選択科目の中から1科目（1単位） 以上の合計3単位以上修得。</p> <p><履修方法></p> <p>【必修科目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅がん緩和リハビリテーション事例演習（1単位）：北信4県におけるTV会議システムを利用したがんライフステージ事例検討会や富山がん事例検討会に5回以上参加により単位認定。 ・「公開講座」又は「実技演習」（1単位）：富山大学にて開催される、公開講座あるいは、実技演習に1回以上参加することにより単位認定 <p>【選択科目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・e-learning「がん緩和医療学特論」「腫瘍薬物学特論」「腫瘍放射線医学特論」「分子腫瘍学特論」「臨床栄養学特論」「分子生物学入門」「在宅緩和医療特論」「がん患者看護論」「コンサルテーション論」より1単位以上修得。 <p><単位認定>e-learning各科目の単位認定は、e-learning科目の合格とオンコロジーセミナーの出席により所定の単位を認定する。</p>						
履修科目等	<p><必修科目>在宅がん緩和リハビリテーション事例演習（1単位）、「公開講座」又は「実技演習」（1単位）</p> <p><選択科目>e-learning「がん緩和医療学特論」「腫瘍薬物学特論」「腫瘍放射線医学特論」「分子腫瘍学特論」「臨床栄養学特論」「分子生物学入門」「在宅緩和医療特論」「がん患者看護論」「コンサルテーション論」より1単位以上修得。</p>						
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	北信4県におけるTV会議システムを利用したがんライフステージ事例検討会や富山がん事例検討会にて、緩和ケア・がんリハビリ、在宅療法、化学療法中患者等の困難事例について意見交換を行うとともに、e-learning科目・演習を通して、在宅医療における患者・家族のQOL向上・症状コントロールを図るための知識・技術を得る点に特色がある。						
指導体制	北信4県のがん看護専門看護師を中心に、医師、薬剤師、理学療法士、作業療法士、ソーシャルワーカーなどそれぞれの立場から意見交換や講義演習を実施する。 講義科目は、e-learningにより受講する。						
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	本コース修了者にはNPOがんプロフェッショナル認定機構より、「在宅がん緩和リハビリテーション・スペシャリスト」（仮）の認定証を授与する。						
受入開始時期	平成30年4月以降随時						
受入目標人数	対象者	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	看護師	/	1	2	2	2	7
	計	0	1	2	2	2	7

教育プログラム・コースの概要

大学名等	福井大学医学部						
教育プログラム・コース名	在宅栄養管理コース（インテンシブ）						
対象者	一般医師、歯科医師、後期研修医、在宅医療に関わる看護師、薬剤師、管理栄養士、言語聴覚士、理学療法士、運動療法士、その他の医療スタッフ						
修業年限（期間）	1年						
養成すべき人材像	栄養学は全ての医療の基本であり、在宅医療にあっても欠かせない医療技術である。終末期がん患者や、脳血管障害その他の慢性疾患で在宅医療を行う場合にも地域の医療資源として在宅栄養管理を安全かつ有効に行うことができる医療者を養成する必要がある。在宅医療においても、経口摂取の維持、経管栄養、静脈栄養など患者の状態に最も適した栄養法を安全に行う事が求められる。そのためには在宅栄養パスの効率的な利用も必要である。日本静脈経腸栄養学会認定教育施設における、NST専門療法師資格取得のための20時間以上の研修は、NST専門療法師資格取得にも繋がる。						
修了要件・履修方法	<p><修了要件>必修科目（e-learning）3単位の修得。かつ、がんプロが実施するオンコロジーセミナーに2回以上参加または、指定する研修等へ参加すること。</p> <p><履修方法>e-learning教材、TV会議によるセミナー、演習等で履修する。</p>						
履修科目等	<p><必修科目>在宅栄養特論（1単位）、在宅緩和ケア特論（1単位）、臨床栄養学特論（1単位）</p> <p><選択科目>以下のいずれかを演習として履修する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がんプロが実施するオンコロジーセミナー2回以上の参加 ・日本静脈経腸栄養学会認定教育施設にて20時間以上の研修 ・（医師）日本静脈経腸栄養学会の開催するTNT研修会または医師セミナーを受講。 ・（医師以外のスタッフ）日本静脈経腸栄養学会の開催するNST専門療法師セミナー受講。 						
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	在宅緩和医療を推進する上で最も重要な技術は栄養管理である。全ての慢性疾患で在宅医療での栄養指標を高く維持するためには一定以上の技術の習得を要する。拠点病院と在宅のスタッフが同じ教育を受けることで、在宅栄養管理パスが機能し、シームレスな在宅移行が可能となる。また、地域の各職種の栄養管理技術がレベルアップすることで、安全かつ満足度の高い在宅医療が実現できる。						
指導体制	福井大学医学部附属病院をはじめ、各大学病院の栄養サポートチームが中心となる。日本静脈経腸栄養学会認定教育施設の研修サポートを受ける事ができる。日本静脈経腸栄養学会北陸支部会、TNT委員会もサポートする。						
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	コース修了者は、医師ではNSTのチェアマン、地域NSTの指導者として期待される。医師以外のスタッフは、日本静脈経腸栄養学会認定NST専門療法師資格の取得をめざすことができる。						
受入開始時期	平成29年10月						
受入目標人数	対象者	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	医師	/	2	2	2	2	8
	医師以外	/	10	20	20	20	70
	計	0	12	22	22	22	78

教育プログラム・コースの概要

大学名等	福井大学医学部						
教育プログラム・コース名	在宅緩和医療コース（インテンシブ）						
対象者	一般医師、歯科医師、後期研修医、在宅医療に関わる看護師、薬剤師、管理栄養士、言語聴覚士、理学療法士、運動療法士、その他の医療スタッフ						
修業年限（期間）	1年						
養成すべき人材像	緩和は全ての医療の目的であり、特に在宅医療にあっても欠かせない医療技術である。終末期がん患者や慢性疾患の終末期を在宅で療養する場合にも地域の医療資源として緩和医療を安全かつ有効に行うことができる医療者を養成する。在宅医、訪問看護師、訪問薬剤師又は地域の調剤薬剤師、その他地域の医療者が対象となる。						
修了要件・履修方法	<p><修了要件>必修科目（e-learning）3単位の修得。かつ、がんプロが実施するオンコロジーセミナーに2回以上参加または国の定める緩和ケア研修会を受講すること。</p> <p><履修方法>e-learning教材、TV会議によるセミナー、演習等で履修する。</p>						
履修科目等	<p><必修科目>がん緩和医療特論（1単位）、在宅緩和ケア特論（1単位）、臨床栄養学特論（1単位）</p> <p><選択科目>以下のいずれかを演習として履修する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がんプロが実施するオンコロジーセミナー2回以上の参加 ・国の定める緩和ケア研修会の受講。 						
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	北陸地域で用いられている在宅緩和医療パスを用いて、病院から在宅へのシームレスな連携を行うための医療者を養成する。在宅栄養にも重点をおく。						
指導体制	大学緩和ケアチームと緩和医療学会専門医、認定医、暫定指導医が中心に教育を行う。緩和医療学会緩和ケア研修会が研修をサポートする。						
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	コース修了者は、医師では施設の緩和ケアチーム医師、緩和ケア病棟医師、地域緩和ケアチームのリーダーとしての活躍が期待できる。また、日本緩和医療学会の専門医を目指す為の教育を提供できる。医師以外のスタッフでは、地域緩和ケアチームのスタッフとして期待される。						
受入開始時期	平成29年10月						
受入目標人数	対象者	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	医師	/	4	4	4	4	16
	医師以外のスタッフ	/	20	20	20	20	80
	計	0	24	24	24	24	96

教育プログラム・コースの概要

大学名等	金沢医科大学大学院医学研究科生命医科学専攻						
教育プログラム・コース名	がん集学的治療医養成コース（インテンシブ）						
対象者	地域でがん診療に携わる医師						
修業年限（期間）	1年（延長可）						
養成すべき人材像	富山県西部能登南部連合地域および能登北部地区を重点にがん診療に携わる医師を対象として、希少がんや小児がんを含む様々ながんの集学的治療などに造詣の深い医師を養成する。						
修了要件・履修方法	<p><修了要件>北信がんプロフェッショナル授業科目3単位以上の修得及び北信オンコロジーセミナーへの出席又は多職種連携セミナーへの参加。</p> <p><履修方法>全国規模のe-learning教材及び本事業が開催するがんゲノムシンポジウムにおける講義教材を利用して自己学習を行うのみならず、TV会議システムを利用した北信オンコロジーセミナー又は多職種連携セミナーへの参加による学修を行う。</p>						
履修科目等	<選択科目>がんゲノム医療特論（1単位）、小児・AYA世代・希少がん特論（1単位）、ライフステージに応じたがん医療特論（1単位）、在宅緩和ケア特論（1単位）、北信オンコロジーセミナー（1単位）、がんライフステージ演習（1単位）						
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	当施設が実地医療を担当している地域のがん診療に携わる医師を対象として、希少がんや小児がんを含む様々ながんの集学的治療の教育機会を提供する点に新規性がある。						
指導体制	大学及び連携機関に所属するがん集学的治療のエキスパートであるスタッフが、様々ながん種に対する集学的治療を行うために必要なスキルをe-learning又はシンポジウムで講義する（e-learningやシンポジウム参加、TV会議で受講）。						
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	本コースで養成された医師は、多職種と連携できるがん集学的治療のリーダーとして、地域基幹病院におけるがん医療に貢献する。						
受入開始時期	平成29年10月						
受入目標人数	対象者	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	地域医療機関の医師	1	2	2	2	2	9
	計	1	2	2	2	2	9

教育プログラム・コースの概要

大学名等	石川県立看護大学大学院看護学研究科（博士前期課程） 看護学専攻実践看護学領域成人看護学分野						
教育プログラム・コース名	がんライフケアコース（インテンシブ）						
対象者	看護師、薬剤師、医師、理学・作業療法士、ソーシャルワーカー等						
修業年限（期間）	6月～1年						
養成すべき人材像	これまでのがん看護経験又はすでに取得している専門看護師が、がん看護、小児看護、老年看護のそれぞれの専門性を活かし、全人的痛みに関する事例やミニレクチャーを通して、小児、AYA世代、壮年、高齢者といった各ライフステージにおける全人的痛みに関する生活過程の全般を統合・管理し、卓越した看護ケアを提供できる看護師を養成する。						
修了要件・履修方法	＜修了要件＞がんライフステージ演習1単位以上の修得及び公開講演への参加。 ＜履修方法＞TV会議によるセミナー、演習等で履修する。						
履修科目等	＜必修科目＞がんライフステージ演習（1単位）、公開講演への参加。						
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	北陸3県においてTV会議システムやWeb会議システムを利用して、各専門看護師や薬剤師、医師で、緩和ケア、がんリハビリ、化学療法中の患者への疼痛ケア事例について意見を交換をおこない、各対象に応じた緩和ケアの知識・技術を得ることができる。						
指導体制	北陸3県のがん看護専門看護師と薬学部の学生、薬剤師を中心に、小児専門看護師、老人看護専門看護師、薬剤師、医師、理学療法士がそれぞれの専門的立場からテレビ会議システムを通して、事例検討する。それぞれの専門を互いに共有することで、小児、AYA世代、老年期の特徴を理解すると共に患者の全人的理解とそのケアについて検討していく。がん患者の会などとも連携を取り、事例検討のうち1-2回は、患者会にも参加していただく。						
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	本コース修了者は、地域基幹病院のみならず、僻地におけるがん医療に貢献する。また、この経験を生かし、看護師、学部生（看護、薬学、医学）への関わりの中で、次世代のがん医療従事者の育成に関わる。						
受入開始時期	平成29年10月						
受入目標人数	対象者	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	看護師	1	3	3	3	3	13
	看護師以外の多職種	1	2	2	2	2	9
	計	2	5	5	5	5	22

第Ⅱ部 実績

平成 30 年度 教育コース受入実績

■本科生コース

	教育コース	受入目標	受入実績	充足率
金沢大学	◆先端的個別化医療コース	5	9	180%
	◆がん個別化薬物療法薬剤師リーダーコース	1	1	100%
	◆個別化高度化を担う医療技術・医学物理人材育成コース	2	3	150%
信州大学	◆ゲノム医療に精通したがん治療医育成コース	2	2	100%
	◆がん診療に詳しい認定遺伝カウンセラー養成コース	1	1	100%
富山大学	◆高齢がん患者対策専門コース	4	6	150%
	◆高齢化した地域医療を個別化医療で支えることができる高度薬剤師養成コース	1	1	100%
福井大学	◆地域がん専門医養成コース	2	3	150%
金沢医科大学	◆がんプロフェッショナルがん専門医リーダー養成コース	2	2	100%
石川看護大学	◆がんライフステージコース	2	2	100%

H31.3.5 現在

■インテンシブコース

	教育コース	受入目標	受入実績	充足率
金沢大学	◆がんゲノム医療生涯教育コース	6	12	200%
	◆がん個別化薬物療法実践薬剤師コース	1	4	400%
	◆がんゲノム多職種連携入門コース	10	32	310%
富山大学	◆高齢がん患者対策専門コース	2	2	100%
	◆高齢化した地域医療を個別化医療で支えることができる専門的薬剤師養成コース	2	5	250%
	◆在宅がん緩和リハビリテーションコース	1	6	600%
福井大学	◆在宅栄養管理コース	12	24	200%
	◆在宅緩和医療コース	24	26	108%
金沢医科大学	◆がん集学的治療医養成コース	2	2	100%
石川看護大学	◆がんライフケアコース	5	10	200%

H31.3.5 現在

平成30年度 北信がんプロ行事一覧

月	日	行事	内容	大学
4	4	C B	・緩和ケアチームカンファレンス	福井大学
	8	市民公開講座	・市民公開講座 「信州大学がん哲学外来 in 軽井沢」	信州大学
	11	C B	・緩和ケアチームカンファレンス	福井大学
	14	F D	・第9回腫瘍内科医会セミナー	金沢医科大学
	16	F D	・がん診療推進センター講習会 「がん治療関連性心血管障害」 「がん患者の CancerVTE マネジメント～最新の知見を踏まえて～」	福井大学
	18	がんサロン	・がんサロンハーモニー 「肺がんの遺伝子検査に基づいた新しい治療について」	金沢大学
	18	F D	・がん診療推進センター講習会 「バイオシミラーを知る」	福井大学
	18	C B	・緩和ケアチームカンファレンス	福井大学
	23	C B	・キャンサーボード症例検討会	信州大学
	25	C B	・緩和ケアチームカンファレンス	福井大学
5	2	C B	・緩和ケアチームカンファレンス	福井大学
	9	報告会	・北信がんプロ 海外FD研修報告会 *アメリカ/ワシントン「がんゲノム医療」 *オーストラリア/メルボルン「緩和ケア」	
	9	C B	・緩和ケアチームカンファレンス	福井大学
	14	F D	・がん診療推進センター講習会 「新しい選択肢ヒドロモルフォン～内服から注射まで～」	福井大学
	15	会議	・北信がんプロ第1回多職種連携委員会	
	15	F D	・がん診療推進センター講習会 「アブストラルの実臨床での効果と安全な外来導入への取り組み」 「アブストラル使用時のアセスメントと指導ポイント」	福井大学
	16	がんサロン	・がんサロンハーモニー「出張“はなうめ”」	金沢大学
	16	F D	・がん診療推進センター講習会 「大腸癌の最新エビデンスの活用」 「がん治療における地域病院での工夫」	福井大学
	16	C B	・緩和ケアチームカンファレンス	福井大学
	16	F D	・第60回教育懇談会 「Social Justice - a key component of Medical Education」 「Ethnic Differences in Obesity, Diabetes, and Cancer」	金沢医科大学
	17	会議	・平成30年度 全国がんプロ協議会総会 ・平成30年度 第1回全国がんプロ e-learning クラウド活動会議	
	17	C B	・第1回富山がん看護事例検討会	富山大学
	18	F D	・北信がんプロ 第1回富山県がんゲノム医療研修会 「ゲノムバイオマーカーに基づくがん最適化医療」	富山大学
	18	F D	・第31回腫瘍病理セミナー 「超解像イメージングによって明らかになった生細胞のゲノムの折り畳み構造とそのダイナミクス」	金沢医科大学
	23	C B	・緩和ケアチームカンファレンス	福井大学
25	F D	・がん診療推進センター講習会	福井大学	

			「大腸がんの最適な治療選択」	
	28	その他	・国際シンポジウム	金沢大学
	28	C B	・がんセンターボード症例検討会	信州大学
	30	C B	・緩和ケアチームカンファレンス	福井大学
6	5	看護CB	・北信がんプロ 第1回がんライフステージ事例検討会 「多くを語らない壮年期終末期がん患者と家族への意思決定支援」	石川県立看護大学
	6	C B	・緩和ケアチームカンファレンス	福井大学
	9	F D	・北信がんプロ第2回がんゲノム医療研修会 「がんゲノム医療の臨床実装について」	富山大学
	13	C B	・緩和ケアチームカンファレンス	福井大学
	14	F D	・がん診療推進センター講習会 「Medical oncologist が注目する今後の大腸癌治療」	福井大学
	20	会議	・北信がんプロ第1回総務委員会	
	20	がんサロン	・がんサロンハーモニー「看護師さんに聞いてみよう」	金沢大学
	20	C B	・緩和ケアチームカンファレンス	福井大学
	25	会議	・北信がんプロ第1回教務委員会	
	25	C B	・がんセンターボード症例検討会	信州大学
	27	C B	・緩和ケアチームカンファレンス	福井大学
	28	市民公開講座	・市民公開講座 「内視鏡による大腸がんの診断・治療」	信州大学
	28	F D	・石川県がん診療連携拠点病院研修会 「がんゲノム医療の実践と今後の展望」 「胃癌化学療法の話」	金沢大学
	29	オンコロジーセミナー	・北信がんプロ 第3回オンコロジーセミナー * 症例検討2題 「トラスツズマブ・カペシタビンの併用療法が奏効し長期生存が得られた胃癌の2例」 「膵原発腺扁平上皮癌の5例」 * 特別講演 「がんゲノム医療の実際と課題」	金沢医科大学
7	3	看護CB	・北信がんプロ 第2回がんライフステージ事例検討会 「レスキュー薬を頻回に使用する患者の対応に看護師が戸惑った症例」	石川県立看護大学
	4	C B	・緩和ケアチームカンファレンス	福井大学
	6	F D	・がん医療従事者のための教育セミナー 「がん治療における心血管毒性の病態と対策 - Onco-Cardiology の役割 -」	金沢医科大学
	10	会議	・北信がんプロ 第2回多職種連携委員会	
	11	C B	・緩和ケアチームカンファレンス	福井大学
	13	F D	・北信がんプロ 第1回国際エキスパートセミナー 「Primary and Acquired Mechanisms of Resistance to Immunotherapies」	金沢大学
	13	F D	・北信がんプロ ライフステージ事例検討会 第1回 CNS 関係者によるがん看護事例検討会	石川県立看護大学
	18	がんサロン	・がんサロンハーモニー「胃がん治療の最前線」	金沢大学
	18	C B	・緩和ケアチームカンファレンス	福井大学
	19	C B	・第2回富山がん看護事例検討会	富山大学

	23	C B	・がん診療推進センター講習会	信州大学
	25	C B	・緩和ケアチームカンファレンス	福井大学
	27	F D	「オプジーボ/ヤーボイ併用療法（免疫チェックポイント阻害薬）の副作用対策について」	福井大学
	31	F D	「How to 院内チーム医療連携（免疫チェックポイント阻害薬の副作用連携について）」	福井大学
8	1	C B	・緩和ケアチームカンファレンス	福井大学
	5	F D	・北信がんプロ 看護実践セミナー 「臨床で行なうリンパ浮腫のケア ～基礎編～」	石川県立看護大学
	7	看護CB	・北信がんプロ 第3回がんライフステージ事例検討会 「認知症を患う乳がん患者の意思決定支援」	石川県立看護大学
	8	C B	・緩和ケアチームカンファレンス	福井大学
	22	C B	・緩和ケアチームカンファレンス	福井大学
	22	F D	・がん診療推進センター講習会 「BRAF 変異型大腸がん治療における3つのポイント」	福井大学
	27	C B	・がん診療推進センター講習会	信州大学
	29	F D	・がん診療推進センター講習会 「胃癌治療における現状と課題」	福井大学
	29	C B	・緩和ケアチームカンファレンス	福井大学
	30	F D	・がん診療推進センター講習会 「がん治療における疼痛管理と口腔合併症」	福井大学
9	2	その他	・子宮頸がん予防啓発プロジェクト 第8回愛は子宮を救う in 長野	信州大学
	5	C B	・緩和ケアチームカンファレンス	福井大学
	8	F D	・北信がんプロ 看護実践セミナー 「臨床で行なうリンパ浮腫のケア ～アドバンス編～」	石川県立看護大学
	10	C B	・がん診療推進センター講習会	信州大学
	10	F D	・北信がんプロ がん免疫療法講演会 「Adoptive Cell Therapy with Gene-engineered T-cells — Specificity, Construct, and Cells —」	富山大学
	10	F D	・北信がんプロ ライフステージ事例検討会 第2回 CNS 関係者によるがん看護事例検討会	石川県立看護大学
	11	C B	・第3回小児血液・癌症例検討会 in 中部	金沢大学
	12	C B	・緩和ケアチームカンファレンス	福井大学
	12	F D	・第33回腫瘍病理セミナー・金沢女性研究者フォーラム 「細菌毒素の巧妙な体内侵入機構から学ぶ」 「知られざる p53 の肖像画 ～最も有名ながん抑制遺伝子 p53 の新機能～」	金沢医科大学
	13	F D	・がん診療推進センター講習会 「最新のエビデンスに基づいた”より良い治療”を目指して」 「再発低リスクにおいて De-escalation は可能か？」 「再発中間リスクにおける治療戦略とは？」	福井大学
14	F D	・北信がんプロ 第3回がんゲノム医療研修会	富山大学	

		「がんゲノム医療リキッドバイオプシーとは」		
19	がんサロン	・がんサロンハーモニー「がんと就労」	金沢大学	
19	C B	・緩和ケアチームカンファレンス	福井大学	
19	F D	・がん診療推進センター講習会 「チームで取り組む疼痛治療～薬剤師の立場から～」 「早期からの緩和ケアの実践～がん治療医の立場から～」	福井大学	
20	市民公開講座	・市民公開講座 「胃癌の外科的治療について」	信州大学	
20	C B	・第3回富山がん看護事例検討会	富山大学	
21	オンコロジー セミナー	・北信がんプロ 第4回オンコロジーセミナー *症例検討 「急激発症の若年大腸癌患者に対するクリニカルシークエンスと 遺伝カウンセリングの経験」 「HBOC 症候群の遺伝カウンセリングの現状と未発症保因者診断を 行った1家系」 *特別講演 「治療開発を目指したがんゲノム医療体制の構築」	福井大学	
22	市民公開講座	・市民公開講座 「がんゲノム医療」	富山大学	
22	市民公開講座	・第31回日本サイオンコロジー学会総会市民公開講座 「がんところのケア：ところの持ち方のこつ」 「がんとともに、自分らしく生きる」	金沢医科大学	
25	F D	・がん診療推進センター講習会 「私が考える UFT/UZEL 療法の使いどころ ～患者さんによって最適な治療とは～」	福井大学	
26	F D	・がん診療推進センター講習会 「骨転移治療におけるチーム医療の意義」	福井大学	
27	C B	・緩和ケアチームカンファレンス	福井大学	
29	F D	・北信がんプロ 公開講座 「がんゲノムを理解し現場に活かそう」	石川県立看護大学	
10	2	F D	・がん診療推進センター講習会 「切除不能進行・再発大腸癌における二次治療の治療戦略」	福井大学
	2	看護CB	・北信がんプロ 第4回がんライフステージ事例検討会 「多忙な病棟業務のなかの患者の希望 ーチームワークを育みケアに繋げるー」	石川県立看護大学
	3	その他	・NPO 北信がんプロ設立総会	
	4	F D	・がん診療推進センター講習会 「消化管神経内分泌腫瘍の化学療法」	福井大学
	6	市民公開講座	・北信がんプロ 市民公開講座 「これからのがん治療を考える」	信州大学
	6・7	F D	・エンド・オブ・ライフ・ケア看護師教育プログラム	富山大学
	8	市民公開講座	・北信がんプロ 市民公開講座 「がん治療と妊孕性温存-大切な生命のリレーのために-」	金沢医科大学
	10		・新聞掲載（北國新聞） 「10月8日開催の市民公開講座 報告記事」	
	11	F D	・がん診療推進センター講習会	福井大学

			「すぐわかるヒドロモルフォンの使い方」	
14	市民公開講座		・市民公開講座 「信州大学がん哲学外来 in 軽井沢」	信州大学
17	がんサロン		・がんサロンハーモニー「がん治療中の口腔ケア」	金沢大学
22	C B		・キャンサーボード症例検討会	信州大学
28	市民公開講座		・北信がんプロ 市民公開講座 ・第30回日本医学総会 2019 中部プレイベント 「明治維新から150年 激動するがん医療の流れを知ろう」	金沢大学
	F D		・北信がんプロセミナー（医学物理士・診療放射線技師向け講演会） 講演「IGRTの進化とMR-Linac」 実習「ユーザーによる電位計の点検」	金沢大学
29			・新聞掲載（北國新聞） 「10月28日開催の市民公開講座 報告記事」	
1	市民公開講座		・市民公開講座 「がんゲノム医療 クリニカルシーケンスについて」	信州大学
3・4	F D		・エンド・オブ・ライフ・ケア看護師教育プログラム	富山大学
6	看護CB		・北信がんプロ 第5回がんライフステージ事例検討会 「シングルマザーの終末期がん患者とその子どもへの支援」	石川県立看護大学
8	F D		・石川県がん診療連携拠点病院研修会 「当科における電子パス導入推進の取り組み」 「BOMを活用したアウトカム志向のクリニカルパス」 「進行非小細胞肺がん治療の現在地」	金沢大学
13 ～ 17	F D		・北信がんプロ 海外F D研修 台湾／高雄視察	金沢医科大学
14	会議		・平成30年度 北信がんプロ 運営協議会	
15	市民公開講座		・市民公開講座 「がんと栄養～よりよく生活するために～」	信州大学
15	C B		・第4回富山がん看護事例検討会	富山大学
11 21	がんサロン		・がんサロンハーモニー「腸を元気にする食事」	金沢大学
22	オンコロジー セミナー		・北信がんプロ 第5回オンコロジーセミナー * 症例検討 「異所性ACTH産生胸腺神経内分泌腫瘍の一例」 「寛解導入療法中に痔疾による長期臥床が誘引と考えられた肺動脈 血栓症を合併したT細胞性リンパ芽球性リンパ腫のAYA世代 症例」 * 特別講演 「がん転移前の臓器の転移土壌」	信州大学
22	F D		・北信がんプロ 第4回がんゲノム医療研修会 「ゲノム医療時代のがん診療」	富山大学
26	その他		・国際シンポジウム	金沢大学
26	C B		・キャンサーボード症例検討会	信州大学
27	F D		・北信がんプロ 第2回国際エキスパートセミナー 「PD-L1 immunohistochemistry is the best predictive biomarker for PD-1/PD-L1 blockade? - an experience with NSCLC」	金沢大学
27			・新聞掲載（北國新聞）	

			「10月28日開催の市民公開講座 採録記事」	
	30	F D	・北信がんプロ 看護セミナー 地域で暮らすがん患者への支援 「地域で広げよう患者の意向を尊重する意思決定支援」	福井大学
12	4	看護CB	・北信がんプロ 第6回がんライフステージ事例検討会 「余命が伝えられた人生の最終段階にある患者・家族への関わり」	石川県立看護大学
	8	F D	・平成30年度北信がんプロ人材育成セミナー（薬剤師）	富山大学
	9	市民公開講座	・市民公開講座 「がん治療における放射線診断・放射線治療の役割」	信州大学
	10	会議	・北信がんプロ 第2回教務委員会（筑波大学参加）	
	10	CB	・がんサロンの症例検討会	信州大学
	16	会議	・北信がんプロ 学長連絡協議会	
	16	F D	・北信がんプロ 医療者セミナー 「地域連携におけるアドバンス・ケア・プランニング ～患者の希望を効果的につなぐ～」 「婦人科がんにおける妊孕性温存」 「腹膜転移、がん性腹水に対する治療の現状」	福井大学
	16	合同市民公開講座	・平成30年度北信がんプロ 合同市民公開講座・県民公開シンポジウム 「がん診療最前線」	福井大学
	19	がんサロン	・がんサロンハーモニー「こころと体を元気に」	金沢大学
	21	F D	・平成30年度第21回医学研究セミナー 「ゲノム情報に基づいたがん発症・増悪化機序の解明」	金沢医科大学
	23	市民公開講座	・第18回日本癌治療学会市民公開講座 「進行がんに関するマネージメント」	金沢大学
		24		・新聞掲載（北國新聞） 「12月23日開催の市民公開講座 報告記事」
年末 ～ 1月			・テレビ放送 （金沢ケーブルテレビネット・テレビ松本・ケーブルテレビ富山・福井ケーブルテレビ） 10月28日開催の市民公開講座「明治維新から150年 激動するがん医療の流れを知ろう」 のダイジェスト版を放送	
1	16	がんサロン	・がんサロンハーモニー「心とからだにより添う音楽療法」	金沢大学
	17	CB	・第5回富山がん看護事例検討会	富山大学
	25	F D	・医療者のための緩和ケア講演会 「今後の緩和ケアの方向性」	信州大学
	26	F D	・医療者のための長野県緩和ケアアドバンス研修会2018	信州大学
	28	CB	・がんサロンの症例検討会	信州大学
	28		・新聞掲載（北國新聞・信濃毎日新聞・富山新聞・福井新聞） 「12/16開催の合同市民公開講座・県民公開シンポジウム 採録記事」	
	31	その他	・第2回がんゲノム医療看護師勉強会	信州大学
2	5	会議	・平成30年度 全国がんプロ協議会・教育合同フォーラム	
	7	オンコロジーセミナー	・九州がんプロ 合同シンポジウム 北信がんプロ 第6回オンコロジーセミナー *症例検討 「Ipilimumab/Nivolumab 併用療法により間質性肺疾患を発症した が奏功が得られている進行腎細胞癌の1例」	金沢大学

		<p>「免疫チェックポイント治療中に生じた甲状腺機能低下症、副腎機能低下症の一例」</p> <p>「統合的データベース解析による化学療法高度感受性 Epstein-Barr virus 関連進行胃癌における薬剤抵抗性関連遺伝子メチル化の同定」</p> <p>* 特別講演</p> <p>「胃癌化学療法の現況」</p>	
	7	市民公開講座	<p>・公開講座</p> <p>「がん患者さんの心のケア～気持ちのつらさからせん妄まで～」</p> <p>信州大学</p>
	10	F D	<p>・都道府県がん診療連携拠点病院 医療者研修会</p> <p>「抗がん剤曝露対策」</p> <p>信州大学</p>
	10	市民公開講座	<p>・市民公開講座</p> <p>「緩和ケア公開講座」</p> <p>富山大学</p>
	12	看護CB	<p>・北信がんプロ 第7回がんライフステージ事例検討会</p> <p>「終末期がん患者の配偶者への援助」</p> <p>石川県立看護大学</p>
	15 ～ 16	F D	<p>・がん医療に携わる医師に対するコミュニケーション技術研修会</p> <p>金沢医科大学</p>
	20	がんサロン	<p>・がんサロンハーモニー「がんの脊椎転移とリハビリテーション」</p> <p>金沢大学</p>
	25	CB	<p>・がんサロンハーモニー「がんの脊椎転移とリハビリテーション」</p> <p>信州大学</p>
			<p>・テレビ放送</p> <p>(金沢ケーブルテレビネット・テレビ松本・ケーブルテレビ富山・福井ケーブルテレビ)</p> <p>12月16日開催の合同市民公開講座・県民公開シンポジウム「がん診療最前線」のダイジェスト版を放送</p>
3	2	CB	<p>・北信がんプロ 公開事例検討会</p> <p>「人生最終段階の生をどう支えるか～人生から治療の意味を考える～」</p> <p>石川県立看護大学</p>
	5	看護CB	<p>・北信がんプロ 第8回がんライフステージ事例検討会</p> <p>「患者本人への予後告知を希望されなかった本人・家族への関わりを振り返る～残された時間をその人らしく過ごすためには～」</p> <p>石川県立看護大学</p>
	8	会議	<p>・北信がんプロ 外部評価委員会</p>
	10	市民公開講座	<p>・市民公開講座</p> <p>「信州大学がん哲学外来 in 軽井沢」</p> <p>信州大学</p>
	15	F D	<p>・第4回小児血液がんセミナー</p> <p>金沢大学 金沢医科大学</p>
	20	がんサロン	<p>・がんサロンハーモニー「がん治療を支える漢方医学」</p> <p>金沢大学</p>
	25	CB	<p>・がんサロンハーモニー「がん治療を支える漢方医学」</p> <p>信州大学</p>

平成 30 年度 学長連絡協議会

【日 時】平成 30 年 12 月 16 日（月）13：00～14：00

【場 所】福井県県民ホール（アオッサ 8 階・楽屋 3/4）

【参加者】

氏 名	所 属	部署/役職
山崎 光悦	金沢大学	金沢大学長
大竹 茂樹		基幹教育改革・財務・附属病院担当理事
矢野 聖二		附属病院がんセンター長・腫瘍内科教授（統括コーディネーター）
中田 光俊		脳神経外科学 教授
大谷 咲子		がん進展制御研究所 腫瘍内科 特任助教
石塚 靖志		医学大学院係 事務補佐員
内山 恵		医学大学院係 事務補佐員
横川 直子		医学大学院係 事務補佐員
濱田 州博	信州大学	信州大学長
小泉 知展		包括的がん治療学教室 教授
太田 久喜		学務・臨床研修グループ 副事務長
丸山 佳笑		学務・臨床研修グループ 事務補佐員
森 寿	富山大学	医学部 教授 副学部長（代理出席）
林 龍二		臨床腫瘍部 教授
内田 明子		富山大学附属病院 臨床腫瘍部 事務補佐員
眞弓 光文	福井大学	福井大学長
片山 寛次		医学部附属病院がん診療推進センター教授
西澤 喜久代		総務部松岡キャンパス総務室 主査
神田 享勉	金沢医科大学	金沢医科大学長
元雄 良治		腫瘍内科学教授・学的がん治療センター長
石野 道香		教学課（大学院医学研究科担当） 事務補佐員

【開催風景】



【発表資料】

okushin
がんプロ

平成30年12月16日(日)
福井県県民ホール(アオッサ8階)

平成30年度
北信がんプロ 学長連絡協議会

「超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成」

北信がんプロ活動状況報告

事業責任者 矢野 聖二

金沢大学附属病院がんセンター
金沢大学がん進展制御研究所 腫瘍内科
WPI 金沢大学ナノ生命科学研究所

1

発表内容

- 1、北信がんプロの事業概要
- 2、北信がんプロの予算
- 3、H29年度外部評価委員会の結果
- 4、北信がんプロ事業計画と進捗
 - (1)教育コース受入れ状況と講義について
 - (2)地域がんデータベース
 - (3)スタッフ研修
 - (4)市民公開講座、啓発活動
- 5、今後の予定

2

全国11の「がんプロ」チーム

北信がんプロ

金沢大 信州大
福井大 富山大
金沢医大 山梨大
連携6大学 石川看護大

2018年6月から
オブザーバー参加

札幌医大 他3校
東北大 他3校
筑波大 他11校
東京大 他5校
東京医歯大 他7校
京都大 他4校
近畿大 他6校
九州大 他9校
岡山 他10校
大阪大 他6校

第1期18チーム (2007年～)
↓
第2期15チーム (2011年～)
↓
第3期11チーム (2017年～)

3

北信がんプロの事業

okushin
がんプロ

② 演習 (多職種連携) 北信4県のがん拠点病院等
北信4県の医師会
北信4県の自治体

金沢大・がん進展制御研究所
国立がん研究センター
北信オンコロジーセミナー
ライフステージ事例検討会
(TV会議システムを使用)

① 講義
全国e-learningクラウド
(筑波大学が主管)
がんゲノム、小児・AYA・希少がん
ライフステージに関する教材を
教員が作成

③ 地域がん医療の特徴把握
地域がんデータベース
(院内がん登録データを活用)
小児・AYA世代・高齢者の
がんデータの把握→対策立案

④ スタッフ研修 (FD)
地域でのFD研修
がん拠点病院や
大学プログラムと連
携した研修会を実施

⑤ 人材交流
国際シンポジウム
合同シンポジウム
患者会
海外FD研修
ライフステージを
テーマとした研修
を今年度に予定
海外連携施設

⑥ 市民啓発・教育
市民公開講座・WEBでの広報
アンケートでニーズの把握

金沢大 信州大
福井大 富山大
金沢医大 山梨大
石川看護大

4

北信がんプロの教育に関する基本構想

北信地域における多様な新ニーズに対応できる知識を相互補完的に習得

- 1、北信6大学の強み
 - ・金沢大: 先進的な集学的個別化ゲノム医療
 - ・信州大: がん診療に詳しい認定遺伝カウンセラー養成、小児・AYA世代がん診療、
 - ・金沢医大: 希少がん病理診断や就学的治療・就労支援
 - ・富山大: 高齢者がん対策、福井大: 先進的在宅緩和ケア、
 - ・石川看護大: 患者のライフステージに合わせた全人的ケア・認定看護師養成)
- 2、各々の強みを生かした相互補完的教育プログラムを20コース新設
(本科10コース、インテンシブ10コース)
大学の枠を超えて履修できる共通選択科目や単位互換を導入
- 3、TV会議システムを活用した遠隔教育システムの構築
多職種が最先端のゲノム医療、小児・AYA世代・高齢者がんや希少がん症例の研究、診断、治療、緩和ケア、就労支援等を効率的に学習

5

北信がんプロ実施体制

okushin
がんプロ

金沢大 信州大 富山大 福井大 金沢医大 石川看護大

学長連絡協議会

外部評価委員会

北信がんプロ運営協議会

- ・6大学
- ・地域医療機関
- ・医師会
- ・自治体
- ・患者会 等

総務委員会 教務委員会 オンコロジーセミナー委員会 がんデータベース委員会 広報委員会 企画委員会 多職種連携会議

運営一般 カリキュラム E-learning教材 など 演習計画 データベース作成法 解析法決定 成果発表法など管理 など WEB管理 印刷物作成 市民公開講座 F D研修など 看護、保健、薬学系の事業 事例検討会の計画 など

6

北信がんプロの5大学病院はがんゲノム医療連携病院に指定されている



連携病院	中核拠点病院
金沢大学	国立がんセンター東病院 慶應義塾大学病院
信州大学	岡山大学病院
富山大学	京都大学医学部附属病院
福井大学	京都大学医学部附属病院 名古屋大学医学部附属病院
金沢医科大学	慶應義塾大学病院



審査委員会(2018/2/14)

発表内容

- 1、北信がんプロの事業概要
- 2、北信がんプロの予算
- 3、H29年度外部評価委員会の結果
- 4、北信がんプロ事業計画と進捗
 - (1)教育コース受入れ状況と講義について
 - (2)地域がんデータベース
 - (3)スタッフ研修
 - (4)市民公開講座、啓発活動
- 5、今後の予定

北信がんプロ教育コース

本科生コース 平成30年4月受入れ開始 計10コース		対象	H29	H30	H31	H32	H33	合計
金沢大	がんゲノム医療連携教育コース	医師・薬剤師	0	5	5	5	5	20
	がんゲノム医療連携教育コース	薬剤師	0	1	2	2	2	7
	がんゲノム医療連携教育コース	医学物理士	0	2	2	2	2	8
信州大	がんゲノム医療連携教育コース	医師	0	2	2	2	2	8
	がんゲノム医療連携教育コース	多職種	0	1	1	1	1	4
富山大	がんゲノム医療連携教育コース	医師	0	4	4	4	4	16
	がんゲノム医療連携教育コース	薬剤師	0	1	1	1	1	4
福井大	がんゲノム医療連携教育コース	医師	0	2	2	2	2	8
金沢医大	がんゲノム医療連携教育コース	医師	0	2	2	2	2	8
石川看護大	がんゲノム医療連携教育コース	看護師	0	2	2	2	2	8
合計			0	22	23	23	23	91
インテンシブコース 平成29年10月受入れ開始(一部平成30年4月開始) 計10コース		対象	H29	H30	H31	H32	H33	合計
金沢大	がんゲノム医療連携教育コース	医師・薬剤師	2	6	6	6	6	26
	がんゲノム医療連携教育コース	薬剤師	0	2	2	2	2	8
	がんゲノム医療連携教育コース	多職種	0	10	10	10	10	40
富山大	がんゲノム医療連携教育コース	医師	2	2	2	2	2	10
	がんゲノム医療連携教育コース	薬剤師	1	2	2	2	2	9
	がんゲノム医療連携教育コース	多職種	0	1	2	2	2	7
福井大	がんゲノム医療連携教育コース	医師	0	12	22	22	22	78
	がんゲノム医療連携教育コース	薬剤師	0	24	24	24	24	96
金沢医大	がんゲノム医療連携教育コース	医師	1	2	2	2	2	9
石川看護大	がんゲノム医療連携教育コース	多職種	2	5	5	5	5	22
合計			8	56	67	67	67	265

北信がんプロの教育コース (受入目標と実績)

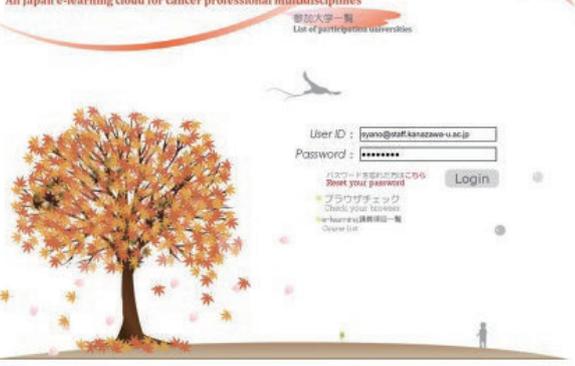
本科生コース(平成30年4月受入れ開始) (平成30年12月7日現在)

コース名	職種	受入目標人数				合計	受入実績				合計
		H29	H30	H31	H32		H29	H30	H31	H32	
金沢大 がんゲノム医療連携教育コース	医師	0	5	5	5	20	0	9	9	9	9
	薬剤師	0	1	2	2	7	0	1	1	1	1
	医学物理士	0	2	2	2	8	0	3	3	3	3
信州大 がんゲノム医療連携教育コース	医師	0	2	2	2	8	0	2	2	2	2
	多職種	0	1	1	1	4	0	1	1	1	1
富山大 がんゲノム医療連携教育コース	医師	0	4	4	4	16	0	6	6	6	6
	薬剤師	0	1	1	1	4	0	1	1	1	1
福井大 がんゲノム医療連携教育コース	医師	0	2	2	2	8	0	4	4	4	4
金沢医大 がんゲノム医療連携教育コース	医師	0	2	2	2	8	0	2	2	2	2
石川看護大 がんゲノム医療連携教育コース	看護師	0	2	2	2	8	0	1	1	1	1
合計		0	22	23	23	91	0	30	30	30	30

インテンシブコース 平成29年10月受入れ開始(一部30年4月受入れ開始)

コース名	職種	受入目標人数				合計	受入実績				合計
		H29	H30	H31	H32		H29	H30	H31	H32	
金沢大 がんゲノム医療連携教育コース	医師	2	6	6	6	26	2	12	14	14	14
	薬剤師	0	1	2	2	7	0	4	4	4	4
	多職種	0	10	10	10	40	0	20	20	20	20
富山大 がんゲノム医療連携教育コース	医師	2	2	2	2	10	2	0	0	0	2
	薬剤師	1	2	2	2	9	1	6	6	6	6
	多職種	0	1	2	2	7	0	0	0	0	0
福井大 がんゲノム医療連携教育コース	医師	0	12	22	22	78	0	0	0	0	0
	薬剤師	0	24	24	24	96	0	0	0	0	0
金沢医大 がんゲノム医療連携教育コース	医師	1	2	2	2	9	1	1	1	1	1
石川看護大 がんゲノム医療連携教育コース	多職種	2	5	5	5	22	2	10	13	13	13
合計		8	65	78	79	300	10	65	65	65	65

がんプロ全国e-learningクラウド



がんプロe-learningプラットフォーム
がんプロ全国 e-learning クラウド

HOME MyFeedback 受講画面

あなたは今何者としてログインしています。(ログイン) 3期 (金沢大学) / 臨床医学部

HOME MyFeedback 受講画面

「戻る」 教員 ホーム > 受講科目選択 > 科目マトリックス: 小児・AYA・希少がん特論

受講状況一覧

未受講 受講中 受講終了 「モニタリングなし」 講義の字幕表示: 国・英語 中国語 日本語 (contents caption: English Chinese Japanese)

養成コース選択
3期 先端的個別化医療コース (本科 医師)

固定科目
小児・AYA・希少がん特論

※未色背景の講義科目は預選科目にリンクしています

院	順天堂	女子医	東医大	医大	近畿	京都	GLOBAL	
校	北海道	東北	関東	東京	北陸	関西	中国・四国	九州
院	金沢大	富山大	福井大	金沢医科大	石川薬科大	徳島大	北医1	北医2
受講状況								
小児 1 小児・AYA世代の特論								
小児 2 小児・AYA世代のがん基礎総論								
小児 3 小児・AYA世代の腫瘍学1 (この時期 特論の基礎)								
小児 4 小児・AYA世代の腫瘍学2 (この時期 に応じる成人腫瘍)								
小児 5 希少がん小児・AYA世代の特論								
小児 6 腫瘍免疫と最新フォローアップの動向 (1)								
小児 7 腫瘍免疫と最新フォローアップの動向 (2)								
小児 8 小児・AYA世代のがん患者・家族に對する支援 (1)								
小児 9 小児・AYA世代のがん患者・家族に對する支援 (2)								

22

がんプロe-learningプラットフォーム
がんプロ全国 e-learning クラウド

HOME MyFeedback 受講画面

あなたは今何者としてログインしています。(ログイン) 3期 (金沢大学) / 臨床医学部

HOME MyFeedback 受講画面

「戻る」 教員 ホーム > 受講科目選択 > 科目マトリックス: 小児・AYA・希少がん特論

受講状況一覧

未受講 受講中 受講終了 「モニタリングなし」 講義の字幕表示: 国・英語 中国語 日本語 (contents caption: English Chinese Japanese)

養成コース選択
3期 先端的個別化医療コース (本科 医師)

固定科目
小児・AYA・希少がん特論

※未色背景の講義科目は預選科目にリンクしています

院	順天堂	女子医	東医大	医大	近畿	京都	GLOBAL	
校	北海道	東北	関東	東京	北陸	関西	中国・四国	九州
院	金沢大	富山大	福井大	金沢医科大	石川薬科大	徳島大	北医1	北医2
受講状況								
小児 1 小児・AYA世代の特論								
小児 2 小児・AYA世代のがん基礎総論								
小児 3 小児・AYA世代の腫瘍学1 (この時期 特論の基礎)								
小児 4 小児・AYA世代の腫瘍学2 (この時期 に応じる成人腫瘍)								
小児 5 希少がん小児・AYA世代の特論								
小児 6 腫瘍免疫と最新フォローアップの動向 (1)								
小児 7 腫瘍免疫と最新フォローアップの動向 (2)								
小児 8 小児・AYA世代のがん患者・家族に對する支援 (1)								
小児 9 小児・AYA世代のがん患者・家族に對する支援 (2)								

21

がんプロe-learningプラットフォーム
がんプロ全国 e-learning クラウド

HOME MyFeedback 受講画面

あなたは今何者としてログインしています。(ログイン) 3期 (金沢大学) / 臨床医学部

HOME MyFeedback 受講画面

「戻る」 教員 ホーム > 受講科目選択 > 科目マトリックス: 小児・AYA・希少がん特論

受講状況一覧

未受講 受講中 受講終了 「モニタリングなし」 講義の字幕表示: 国・英語 中国語 日本語 (contents caption: English Chinese Japanese)

養成コース選択
3期 先端的個別化医療コース (本科 医師)

固定科目
小児・AYA・希少がん特論

※未色背景の講義科目は預選科目にリンクしています

院	順天堂	女子医	東医大	医大	近畿	京都	GLOBAL	
校	北海道	東北	関東	東京	北陸	関西	中国・四国	九州
院	金沢大	富山大	福井大	金沢医科大	石川薬科大	徳島大	北医1	北医2
受講状況								
小児 1 ライフステージに応じたがん予防医学								
小児 2 ライフステージにおける癌予防がん患者								
小児 3 ライフステージにおける癌予防がん患者 第一編: 癌発生の機序と予防								
小児 4 ライフステージにおける癌予防がん患者 第二編: 癌の予防								
小児 5 ライフステージに応じた癌予防の支援								
小児 6 ライフステージにおける癌予防がん患者								
小児 7 社会とがん患者								
小児 8 ライフステージに応じたがん患者の癌予防								

22

がんプロe-learningプラットフォーム
がんプロ全国 e-learning クラウド

HOME MyFeedback 受講画面

あなたは今何者としてログインしています。(ログイン) 3期 (金沢大学) / 臨床医学部

HOME MyFeedback 受講画面

「戻る」 教員 ホーム > 受講科目選択 > 科目マトリックス: 小児・AYA・希少がん特論

受講状況一覧

未受講 受講中 受講終了 「モニタリングなし」 講義の字幕表示: 国・英語 中国語 日本語 (contents caption: English Chinese Japanese)

養成コース選択
3期 先端的個別化医療コース (本科 医師)

固定科目
小児・AYA・希少がん特論

※未色背景の講義科目は預選科目にリンクしています

院	順天堂	女子医	東医大	医大	近畿	京都	GLOBAL	
校	北海道	東北	関東	東京	北陸	関西	中国・四国	九州
院	金沢大	富山大	福井大	金沢医科大	石川薬科大	徳島大	北医1	北医2
受講状況								
小児 1 ライフステージに応じたがん予防医学								
小児 2 ライフステージにおける癌予防がん患者								
小児 3 ライフステージにおける癌予防がん患者 第一編: 癌発生の機序と予防								
小児 4 ライフステージにおける癌予防がん患者 第二編: 癌の予防								
小児 5 ライフステージに応じた癌予防の支援								
小児 6 ライフステージにおける癌予防がん患者								
小児 7 社会とがん患者								
小児 8 ライフステージに応じたがん患者の癌予防								

21

がんプロe-learningプラットフォーム
がんプロ全国 e-learning クラウド

HOME MyFeedback 受講画面

あなたは今何者としてログインしています。(ログイン) 3期 (金沢大学) / 臨床医学部

HOME MyFeedback 受講画面

「戻る」 教員 ホーム > 受講科目選択 > 科目マトリックス: 小児・AYA・希少がん特論

受講状況一覧

未受講 受講中 受講終了 「モニタリングなし」 講義の字幕表示: 国・英語 中国語 日本語 (contents caption: English Chinese Japanese)

養成コース選択
3期 先端的個別化医療コース (本科 医師)

固定科目
がんプロ医学特論

※未色背景の講義科目は預選科目にリンクしています

院	順天堂	女子医	東医大	医大	近畿	京都	GLOBAL	
校	北海道	東北	関東	東京	北陸	関西	中国・四国	九州
院	金沢大	富山大	福井大	金沢医科大	石川薬科大	徳島大	北医1	北医2
受講状況								
がんプロ医学の基礎とがんプロ								
がんプロ医学の基礎								
がんプロ医学の発展: 1 基礎的変化								
がんプロ医学の発展: 2 基礎的変化								
がんプロ医学の発展: 3 家族性腫瘍、遺伝性腫瘍 (腫瘍的変異がん)								
がんプロ医学の発展: 4 腫瘍的変異がん								
がんプロ医学の発展: 5 腫瘍的変異がん								
がんプロ医学の発展: 6 腫瘍的変異がん								

24

がんプロe-learningプラットフォーム
がんプロ全国 e-learning クラウド

HOME MyFeedback 受講画面

あなたは今何者としてログインしています。(ログイン) 3期 (金沢大学) / 臨床医学部

HOME MyFeedback 受講画面

「戻る」 教員 ホーム > 受講科目選択 > 科目マトリックス: がんプロ医学特論

受講状況一覧

未受講 受講中 受講終了 「モニタリングなし」 講義の字幕表示: 国・英語 中国語 日本語 (contents caption: English Chinese Japanese)

養成コース選択
3期 先端的個別化医療コース (本科 医師)

固定科目
がんプロ医学特論

※未色背景の講義科目は預選科目にリンクしています

院	順天堂	女子医	東医大	医大	近畿	京都	GLOBAL	
校	北海道	東北	関東	東京	北陸	関西	中国・四国	九州
院	金沢大	富山大	福井大	金沢医科大	石川薬科大	徳島大	北医1	北医2
受講状況								
がんプロ医学の基礎とがんプロ								
がんプロ医学の基礎								
がんプロ医学の発展: 1 基礎的変化								
がんプロ医学の発展: 2 基礎的変化								
がんプロ医学の発展: 3 家族性腫瘍、遺伝性腫瘍 (腫瘍的変異がん)								
がんプロ医学の発展: 4 腫瘍的変異がん								
がんプロ医学の発展: 5 腫瘍的変異がん								
がんプロ医学の発展: 6 腫瘍的変異がん								

25

3Dモデル、アンケート、質問

現在行われているがんゲノム医療（治療）

- 認可された治療薬がある場合
 - 1. 特定の遺伝子異常を測定
 - 2. その結果に基づいた治療（保険診療）
 - 3. 腫瘍組織・細胞を採取して測定
 - 4. 血液・尿尿を採取して測定
- 認可された治療薬がない場合
 - 1. 創薬的遺伝子解析
 - 2. 有効性が期待できる薬剤を選択
 - 3. 治療（保険診療外）
 - 4. 次世代シーケンズによる全ゲノム/全エクソムの遺伝子異常の解析

再生中 1:29 / 5:14

がんプロフェッショナル病院フアン
がんプロ全国 e-learning クラウド

HOME My Feedback 勉強会

HOME | 新着ホーム | 講師の経歴 | 科目のリンク | がんゲノム学習

勉強会の言語表示: 日本語 | 中国語 | 日本語 | English | Chinese | Japanese

最新コース検索
検索: がんゲノム医療 (全科) 医師

所属	講義科目	金沢大	富山大	福井大	北信大	信州大	徳大	京大	GLOBAL
がんゲノム医療の基礎	がんゲノム医療の基礎								
がんゲノム医療の応用	がんゲノム医療の応用								
がんゲノム医療の発展	がんゲノム医療の発展								
がんゲノム医療の未来	がんゲノム医療の未来								
がんゲノム医療の倫理・法律・社会的課題	がんゲノム医療の倫理・法律・社会的課題								
がんゲノム医療の臨床応用	がんゲノム医療の臨床応用								
がんゲノム医療の最新動向	がんゲノム医療の最新動向								

担当: 光野 聖二
所属: 北信大
登録日: 2019/07/25
視聴: 5071回
5つ星評価: 5.0

北信オンコロジーセミナー（多職種連携演習）

- ・目的：最先端のゲノム医療、小児・AYA世代・高齢者がん、希少がん症例の研究、診断、治療、緩和ケア、就労支援等を効率的に学習する演習がんの病態、診断、治療に主眼をおいたセミナー
- ・対象：北信がんプロ受講生および北信地域の医療機関の多職種
- ・開催方法：がんプロTV会議システム
- ・開催頻度：3か月に1回（5年間で18回）

第一回	29.12.8 (金)	(金沢大主催)	90名
第二回	29.3.26 (火)	(富山大主催)	92名
第三回	30.6.29 (金)	(金沢医科大主催)	107名
第四回	30.9.21 (金)	(福井大主催)	55名
第五回	30.11.22 (木)	(信州大主催)	55名
参加者合計			399名

がん診療連携拠点病院等との診療連携ネットワーク

大学 7拠点*1
がん診療連携拠点病院等 26拠点
(平成30年8月現在) *1山梨大学含む

ライフステージ事例検討会（多職種連携演習）

石川県立看護大が中心

参加対象：医師、看護師、薬剤師、理学・作業療法士、ソーシャルワーカーなど

（開催予定）

29年度	8回
30年度	8回
31年度	12回
32年度	6回
33年度	6回
計	40回

(H29年度 参加人数)	(H30年度 参加人数)
第1回 65名	第1回 97名
第2回 96名	第2回 85名
第3回 56名	第3回 89名
第4回 92名	第4回 102名
第5回 66名	第5回 118名
第6回 64名	第6回 名
第7回 中止	第7回 名
第8回 113名	第8回 名
計 552名	計 491名

発表内容

1. 北信がんプロの事業概要
2. 北信がんプロの予算
3. H29年度外部評価委員会の結果
4. 北信がんプロ事業計画と進捗
 - (1) 教育コース受入れ状況と講義について
 - (2) 地域がんデータベース
 - (3) スタッフ研修
 - (4) 市民公開講座、啓発活動
5. 今後の予定

地域がんデータベース

目的：北信地域のがん患者さん、がん医療の特徴を明らかにする
↓
将来のがん対策立案に活用する

28のがん拠点病院/北信4県

院内がん登録データ 35,000人/年

がん種別罹患数、年齢分布、発見ステージ、初回治療の種類

解析対象薬

- 高齢者がん(80歳、85歳、90歳)
- 小児・AYAがん
- 希少がん(肉腫・原発不明)
- 障がい者がん
- 甲状腺がん分子標的薬使用症例
- 免疫チェックポイント阻害薬使用症例(メラノーマ、肺がん、腎がん、頭頸部がん、胃がんなど)

北信地域でのがん対策立案に活用

小児・AYA世代のがん症例 (2015年金沢大学附属病院)

部位	性別	小児 (25例)					AYA (161例)					合計
		0~5歳	6~10歳	11~15歳	16~20歳	21~25歳	26~30歳	31~35歳	36~40歳			
全部位	男	3	4	3	8	2	8	8	19	55		
	女	4	5	6	6	11	13	37	49	131		
	計	7	9	9	14	13	21	45	68	186		

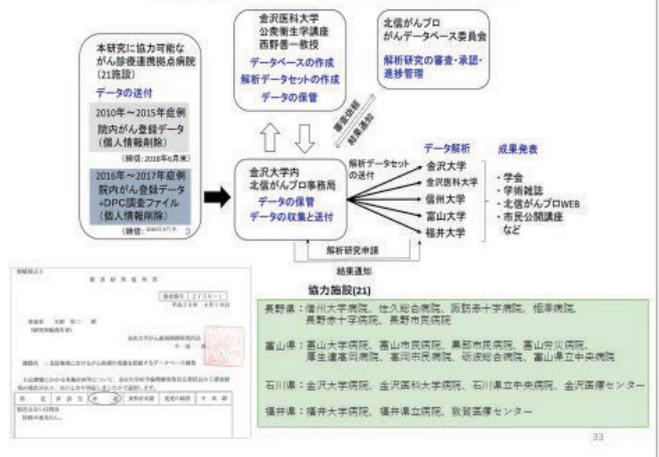
1. 子宮頸がん (23.1%)
2. 脳・髄膜腫瘍 (15.1%)
3. 白血病 (11.8%)
4. 甲状腺がん (10.2%)

- 読み取れること
- ・ 全年齢のうち8%!
 - ・ 年代順にがんが多い!
 - ・ AYA世代には**子宮頸がん**が多い!
 - ・ おそらく妊娠時の検診で発見!

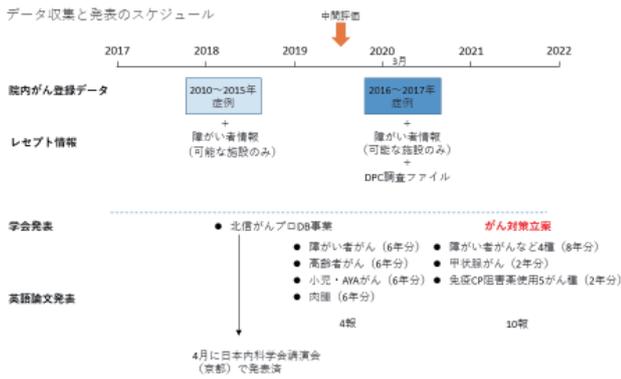
↓
行政が考えるべき対策

妊娠時の**検診**は必ず・精度高く! **精度管理**に注力!

地域がんデータベースの計画と進捗



地域がんデータベースの年次計画



発表内容

1. 北信がんプロの事業概要
2. 北信がんプロの予算
3. H29年度外部評価委員会の結果
4. 北信がんプロ事業計画と進捗
 - (1)教育コース受入れ状況と講義について
 - (2)地域がんデータベース
 - (3)スタッフ研修
 - (4)市民公開講座、啓発活動
5. 今後の予定

海外FD研修会(ワシントンDC)

メインテーマ **がんゲノム医療**
 日程 H30年2月12日~17日
 訪問先 国立ヒトゲノム研究所 (National Human Genome Research Institute (NHGRI))
 国立がん研究所 (National Cancer Institute)



次号/所属	役職
1 金沢大学	特任助教
2 金沢大学	主任
3 金沢大学	薬剤師
4 金沢大学	助教
5 金沢大学	准教授
6 金沢大学	助教
7 金沢大学	准教授
8 徳山大学	准教授
9 富山大学	講師
10 福井大学	助教
11 福井大学	准教授
12 金沢医科大学	教授



海外FD研修会(メルボルン)

メインテーマ **ライフステージに応じた先進的緩和ケア**
 日程 H30年3月24日~30日
 訪問先 モナッシュ大学
 ビクトリア州保健福祉局
 ロイヤル・メルボルン病院
 モナッシュ・ヘルス
 エッフォース・ヘルスケア
 パンキシア・パリアティブケアサービス



石川 権太
牧野 智恵

次号/所属	役職
1 石川権太	教授
2 石川権太	助教
3 石川権太	教授
4 石川権太	講師
5 石川権太	講師
6 石川権太	特任助手
7 金沢大	緩和ケア認定看護師
8 信州大	薬剤師
9 信州大	緩和ケア部門 教授
10 富山大	緩和ケア認定看護師
11 富山大	助教
12 福井大	緩和ケア認定看護師
13 福井大	副看護部長
14 金沢医科大学	講師



参加者は成果報告として、H30年度に北信がんプロのスタッフ対象にFD講習会を担当

合同市民公開講座

(参加人数:157名)
目的：市民への啓蒙
がん教育

検診受診
↓
早期発見
↓
早期治療
↓
早期社会復帰

の流れを作る

- ・年1回ずつ
- ・場所は毎年持ちまわり
- ・毎回全大学関係者が1名は出席
- ・順番は石川→福井→長野→富山

平成30年度 福井大学 第2回 合同市民公開講座

がん診療最前線

最新 最新 最新 最新 最新 最新 最新 最新 最新 最新

12月16日(日) 15:30-17:30

福井県民ホール(アオッサ8階) 定員 300名

参加費無料

講演者: 福井大学 がんセンター がん診療部長 野村 隆典 先生
福井大学 がんセンター がん診療部長 山崎 高樹 先生
福井大学 がんセンター がん診療部長 山崎 高樹 先生
福井大学 がんセンター がん診療部長 山崎 高樹 先生

国内の学会と合同の市民公開講座

日本医学会総会2019

日本癌治療学会

日本頭頸部外科学会との合同市民公開講座を2019年6月15日(土)に開催予定(金沢市アートホール)

多様な新ニーズに対応する がん専門医療人材の養成を目指す

okushin がんプロ 北信がんプロ

わが国がん患者1位である、がん。生涯がんプロでは、文部科学省から「がん医療人材養成拠点」に認定された北信産地地域の6大学が、それぞれの特色を生かした教育プログラムを構築し、がん治療の多様な新ニーズに対応できる「がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)」を養成しています。

クラウド型e-learning講義
どこでも学べる Learningシステム

教育・実践生の人材交流
プログラム連携した実践シミュ

北信がんデータベースの構築
北信産地地域の6大学に連携

教育・実践生・がん教育
専攻等との連携、互いの強みの活用

FD海外研修などのスタッフ研修
海外研修生支援、最新技術の活用

IT連携システムによる演習
TV会議システムでの多人数演習

インテンシブコース受講者募集中

がんプロアロー 北信産地間連携による「がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)」養成プログラム

お問い合わせ: 福井大学 がんセンター がん診療部長 野村 隆典 先生

平成 30 年度 運営協議会

【日 時】平成 30 年 11 月 14 日 (水) 18:00～

【場 所】各施設テレビ会議室

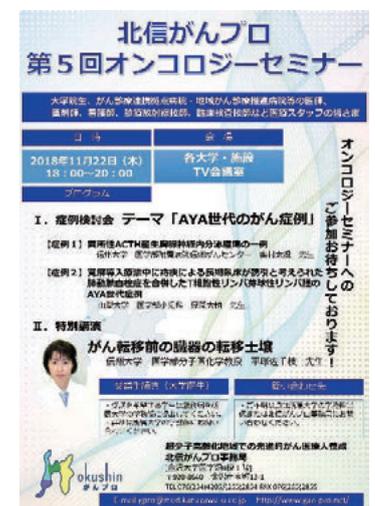
【参加者】

氏 名	所属	部署/役職	備考
蒲田 敏文	金沢大学	附属病院長	
大竹 茂樹		基幹教育改革・財務・附属病院担当理事	
堀 修		医薬保健学総合研究科長	
矢野 聖二		がんセンター長・腫瘍内科教授 統括コーディネーター	
松下 良		臨床薬物情報学教授	
溝上 敦		泌尿器集学的治療学教授	
大島 正伸		腫瘍遺伝学教授	
萱原 正都	国立病院機構金沢医療センター	統括診療部長	
元雄 良治	金沢医科大学	腫瘍内科学教授 集学的がん治療センター長	
又野 豊	小松市民病院	消化器内科担当部長	
横川 明男	石川県済生会金沢病院	病院長	
龍澤 泰彦		副病院長	
上田 博	石川県医師会	副会長	
相川 広一	石川県健康福祉部	健康福祉部健康推進課長	
石垣 和子	石川県立看護大学	学長	
牧野 智恵		教授	
高見 俊也	北國新聞社	論説委員長	
和田 真由美	「萌の会」	代表	
中野 達夫	浅ノ川総合病院	外科部長	
卜部 健	白山石川医療企業団	副企業長	
谷 卓	公立松任石川中央病院	病院長	
上木 修	公立能登総合病院	病院長	
牛島 聡		副病院長	
山崎 雅英	恵寿総合病院	診療部長	
三浦 基嗣		医事課長	
渡辺 美智夫	芳珠記念病院	副病院長	
小泉 知展	信州大学	包括的がん治療学教室教授	代理出席： 伊藤 研一 外科学第二
片山 寛次	福井大学	がん診療推進センター長	
磯見 智恵		看護学科成人・老年看護学教授	
宮下 裕文	福井県健康福祉部	健康増進課長	代理出席 室田美幸
林 龍二	富山大学	臨床腫瘍部教授	
北村 寛		医学薬学研究部(医学) 腎泌尿器科学教授	

藪下 和久		副病院長	
菓子井 達彦	高岡市民病院	呼吸器内科主任部長	委員の変更 遠山一喜 → 菓子井 達彦
又野 禎也	市立砺波総合病院	血液内科部長	
佐々木 正寿	富山赤十字病院	副病院長	
梶川 昌二	諏訪赤十字病院	病院長	委員の変更 大和 眞史 → 梶川 昌二
田内 克典	相澤病院	病院長	
吉岡 二郎		病院長	
松田 至晃	長野赤十字病院	副病院長	
袖山 治嗣		外科部長兼がん治療センター長	
野口 和子		がん診療連携課長	
西村 秀紀	長野市民病院	副病院長・がんセンター長	

オンコロジーセミナー

No.	内 容
第3回	<p>北信がんプロ 第3回オンコロジーセミナー</p> <p>日 時：平成30年6月29日(金) 18:00~20:00 場 所：各大学、各施設テレビ会議室</p> <p>症例検討1：「トラスツズマブ・カペシタビンの併用療법이奏効し長期生存が得られた胃癌の2例」 発 表 者：木南 伸一(金沢医科大学 一般・消化器外科学 准教授)</p> <p>症例検討2：「腓原発腺扁平上皮癌の5例」 発 表 者：小練 研司 (福井大学 消化器・乳腺内分泌外科学(第1外科) 助教)</p> <p>特別講演：「がんゲノム医療の実際と課題」 講 師：豊岡 伸一(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 呼吸器・乳腺内分泌外科学 教授)</p> <p>参 加 者：107名</p>
第4回	<p>北信がんプロ 第4回オンコロジーセミナー</p> <p>日 時：平成30年9月21日(金) 18:00~20:00 場 所：各大学、各施設テレビ会議室</p> <p>症例検討1：「急激発症の若年大腸がん患者に対するクリニカルシーケンスと遺伝カウンセリングの経験」 発 表 者：北沢 将人(信州大学 消化器外科 講師) 黄瀬 恵美子(遺伝子医療研究センター 認定遺伝カウンセラー)</p> <p>症例検討2：「HBOC症候群の遺伝カウンセリングの現状と未発症保因者診断を行った1家系」 発 表 者：前田 浩幸 (福井大学 消化器・乳腺内分泌外科学(第1外科) 准教授)</p> <p>特別講演：「治療開発を目指したがんゲノム医療体制の構築」 講 師：土原 一哉(国立がん研究センター先端医療開発センター トランスレーショナルインフォマティクス分野 分野長)</p> <p>参 加 者：55名</p>
第5回	<p>北信がんプロ 第5回オンコロジーセミナー</p> <p>日 時：平成30年11月22日(木) 18:00~20:00 場 所：各大学、各施設テレビ会議室</p> <p>症例検討1：「異所性ACTH産生胸腺神経内分泌腫瘍の一例」 発 表 者：奥村 太規(信州大学医学部附属病院 信州がんセンター)</p> <p>症例検討2：「寛解導入療法中に痔疾による長期臥床が誘引と考えられた肺動脈血栓症を合併したT細胞性リンパ芽球性リンパ腫のAYA世代症例」 発 表 者：原間 大輔(山梨大学 医学部小児科)</p> <p>特別講演：「がん転移前の臓器の転移土壌」 講 師：平塚 佐千枝(信州大学 医学部分子医化学教室 教授)</p> <p>参 加 者：58名</p>



No.	内 容
-----	-----

第6回

九州がんプロ 合同シンポジウム

北信がんプロ 第6回オンコロジーセミナー

日 時：平成31年2月7日(金) 18:00~20:00

場 所：各大学、各施設テレビ会議室

症例検討1：「Ipilimumab/Nivolumab 併用療法により間質性肺疾患を
発症したが奏功が得られている進行腎細胞癌の1例」

発 表 者：八重樫 洋 (金沢大学泌尿器集学的治療学 助教)

症例検討2：「免疫チェックポイント治療中に生じた甲状腺機能
低下症、副腎機能低下症の一例」

発 表 者：神原 健太 (富山大学医学部 第一内科)

症例検討3：「化学療法高度感受性 Epstein-Barr virus 関連進行胃癌に
おける DNA メチル化の統合的データベース解析」

発 表 者：大村 洋文 (九州大学大学院医学研究院 病態修復内科学)

特 別 講 演：「胃癌化学療法の現況」

講 師：馬場 英司

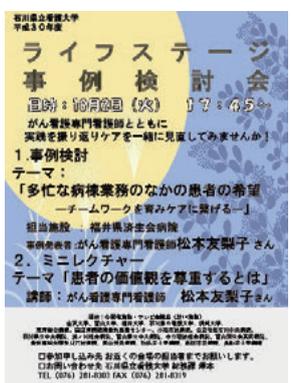
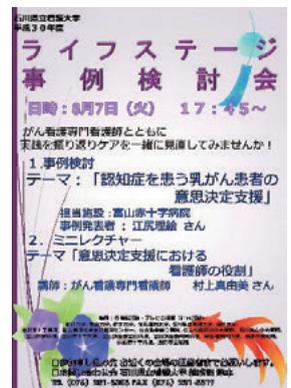
(九州大学大学院医学研究院 九州連携臨床腫瘍学講座 教授)

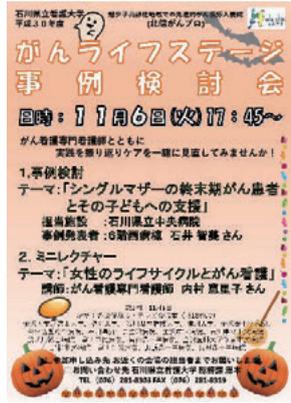
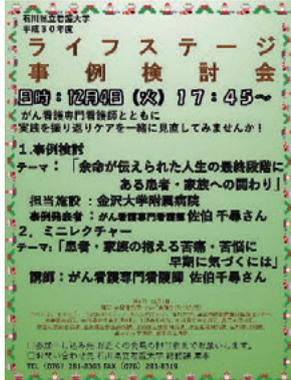
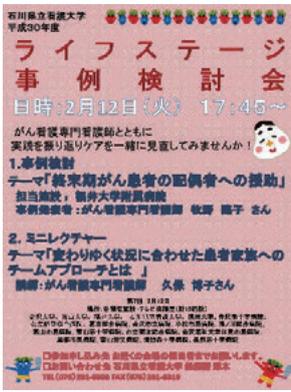
参 加 者：85名



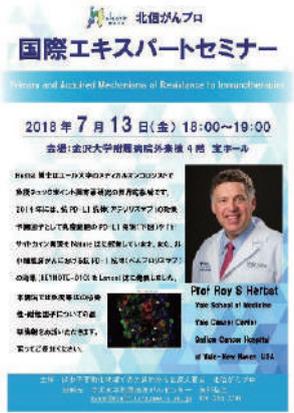
ライフステージ事例検討会

No.	内 容
第1回	<p>北信がんプロ 第1回がんライフステージ事例検討会</p> <p>日 時：平成30年6月5（火）17：45～19：15</p> <p>場 所：各大学、各施設テレビ会議室</p> <p>事例検討：「多くを語らない壮年期終末期がん患者と家族への意思決定支援」</p> <p>事例発表者：岡崎 岬（富山県立中央病院）</p> <p>ミニレクチャー：「ケアを振り返り明日の看護にいかすデスカンファレンス」</p> <p>講 師：時山 麻美（富山県立中央病院 がん看護専門看護師）</p> <p>参 加 者：97名</p>
第2回	<p>北信がんプロ 第2回がんライフステージ事例検討会</p> <p>日 時：平成30年7月3（火）17：45～19：15</p> <p>場 所：各大学、各施設テレビ会議室</p> <p>事例検討：「レスキュー薬を頻回に使用する患者の対応に看護師が戸惑った症例」</p> <p>事例発表者：牧野 路子（福井大学医学部附属病院 がん看護専門看護師）</p> <p>ミニレクチャー：「ケミカルコーピングにおける看護師の役割」</p> <p>講 師：高野 智早（福井大学医学部附属病院 がん看護専門看護師）</p> <p>参 加 者：85名</p>
第3回	<p>北信がんプロ 第3回がんライフステージ事例検討会</p> <p>日 時：平成30年8月7（火）17：45～19：15</p> <p>場 所：各大学、各施設テレビ会議室</p> <p>事例検討：「認知症を患う乳がん患者の意思決定支援」</p> <p>事例発表者：江尻 理絵（富山赤十字病院）</p> <p>ミニレクチャー：「意思決定支援における看護師の役割」</p> <p>講 師：村上 真由美（富山赤十字病院 がん看護専門看護師）</p> <p>参 加 者：89名</p>
第4回	<p>北信がんプロ 第4回がんライフステージ事例検討会</p> <p>日 時：平成30年10月2（金）17：45～19：15</p> <p>場 所：各大学、各施設テレビ会議室</p> <p>事例検討：「多忙な病棟業務のなかの患者の希望 ーチームワークを育みケアに繋げるー」</p> <p>事例発表者：松本 友梨子（福井県済生会病院 がん看護専門看護師）</p> <p>ミニレクチャー：「患者の価値観を尊重するとは」</p> <p>講 師：松本 友梨子（福井県済生会病院 がん看護専門看護師）</p> <p>参 加 者：102名</p>



No.	内 容
<p>第5回</p>	<p>北信がんプロ 第5回がんライフステージ事例検討会</p> <p>日 時：平成30年11月6（火）17：45～19：15</p> <p>場 所：各大学、各施設テレビ会議室</p> <p>事例検討：「シングルマザーの終末期がん患者とその子どもへの支援」</p> <p>事例発表者：石井 智美（石川県立中央病院 6階西病棟）</p> <p>ミニレクチャー：「女性のライフサイクルとがん看護」</p> <p>講 師：内村 恵里子（石川県立中央病院 がん看護専門看護師）</p> <p>参 加 者：118名</p> 
<p>第6回</p>	<p>北信がんプロ 第6回がんライフステージ事例検討会</p> <p>日 時：平成30年12月4（火）17：45～19：15</p> <p>場 所：各大学、各施設テレビ会議室</p> <p>事例検討：「余命が伝えられた人生の最終段階にある患者・家族への関わり」</p> <p>事例発表者：佐伯 千尋（金沢大学附属病院 がん看護専門看護師）</p> <p>ミニレクチャー：「患者・家族の抱える苦痛・苦悩に早期に気づくには」</p> <p>講 師：佐伯 千尋（金沢大学附属病院 がん看護専門看護師）</p> <p>参 加 者：93名</p> 
<p>第7回</p>	<p>北信がんプロ 第7回がんライフステージ事例検討会</p> <p>日 時：平成31年2月12（火）17：45～19：15</p> <p>場 所：各大学、各施設テレビ会議室</p> <p>事例検討：「終末期がん患者の配偶者への援助」</p> <p>事例発表者：牧野 路子（福井大学医学部附属病院 がん看護専門看護師）</p> <p>ミニレクチャー：「変わりゆく状況に合わせた患者家族へのチームアプローチとは」</p> <p>講 師：久保 博子（福井大学医学部附属病院 がん看護専門看護師）</p> <p>参 加 者：71名</p> 
<p>第8回</p>	<p>北信がんプロ 第8回がんライフステージ事例検討会</p> <p>日 時：平成30年3月5（金）17：45～19：15</p> <p>場 所：各大学、各施設テレビ会議室</p> <p>事例検討：「患者本人への予告告知を希望されなかった本人・家族への関わりを振り返る ～残された時間をその人らしく過ごすためには～」</p> <p>事例発表者：水上 かよ子（市立砺波総合病院 看護師）</p> <p>前田 真裕美（市立砺波総合病院 がん性疼痛看護認定看護師）</p> <p>ミニレクチャー：「がん看護と語り」</p> <p>講 師：平 優子（市立砺波総合病院がん看護専門看護師）</p> <p>参 加 者：77名</p> 

セミナー・事例検討会

		内容
金沢大学	<p>第1回国際エキスパートセミナー</p> <p>日時：平成30年7月13日(金) 18:00~19:00</p> <p>場所：金沢大学附属病院 外来診療棟4階 宝ホール</p> <p>演題：「Primary and Acquired Mechanisms of Resistance to Immunotherapies」</p> <p>講師：Prof Roy S Herbst (Yale School of Medicine Yale Cancer Center Smilow Cancer Hospital at Yale-New Haven USA)</p> <p>主催：北信がんプロ</p> <p>参加者：30名</p>	 
金沢大学	<p>第2回国際エキスパートセミナー</p> <p>日時：平成30年11月27日(水) 17:00~</p> <p>場所：金沢大学附属病院 外来診療棟4階 CPDセンター、各大学・各施設テレビ会議室</p> <p>演題：「PD-L1 immunohistochemistry is the best predictive biomarker for PD-1/PD-L1 blockade?- an experience with NSCLC」</p> <p>講師：Dr Mari Mino-Kenudson (ハーバード大学 医学部病理学 教授)</p> <p>主催：北信がんプロ</p> <p>参加者：40名</p>	 

		内容
金沢大学	<p>国際シンポジウム</p> <p>International Symposium on Tumor Biology in Kanazawa Joint Symposium</p> <p>平成30年度 金沢大学がん進展制御研究所・韓国ソウル大学がん微小環境研究所 合同シンポジウム</p> <p>日時：平成30年5月28日(月) 9:00~17:00</p> <p>場所：金沢大学医学部記念館</p> <p>主催：がん進展制御研究所、金沢国際がん生物学研究会</p> <p>共催：北信がんプロ、NanoLSI、新学術創成研究機構</p> <p>参加者：155名</p>	
金沢大学	<p>国際シンポジウム</p> <p>International Meeting on Tumor Biology in Kanazawa 2018</p> <p>平成30年度 金沢国際がん生物学シンポジウム</p> <p>日時：平成30年11月26日(月) 10:00~17:00</p> <p>場所：金沢大学医学部記念館</p> <p>主催：がん進展制御研究所、金沢国際がん生物学研究会</p> <p>共催：北信がんプロ、超然プロジェクト、NanoLSI、新学術創成研究機構</p> <p>参加者：150名</p>	

内 容

金
沢
大
学

石川県がん診療連携拠点病院研修会

日 時：平成 30 年 6 月 28 (木) 18：00～20：00

場 所：金沢大学附属病院 外来診療棟 4 階 宝ホール

演 題：「がんゲノム医療の実践と今後の展望」

講 師：西原 広史 (慶應義塾大学医学部 腫瘍センターゲノム医療ユニット 特任教授)

演 題：「胃癌化学療法の最近の話題」

講 師：石岡 千加史 (東北大学加齢医学研究所 臨床腫瘍学分野 教授)

主 催：金沢大学附属病院

共 催：北信がんプロ、株式会社ヤクルト

後 援：石川県病院薬剤師会

参加者：67 名



金
沢
大
学

石川県がん診療連携拠点病院研修会

日 時：平成 30 年 11 月 8 (木) 18：00～20：00

場 所：金沢大学附属病院 外来診療棟 4 階 宝ホール

演 題：「当科における電子パス導入推進の取り組み
～電子パス導入によって達成された診療の効率化～」

講 師：野原 隆弘 (金沢大学附属病院 泌尿器科 助教)

演 題：「BOM を活用したアウトカム志向のクリニカルパス」

講 師：小妻 幸男

(済生会熊本病院 医療情報部 医療情報分析室 兼 AMED パス事業推進室室長)

演 題：「～免疫療法・個別化治療でこんなに進んだ！～進行非小細胞肺癌治療の現在地」

講 師：里内 美弥子 (兵庫県立がんセンター化学療法担当部長 兼 呼吸器内科部長
ゲノム医療・臨床試験センター次長)

主 催：金沢大学附属病院

共 催：北信がんプロ、アストロゼネカ株式会社

後 援：石川県病院薬剤師会

参加者：97 名



金
沢
大
学

北信がんプロセミナー

日 時：平成 30 年 10 月 28 (日) 13：30～17：15

場 所：金沢大学医薬保健学域保健学類 1 号館 2 階 1220 講義室

演 題：「IGRT の進化と MR-Linac」

講 師：岩井良夫先生

(エレクタ株式会社 ResearchPhysicsManager)

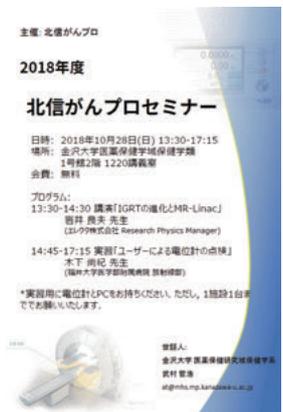
実 習：「ユーザーによる電位計の点検」

講 師：木下尚紀先生

(福井大学医学部附属病院放射線部)

主 催：北信がんプロ

参加者：31 名



内 容

信州大学

都道府県がん診療連携拠点病院 医療者研修会

抗がん剤曝露対策

日 時：平成 31 年 2 月 10 (日) 13:00~15:30

場 所：信州大学医学部附属病院 外来棟 4 階 大会議室

演 題：「当院における抗がん剤汚染の実態調査」

講 師：井出 貴之 (信州大学医学部附属病院 薬剤部)

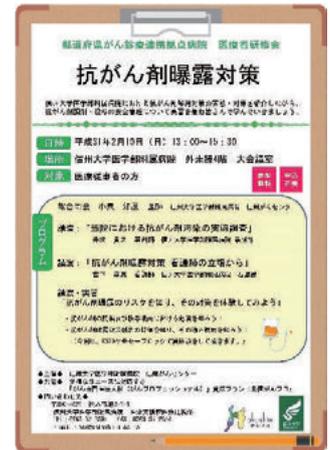
演 題：「抗がん剤曝露対策 看護師の立場から」

講 師：宮下 幸恵 (信州大学医学部附属病院 看護部)

講演・実習：「抗がん剤曝露のリスクを知り、その対策を体験してみよう」

主 催：信州大学医学部附属病院 信州がんセンター

共 催：北信がんプロ 参加者：40 名



富山大学

第1回がんゲノム医療研修会

日 時：平成 30 年 5 月 18 (金) 18:00~

場 所：富山大学附属病院 2 階 臨床講義室 2

演 題：「ゲノムバイオマーカーに
基づくがん最適化医療」

講 師：土原 一哉

(国立がん研究センター先端医療開発センター
トランスレーショナルインフォマティクス分野 分野長)

主 催：北信がんプロ、富山大学附属病院集学的がん診療センター

後 援：富山県がん診療連携協議会 参加者：70 名



富山大学

第2回がんゲノム医療研修会

日 時：平成 30 年 6 月 9 (水) 18:00~

場 所：富山大学附属病院 総合臨床教育センター2 階 多目的研修室

演 題：「がんゲノム医療の臨床実装について」

講 師：武藤 学 (京都大学大学院医学研究科
腫瘍薬物治療学講座 教授)

主 催：北信がんプロ、富山大学附属病院
集学的がん診療センター

後 援：富山県がん診療連携協議会

参加者：72 名



富山大学

第3回がんゲノム医療研修会

日 時：平成 30 年 9 月 14 (金) 18:00~

場 所：富山大学附属病院 3 階 大会議室

演 題：「がんゲノム医療
リキッドバイオプシーとは」

講 師：池田 貞勝

(東京医科歯科大学 医学部附属病院 中央診療施設等 腫瘍センター 特任講師)

主 催：北信がんプロ、富山大学附属病院集学的がん診療センター

後 援：富山県がん診療連携協議会

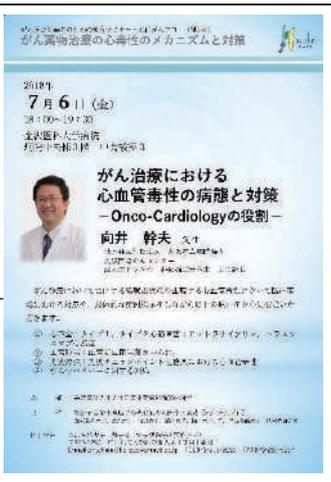
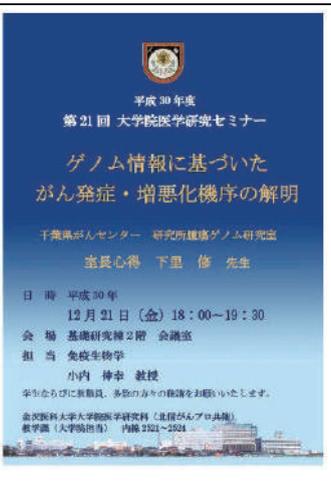
参加者：31 名



		内 容	
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">富山大学</p>	<p>第4回がんゲノム医療研修会</p> <p>日 時：平成30年11月22日(木) 18:00～</p> <p>場 所：富山大学附属病院 多目的研修室</p> <p>演 題：「ゲノム医療時代のがん診療」</p> <p>講 師：櫻井 晃洋 (札幌医科大学医学部 遺伝医学 教授)</p> <p>主 催：北信がんプロ、 富山大学附属病院集学的がん診療センター</p> <p>後 援：富山県がん診療連携協議会</p> <p>参加者：32名</p>		
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">富山大学</p>	<p>がん免疫療法講演会</p> <p>日 時：平成30年9月10日(月) 16:00～</p> <p>場 所：富山大学附属病院 臨床講義室2</p> <p>演 題：「Adoptive Cell Therapy with Gene-engineered T-cells — Specificity, Construct, and Cells —」</p> <p>講 師：珠玖 洋 (三重大学大学院 医学系研究科 遺伝子免疫細胞治療学/ 個別化がん免疫治療学 教授)</p> <p>主 催：北信がんプロ、富山大学附属病院 集学的がん診療センター</p> <p>参加者：55名</p>		
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">富山大学</p>	<p>高齢化した地域医療を個別化医療で支えることができる専門的薬剤師養成コース (大学院生本科・インテンシブ) 演習</p> <p>日 時：平成30年12月8日(土) 13:00～17:00</p> <p>場 所：富山大学杉谷キャンパス・薬学研修室棟II 5階 セミナー室5、薬物治療学研究室等</p> <p>テーマ：「ゲノム医療・・・がん患者の遺伝子に基づく薬物療法」</p> <p>「在宅医療と緩和医療」</p> <p>「小児がん治療における TDM の役割」</p> <p>「遺伝子変異検出」</p> <p>主 催：北信がんプロ</p> <p>参加者：40名</p>		

内 容	
福井大学	<p>看護セミナー 「地域で暮らすがん患者への支援」</p> <p>日 時：平成 30 年 11 月 30 (金) 17:30~19:00 場 所：福井大学医学部 臨床大講義室</p> <p>演 題：「地域で広げよう患者の医師を尊重する意思決定支援」 講 師：片山 寛次 (福井大学医学部附属病院がん診療推進センター長)</p> <p>事例検討講師：高野 智早 (福井大学医学部附属病院 がん看護専門看護師)</p> <p>主 催：北信がんプロ 共 催：福井大学大学院医学系研究科 後 援：福井県看護協会</p> <p>参加者：98名</p>  
福井大学	<p>医療者セミナー</p> <p>日 時：平成 30 年 12 月 16 (日) 14:10~15:15 場 所：福井県民ホール リハーサル室 (AOSSA8 階)</p> <p>演題 1：「地域連携におけるアドバンス・ケア・プランニング ~患者の希望を効果的につなぐ~」 講 師：児玉 麻衣子 (福井大学医学部附属病院 がん診療推進センター 特命助教)</p> <p>演題 2：「婦人科がんにおける妊孕性温存」 講 師：黒川 哲司 (福井大学医学部 産科婦人科 准教授)</p> <p>演題 3：「腹膜転移、がん性腹水に対する治療の現状」 講 師：片山 寛次 (福井大学医学部附属病院 がん診療推進センター長)</p> <p>主 催：北信がんプロ 参 加 者：31名</p>    

	内 容
<p style="text-align: center;">金沢医科大学</p>	<p>第31回腫瘍病理セミナー／北信がんプロFD講演会</p> <p>日 時：平成30年5月18（金）17：30～19：00</p> <p>場 所：金沢医科大学 基礎研究棟3階大学院セミナー室、各大学・各施設テレビ会議室</p> <p>演 題：「超解像イメージングによって明らかになった生細胞のゲノムの折り畳み構造とそのダイナミクス」</p> <p>講 師：前島 一博（国立遺伝学研究所構造遺伝学研究センター 生体高分子研究室 教授）</p> <p>主 催：金沢医科大学病理学Ⅰ</p> <p>共 催：北信がんプロ</p> <p>参加者：36名</p> 
<p style="text-align: center;">金沢医科大学</p>	<p>第33回腫瘍病理セミナー・金沢女性研究者フォーラム／北信がんプロFD講演会</p> <p>日 時：平成30年9月12（水）15：30～18：00</p> <p>場 所：金沢医科大学 基礎研究棟3階大学院セミナー室、各大学・各施設テレビ会議室</p> <p>演 題：「細菌毒素の巧妙な体内侵入機構から学ぶ」</p> <p>講 師：藤永 由佳子（金沢大学医薬保健学総合研究域医学系細菌学 教授）</p> <p>演 題：「知られざる p53 の肖像画 ～最も有名ながん抑制遺伝子 p53 の新機能～」</p> <p>講 師：大木 理恵子（国立がん研究センター研究所基礎腫瘍ユニット 独立ユニット長）</p> <p>主 催：金沢医科大学病理学Ⅰ</p> <p>共 催：北信がんプロ、HWRN、金沢大学がん進展制御研究所</p> <p>参加者：20名</p> 
<p style="text-align: center;">金沢医科大学</p>	<p>第60回 教育懇談会</p> <p>日 時：平成30年5月16（水）17：00～18：00</p> <p>場 所：金沢医科大学 医学教育棟4階E41 講義室</p> <p>演 題：「Social Justice - a key component of Medical Education（邦題）社会的公平 - 医学教育の基幹要素のひとつ」</p> <p>講 師：Gregory Gabriel Maskarinec（ハワイ大学国際医療保健室室長・教授）</p> <p>演 題：「Ethnic Differences in Obesity, Diabetes, and Cancer（邦題）「民族性によって異なる肥満症・糖尿病や癌」</p> <p>講 師：Gertraud Maskarinec（ハワイ大学がんセンター教授）</p> <p>主 催：医学教育センター・国際交流センター</p> <p>共 催：北信がんプロ</p> <p>参加者：20名</p> 

<p>金沢医科大学</p>	<p>がん医療従事者のための教育セミナー／北信がんプロFD講演会 がん薬物治療の心毒性のメカニズムと対策 日 時：平成 30 年 7 月 6 日（金） 18：00～19：30 場 所：金沢医科大学病院 病院中央棟 3 階 中会議室 3 演 題：「がん治療における心血管毒性の病態と対策 – Onco-Cardiology の役割 –」 講 師：向井 幹夫（地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター 成人病ドック科 腫瘍循環器外来 主任部長） 主 催：金沢医科大学大学院医学研究科循環制御学 共 催：北信がんプロ 参加者：23 名</p>	
<p>金沢医科大学</p>	<p>平成 30 年度 第 21 回医学研究セミナー／北信がんプロ教育セミナー 日 時：平成 30 年 12 月 21 日（金） 18：00～19：30 場 所：金沢医科大学 基礎研究棟 2 階 会議室 演 題：「ゲノム情報に基づいたがん発症・増悪化機序の解明」 講 師：下里 修（千葉県がんセンター研究所腫瘍ゲノム研究室） 主 催：金沢医科大学大学院医学研究科 共 催：北信がんプロ 参加者：14 名</p>	

内 容		
<p>石川県立看護大学</p>	<p>平成 30 年度ライフステージ事例検討会 「CNS 関係者によるがん看護事例検討会」 【第 1 回】 日 時：平成 30 年 7 月 13 日（金） 17：30～19：00 場 所：石川県立看護大学 3 階 会議室 スーパーバイザー：坂下 智珠子（北里大学病院 がん看護専門看護師） 参加者：13 名 【第 2 回】 日 時：平成 30 年 9 月 10 日（月） 18：00～19：30 場 所：石川県立看護大学 3 階 会議室 スーパーバイザー：石垣 靖子 （北海道医療大学 名誉教授） 特別講演：「緩和ケアと臨床倫理 ～高齢者ケアに焦点をあてて～」 主 催：北信がんプロ 参加者：14 名</p>	
		

平成 30 年度看護実践セミナー

「臨床で行なうリンパ浮腫のケア」

【基礎編】

日 時：平成 30 年 8 月 5 日（日） 9：30～16：00

場 所：石川県立看護大学 中講義室 4 /

成人・老年看護学実習室

講 師：高地 弥里

（石川県済生会金沢病院 がん看護専門看護師）

参加者：52 名

【アドバンス編】

日 時：平成 30 年 9 月 8 日（土） 9：30～15：30

場 所：石川県立看護大学 教育研究棟 2 階 成人・老年看護学実習室

講 師：山岸 愛（石川県済生会金沢病院 リンパ浮腫療法士）

高地 弥里（石川県済生会金沢病院 がん看護専門看護師）

時山 麻美（富山県立中央病院 がん看護専門看護師）

主 催：北信がんプロ

参加者：11 名



公開講座

「がんゲノム医療を理解し現場に活かそう」

日 時：平成 30 年 9 月 29 日（土） 13：00～15：30

場 所：ホテル金沢 5 階アプロース

第 1 部：「真の個別化、がんゲノム医療の到来」

講 師：安本 和生（金沢医科大学腫瘍内科学講座 教授）

第 2 部「ゲノム医療における遺伝カウンセリングと看護」

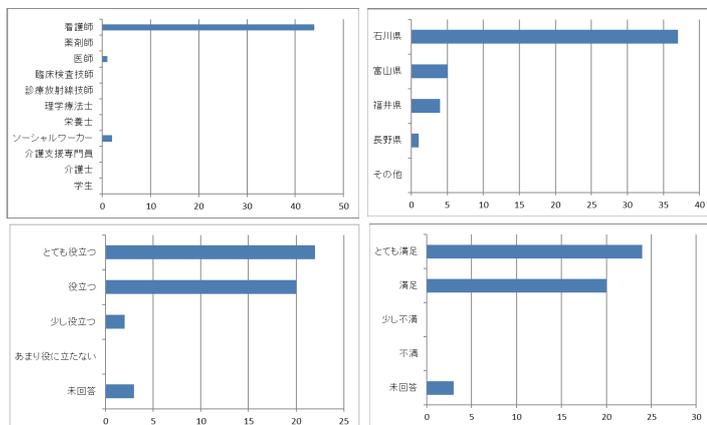
講 師：村上 好恵

（東邦大学看護学部がん看護学研究室 教授）

主 催：北信がんプロ

後 援：石川県病院薬剤師会、北國新聞社

参加者：63 名



内 容	
石川県立看護大学	<p>平成 30 年度公開事例検討会 「人生最終段階の生をどう支えるかー人生から治療の意味を考えるー」 日 時：平成 31 年 3 月 2 日 (土) 10:00~12:00 場 所：ホテル金沢 5 階アプローチ</p> <p>～第 1 部～ 事例提供及び質疑応答 事例提供者：時山 麻美 (富山県立中央病院 がん看護専門看護師)</p> <p>～第 2 部～ 事例検討及びシンポジウム コメンター/シンポジスト：古谷 和紀 (京都大学医学部附属病院 看護部管理室 副看護師長/老人看護専門看護師)</p> <p style="padding-left: 40px;">「高齢者ケアを理解する-高齢者の特徴とケアの POINT-」 ：平 優子 (市立砺波総合病院 がん看護専門看護師)</p> <p style="padding-left: 40px;">「がん化学療法を受ける高齢がん患者の特徴とケア-治療が及ぼす影響-」 ：松本 友梨子 (福井県済生会病院 がん看護専門看護師)</p> <p style="padding-left: 40px;">「高齢がん患者のエンドオブライフ・ケアアドバンス・ケア・プランニングの視点からー」</p> <p>主 催：北信がんプロ 共 催：北國 CNS の会 後 援：北國新聞社 参加者：114 名</p>



<金沢大学>

No.	内容
第1回	<p>日時：平成30年4月18日(水) 14:00~15:30</p> <p>テーマ：「肺がんの遺伝子検査に基づいた新しい治療について」</p> <p>講師：竹内 伸司(がんセンター医師)</p> <p>参加者：26名</p>
第2回	<p>日時：平成30年5月16日(水) 14:00~15:30</p> <p>テーマ：「出張“はなうめ”」</p> <p>講師：木村 美代(石川県がん安心生活サポートハウス看護師)</p> <p>参加者：17名</p>
第3回	<p>日時：平成30年6月20日(水) 14:00~15:30</p> <p>テーマ：「看護師さんに聞いてみよう」</p> <p>講師：看護部 乳がん看護認定看護師・ がん放射線療法看護認定看護師・緩和ケア認定看護師</p> <p>参加者：40名</p>
第4回	<p>日時：平成30年7月18日(水) 14:00~15:30</p> <p>テーマ：「胃がん治療の最前線」</p> <p>講師：鷹取 元(消化器内科 医師)</p> <p>参加者：25名</p>
第5回	<p>日時：平成30年9月19日(水) 14:00~15:30</p> <p>テーマ：「がんと就労」</p> <p>講師：村上 葉子(社会保険労務士)</p> <p>参加者：23名</p>
第6回	<p>日時：平成30年10月17日(水) 14:00~15:30</p> <p>テーマ：「がん治療中の口腔ケア」</p> <p>講師：大井 一浩(歯科口腔外科 医師)</p> <p>参加者：28名</p>
第7回	<p>日時：平成30年11月21日(水) 14:00~15:30</p> <p>テーマ：「腸を元気にする食事」</p> <p>講師：古市 素江(栄養管理部 管理栄養士)</p> <p>参加者：30名</p>
第8回	<p>日時：平成30年12月19日(水) 14:00~15:30</p> <p>テーマ：「こころと体を元気に」</p> <p>講師：川上 由夏(アロマセラピスト)</p> <p>参加者：36名</p>
第9回	<p>日時：平成30年1月16日(水) 14:00~15:30</p> <p>テーマ：「心とからだにより添う音楽療法」</p> <p>講師：佐藤 順子(日本音楽療法学会 音楽療法士)</p> <p>参加者：51名</p>
第10回	<p>日時：平成30年2月20日(水) 14:00~15:30</p> <p>テーマ：「がんの脊椎転移とリハビリテーション」</p> <p>講師：黒川 由貴(リハビリテーション部 理学療法士)</p> <p>参加者：26名</p>
第11回	<p>日時：平成30年3月20日(水) 14:00~15:30</p> <p>テーマ：「がん治療を支える漢方医学」</p> <p>講師：小川 恵子(漢方医学科 医師) 岩橋 麻子(鍼灸師)</p> <p>参加者：名</p>



福井大学

第2回 北信がんプロ 合同市民公開講座・県民公開シンポジウム

「がん診療最前線」

日時：平成30年12月16日(日) 15:30~17:30

場所：福井県県民ホール(アオッサ8階)

講演1: 「がん治療で大切なこと」

ー早期からの緩和ケア・がんの標準治療とはー

講師：梶浦 新也(富山大学附属病院 臨床腫瘍部 副部長)

講演2: 「がん登録情報から地域のがんを考える」

講師：小泉 知展(信州大学医学部包括的がん治療学 教授)

講演3: 「がんゲノム外来開始について」

講師：根来 英樹

(福井大学医学部附属病院 がん診療推進センター 助教)

講演4: 「がんゲノムと再生医療を融合させた新学域

: ゲノム再生医療の実践」

講師：下平 滋隆(金沢医科大学医学部再生医療学 教授)

講演5: 「いま保険診療でできる免疫療法の実力」

講師：矢野 聖二(金沢大学附属病院 がんセンター 教授)

主催：北信がんプロ

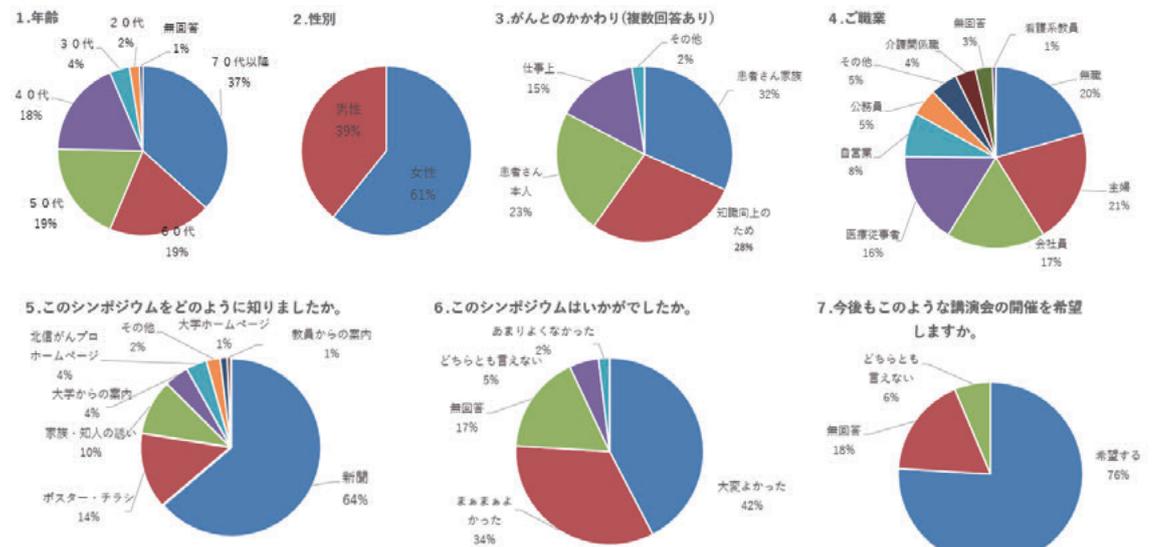
共催：福井新聞社

後援：福井県医師会、福井県薬剤師会、福井看護協会、
福井県病院薬剤師会、福井県がん診療連携協議会

参加者：250名



市民公開講座での参加者の声(アンケート結果)



北國新聞

第2回北信がんプロ合同市民公開講座・県民公開シンポジウム

がん診療最前線

医学の急速な発展により、がんの治療法も変わりつつあります。今回、北信4県合同の開催となった第2回北信がんプロ合同市民公開講座・県民公開シンポジウム「がん診療最前線」(2018年12月16日、福井県福井市のAOSSAにて開催)では、専門医がそれぞれの立場から最新のがん診療について紹介。約250名の参加者は、さまざまな角度から変わりゆくがん診療について理解を深めました。

※「超少子高齢化地域での先進的がん医療人集約(北信がんプロ)」は、北陸3県と長野県の6大学が連携し、がん専門医患者の集約や情報共有を図るものです。

納得できる医療を求めて。



主催

超少子高齢化地域での先進的がん医療人集約(北信がんプロ)
http://gan-pro.net/

金沢大学、信州大学、富山大学、金沢医科大学、石川県立看護大学、福井大学
共催：北信新聞社

がん診療の最前線。医学の急速な発展により、がんの治療法も変わりつつあります。今回、北信4県合同の開催となった第2回北信がんプロ合同市民公開講座・県民公開シンポジウム「がん診療最前線」(2018年12月16日、福井県福井市のAOSSAにて開催)では、専門医がそれぞれの立場から最新のがん診療について紹介。約250名の参加者は、さまざまな角度から変わりゆくがん診療について理解を深めました。



がん治療で大切なこと 早期からの緩和ケア、がんの標準治療とは

福井大学病院 緩和病棟 部長
梶浦 新也氏

東洋のがんの診断が出た際、本人には伝えず、家族にだけ伝えて欲しいと希望されることも多くあります。しかし、治療方針を決めるには患者本人入らず、やはりご本人とご家族が一緒に病状説明を受けていただき、納得して今後の方針を決定していただくことが大切です。医師のコミュニケーション技術が高ければ、悪い知らせを告げられた時の苦痛が軽減され、早期に緩和ケアを受け、QOLを改善する緩和ケアが可能です。それらから緩和ケアを行えば、余命を改善するとか研究開発もできており、今後治療期から緩和ケアが同時に提供されることが期待されています。今、全国で緩和ケア研修会が行われ、医師の緩和ケアのレベル向上を目指しています。がんの治療方針を選択する際、まず「標準治療」を進めたい、特別な治療を受けたい、方もおられるでしょう。しかし、標準治療とは、科学的な研究に基づいた一番良い治療を指すことでご理解ください。標準治療に加えて、民間療法やサプリメントを取り入れる方もおられますが、必ずしも効果があせません。取り入れるのではなく、効果があること、どのような効果を期待するにしても、まず主治医の先生とご相談してください。



司会進行・開会挨拶
福井大学病院 緩和病棟 部長
がん診療最前線 実行委員会 代表
片山 寛次

がんプロ合同シンポジウム「がん診療最前線」は、3回目を迎えました。北信4県と富山県の6大学が連携し、がん専門医の集約や情報共有を図る「超少子高齢化地域での先進的がん医療人集約(北信がんプロ)」の一環として、市民公開講座・県民公開シンポジウムを開催しました。今回は、がん診療の最前線について、がん専門医がそれぞれの立場から最新のがん診療について紹介しました。

がん診療の最前線。医学の急速な発展により、がんの治療法も変わりつつあります。今回、北信4県合同の開催となった第2回北信がんプロ合同市民公開講座・県民公開シンポジウム「がん診療最前線」(2018年12月16日、福井県福井市のAOSSAにて開催)では、専門医がそれぞれの立場から最新のがん診療について紹介。約250名の参加者は、さまざまな角度から変わりゆくがん診療について理解を深めました。



がんゲノム外来開始について

福井大学病院 緩和病棟 部長
根来 英樹氏

分子標的薬、免疫チェックポイント阻害薬の開発が進んだことにより、個別化治療の必要性が高まってきました。それに伴い、がん診療の分野で大きく変わってきています。福井大学病院緩和病棟では、昨年11月から、がんに関する遺伝子の解析に基づいた個別化治療を開始しています。福井大学病院緩和病棟では、がんに関する遺伝子の解析に基づいた個別化治療を開始しています。福井大学病院緩和病棟では、がんに関する遺伝子の解析に基づいた個別化治療を開始しています。

がん診療の最前線。医学の急速な発展により、がんの治療法も変わりつつあります。今回、北信4県合同の開催となった第2回北信がんプロ合同市民公開講座・県民公開シンポジウム「がん診療最前線」(2018年12月16日、福井県福井市のAOSSAにて開催)では、専門医がそれぞれの立場から最新のがん診療について紹介。約250名の参加者は、さまざまな角度から変わりゆくがん診療について理解を深めました。

がん診療の最前線。医学の急速な発展により、がんの治療法も変わりつつあります。今回、北信4県合同の開催となった第2回北信がんプロ合同市民公開講座・県民公開シンポジウム「がん診療最前線」(2018年12月16日、福井県福井市のAOSSAにて開催)では、専門医がそれぞれの立場から最新のがん診療について紹介。約250名の参加者は、さまざまな角度から変わりゆくがん診療について理解を深めました。



いま保険診療でできる免疫療法の威力

福井大学病院 緩和病棟 部長
矢野 聖一氏

免疫は、免疫細胞が持つPD-1という分子の働きによって調節されています。この分子の働きを阻害することで、がん細胞は免疫細胞の攻撃を受けやすくなります。現在、免疫細胞の働きを阻害する薬が開発されており、がん治療に大きく貢献しています。福井大学病院緩和病棟では、免疫細胞の働きを阻害する薬を開発し、がん治療に大きく貢献しています。

がん診療の最前線。医学の急速な発展により、がんの治療法も変わりつつあります。今回、北信4県合同の開催となった第2回北信がんプロ合同市民公開講座・県民公開シンポジウム「がん診療最前線」(2018年12月16日、福井県福井市のAOSSAにて開催)では、専門医がそれぞれの立場から最新のがん診療について紹介。約250名の参加者は、さまざまな角度から変わりゆくがん診療について理解を深めました。

がん診療の最前線。医学の急速な発展により、がんの治療法も変わりつつあります。今回、北信4県合同の開催となった第2回北信がんプロ合同市民公開講座・県民公開シンポジウム「がん診療最前線」(2018年12月16日、福井県福井市のAOSSAにて開催)では、専門医がそれぞれの立場から最新のがん診療について紹介。約250名の参加者は、さまざまな角度から変わりゆくがん診療について理解を深めました。

がん診療の最前線。医学の急速な発展により、がんの治療法も変わりつつあります。今回、北信4県合同の開催となった第2回北信がんプロ合同市民公開講座・県民公開シンポジウム「がん診療最前線」(2018年12月16日、福井県福井市のAOSSAにて開催)では、専門医がそれぞれの立場から最新のがん診療について紹介。約250名の参加者は、さまざまな角度から変わりゆくがん診療について理解を深めました。

がん診療の最前線。医学の急速な発展により、がんの治療法も変わりつつあります。今回、北信4県合同の開催となった第2回北信がんプロ合同市民公開講座・県民公開シンポジウム「がん診療最前線」(2018年12月16日、福井県福井市のAOSSAにて開催)では、専門医がそれぞれの立場から最新のがん診療について紹介。約250名の参加者は、さまざまな角度から変わりゆくがん診療について理解を深めました。

がん診療の最前線。医学の急速な発展により、がんの治療法も変わりつつあります。今回、北信4県合同の開催となった第2回北信がんプロ合同市民公開講座・県民公開シンポジウム「がん診療最前線」(2018年12月16日、福井県福井市のAOSSAにて開催)では、専門医がそれぞれの立場から最新のがん診療について紹介。約250名の参加者は、さまざまな角度から変わりゆくがん診療について理解を深めました。

内容

金沢大学

平成30年度 第1回北信がんプロ市民公開講座 in 金沢
第30回日本医学会総会2019 中部プレイベント

「明治維新から150年 激動するがん医療の流れを知ろう」

日時：平成30年10月28日(日) 14:00~16:30

場所：金沢大学 宝町キャンパス 十全講堂

～第1部～

「もっと知りたい がんゲノム医療」

金沢でもがんゲノム医療が受けられるのでしょうか

講演1：「ガッテン！ゲノム変異の意味」

講師：松本 邦夫

(金沢大学がん進展制御研究所腫瘍動態制御 教授)

講演2：「これが金沢でのがんゲノム医療です」

講師：竹内 伸司 (金沢大学附属病院がんセンター 講師)

講演3：「がんが遺伝するかお悩みの方へ」

講師：渡邊 淳 (金沢大学附属病院遺伝診療部 特任教授)

講演4：「免疫療法の実力とがんゲノム医療との接点」

講師：齋藤 寛晃 (金沢大学医学類5年)

毎田 彩季 (金沢大学医学類4年)

～第2部～

特別講演：「大切にしたい自分の体～2度の子宮がんを経験して～」

講師：原 千晶 (女優)

主催：北信がんプロ、金沢大学医学展実行委員会

共催：第30回日本医学会総会2019 中部、石川県医師会、

石川県がん診療連携協議会、金沢大学がん進展制御研究所、金沢大学附属病院先端医療開発センター、

北陸認知症プロフェッショナル医養成プラン、北國新聞社、

後援：石川県、金沢市、金沢市医師会、石川県看護協会、テレビ金沢、エフエム石川、金沢ケーブルテレビネット、

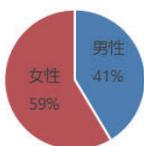
北陸放送

参加者：151名

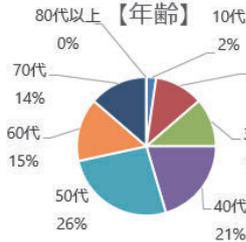


市民公開講座での参加者の声 (アンケート結果)

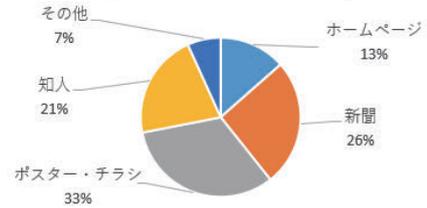
【性別】



【年齢】



【開催を何で知ったか】



講演	ご意見・ご感想
第1部 「もっと知りたい がんゲノム医療」	<ul style="list-style-type: none"> 治療の選択肢が広がっている事におどろいた。税金はこういう分野にどんどん使って欲しい。(40代・女性) どの御講義もとてもわかりやすかったです。最先端治療のお話を聞かせてもらい感謝します。(60代・男性) がんがどの様に発症するのか?その仕組みと現代の治療法について知ることが出来た。(40代・男性) ゲノムが何から、受診の方法まで分かりやすかった。最後の学生発表は分かりやすく、今後の医療について興味を持たれた。(30代・女性) 講演時間に制限があったためか、早口だったと思う。もう5分でもあれば、聞きやすかったのでは。(50代・女性)
第2部 「大切にしたい 自分の体」	<ul style="list-style-type: none"> 昨年、腫瘍が発見されました。3ヶ月毎に受けなければならない検査を1ヶ月以上放置しています。逃げたいという気持ちは誰にでもあるのだなと思いました。すぐに病院に行きます。ありがとうございます。(40代・女性) わかりやすく、そして気丈に頑張ってこられた原さんのお話に感動しました。私もがん患者ですが、すごく勇気ができました。ありがとうございます。(60代・男性) 非常に生々しい話でした。今日帰ってから家族の皆に話をしたいと思います。(50代・男性) 辛い経験を楽しく(?)話していただきあっという間の時間でした。原さんのファンになりました。(40代・女性) ご自身の辛い体験を語っていただき貴重なお話ができて、身にしみました。原さんにはこれからもどんどん活躍していただきたいです。(50代・女性) 講師の体験が、患者・家族サイド、医療者、双方の立場から学ぶべきことがたくさんありました。患者として正直な気持ちと医療者の次なる人生の支えについて、心に響きました。(40代・女性)

金沢大学

第18回日本癌治療学会 市民公開講座

「進行がんに関するマネージメント」

日 時：平成30年12月23日(日) 13:15~15:15

場 所：北國新聞赤羽ホール

～第1部～

講演1：「進行卵巣癌のマネージメント」

講 師：水本 泰成 (金沢大学附属病院産婦人科 助教)

講演2：「安全に治療を受ける為のからだづくり」

講 師：伏田 幸夫 (金沢大学胃腸外科学 准教授)

講演3：「がんとロコモティブシンドローム (運動器症候群)」

講 師：土屋 弘行 (金沢大学整形外科学 教授)

講演4：「進行期肺がんの最新治療」

講 師：矢野 聖二

(金沢大学がん進展制御研究所 腫瘍内科 教授)

講演5：「乳がん～転移再発乳がん METAvivor とともに歩む～」

講 師：石川 聡子 (金沢大学附属病院乳腺科 助教)

講演6：「進行性前立腺癌に対するマネージメント」

講 師：泉 浩二 (金沢大学泌尿器集学的治療学 講師)

～第2部～

特別講演1：「治療と仕事の両立支援

～はたらくをあきらめないために～」

演 者：小矢田 由希

(ラクシュミー社会保険労務士事務所 代表)

特別講演2：「がんサバイバーとして歌うこと」

演 者：mayumi yamazaki

(シンガーソングライター (がんサバイバー))

主 催：日本癌治療学会

共 催：北信がんプロ

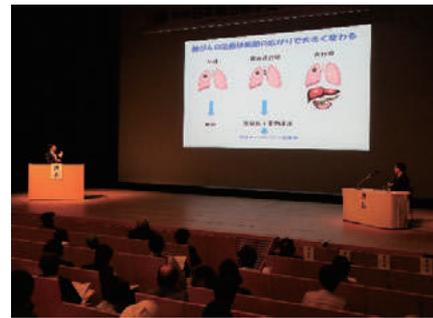
後 援：厚生労働省、日本対がん協会、石川県、金沢市、

(公社) 石川県医師会、(公社) 金沢市医師会、

(公社) 石川県看護協会、石川県がん診療連携協議会、金沢大学、石川県薬剤師会、石川県病院薬剤師会、石

川産業保健総合支援センター、北國新聞社、テレビ金沢、エフエム石川、金沢ケーブルテレビネット、北陸放送、がん患者団体 (石川よろこびの会、赤い靴ひもの会ほか)

参加者：150名



内 容

信州大学

信州大学がんプロ市民公開講座

「これからのがん治療を考える」

日 時：平成 30 年 10 月 6 (土) 15:30~17:30

場 所：信州大学旭総合研究棟 9 階 講義室 A・B

講演 1：「信大病院におけるがんゲノム医療」

講 師：小泉 知展

(信州大学医学部附属病院 信州がんセンター 教授)

講演 2：「がんの在宅医療」

一住み慣れた家で最後まで

松本姉妹都市「藤沢」の在宅がん緩和医療—

講 師：松木 孝道 (藤沢本町ファミリークリニック 院長)

主 催：北信がんプロ

共 催：AMED ゲノム創薬基盤推進研究事業

「ゲノム医療従事者の育成プログラム開発」班

参加者：60 名



信州大学

信州大学がん哲学外来 in 軽井沢

日 時：平成 30 年 4 月 8 (日) 13:00~15:00

場 所：軽井沢病院 2 階 会議室

講 師：樋野 興夫 (順天堂大学医学部 病理・腫瘍学講座 教授)

共 催：信州大学医学部附属病院、
軽井沢町国民健康保険軽井沢病院、
北信がんプロ

参加者：22 名

信州大学

公開講座

「内視鏡による大腸がんの診断・治療」

日 時：平成 30 年 6 月 28 日 (木) 18:00~19:00

場 所：信州大学医学部附属病院 外来棟 4 階 大会議室

講 師：菅 智明 (信州大学医学部附属病院 内視鏡センター 副センター長)

主 催：信州大学医学部附属病院 信州がんセンター

共 催：北信がんプロ

参 加 者：70 名

		内 容
信州大学	<p>公開講座</p> <p>「胃癌の外科的治療について」</p> <p>日 時：平成 30 年 9 月 20 (木) 18 : 00~19 : 00</p> <p>場 所：信州大学医学部附属病院 外来棟 4 階 大会議室</p> <p>講 師：村中 太 (信州大学医学部附属病院 消化器外科 助教)</p> <p>主 催：信州大学医学部附属病院 信州がんセンター</p> <p>共 催：北信がんプロ</p> <p>参加者：60 名</p>	
信州大学	<p>信州大学がん哲学外来 in 軽井沢</p> <p>日 時：平成 30 年 10 月 14 (日) 10 : 00~12 : 00</p> <p>場 所：軽井沢病院 2 階 会議室</p> <p>共 催：信州大学医学部附属病院、 軽井沢町国民健康保険軽井沢病院、 北信がんプロ</p> <p>参加者：8 名</p>	
信州大学	<p>公開講座</p> <p>「がんゲノム医療 クリニカルシーケンスについて」</p> <p>日 時：平成 30 年 11 月 1 日 (木) 18 : 00~19 : 00</p> <p>場 所：信州大学医学部附属病院 外来棟 4 階 大会議室</p> <p>講 演：「信大病院におけるがんゲノム医療の試み」</p> <p>講 師：小泉 知展 (信州大学医学部附属病院 信州がんセンター センター長)</p> <p>講 演：「がんゲノム医療における遺伝カウンセリングの役割」</p> <p>講 師：小島 朋美 (信州大学 医学部 遺伝医学教室 認定遺伝カウンセラー)</p> <p>主 催：信州大学医学部附属病院 信州がんセンター</p> <p>共 催：北信がんプロ</p> <p>後 援：AMED ゲノム創薬基盤推進研究事業「ゲノム医療従事者の育成プログラム開発」班</p> <p>参 加 者：100 名</p>	
信州大学	<p>市民公開講座</p> <p>「がんと栄養～よりよく生活するために～」</p> <p>日 時：平成 30 年 11 月 15 (木) 17 : 30~19 : 00</p> <p>場 所：信州大学医学部附属病院 外来棟 4 階 大会議室</p> <p>講 師：座光寺 知恵子 (信州大学医学部附属病院 臨床栄養部 管理栄養士)</p> <p>主 催：信州大学医学部附属病院 緩和ケアセンター</p> <p>後 援：北信がんプロ</p> <p>参加者：82 名</p>	

内 容	
信州大学	<p>市民公開講座「がん治療における放射線診断・放射線治療の役割」</p> <p>日 時：平成 30 年 12 月 9 日（日） 14：00～16：00</p> <p>場 所：長野赤十字病院 南新棟 2 階 第 1 研修ホール</p> <p>講 演：「がん診療と画像診断～発見から治療後までの関わり～」</p> <p>講 師：宮崎 純子（長野赤十字病院 放射線診断科）</p> <p>講 演：「がん放射線治療の実際～外部照射を中心に～」</p> <p>講 師：酒井 克也（長野赤十字病院 放射線治療科）</p> <p>講 演：「小線源治療について」</p> <p>講 師：松下 大秀（長野市民病院 放射線治療科）</p> <p>主 催：長野県がん診療連携協議会</p> <p>後 援：北信がんプロ</p> <p>参加者：73 名</p> 
信州大学	<p>公開講座</p> <p>「患者さんの心のケア～気持ちのつらさからせん妄まで～」</p> <p>日 時：平成 31 年 2 月 7 日（木） 18：00～19：00</p> <p>場 所：信州大学医学部附属病院 外来棟 4 階 大会議室</p> <p>講 師：寺田 立人（信州大学医学部附属病院 消化器外科 医員） 浅井 由佳（信州大学 医学部 精神医学教室 助教）</p> <p>主 催：信州大学医学部附属病院 信州がんセンター</p> <p>共 催：北信がんプロ</p> <p>参加者：91 名</p> 
信州大学	<p>第 5 回信州大学がん哲学外来 in 軽井沢</p> <p>日 時：平成 31 年 3 月 10 日（日） 10：00～12：00</p> <p>場 所：軽井沢病院 2 階 会議室</p> <p>講 師：樋野 興夫（順天堂大学医学部 病理・腫瘍学講座 教授）</p> <p>共 催：信州大学医学部附属病院、軽井沢町国民健康保険軽井沢病院、 北信がんプロ</p> <p>参加者：25 名</p> 

内 容

富
山
大
学

市民公開講座「がんゲノム医療」

日 時：平成 30 年 9 月 22 日（土）10：30～12：45

場 所：富山国際会議場大手町フォーラム 3F メインホール

講演 1：「がんゲノムの医療」

講 師：中釜 斉

（国立研究開発法人 国立がん研究センター 理事長・総長）

講演 2：「がんゲノム医療 富山大学附属病院の現状」

「遺伝性乳がんの新しい治療選択肢」

講 師：林 龍二（富山大学附属病院 臨床腫瘍部 教授）

日高 隆雄（黒部市民病院 副院長）

梶浦 新也（富山大学附属病院 臨床腫瘍部 副部長）

荒井 美栄（富山大学附属病院 第二外科）

長 光代（富山肺がん患者会ふたば副代表）

講演 3：パネルディスカッション

主 催：富山大学附属病院

共 催：北信がんプロ

後 援：富山県、富山市、富山県医師会、富山市医師会、富山県薬剤師会、富山市薬剤師会、富山県看護協会、
富山県がん診療連携協議会

参加者：330 名



富
山
大
学

市民公開講座「在宅緩和ケア」

日 時：平成 31 年 2 月 10 日（日）13：00～15：30

場 所：富山国際会議場 3 階メインホール

～第 1 部～

講演 1：「新川地域における取り組み～「あんしん在宅ネット」
を利用した多職種連携・病診連携～」

講 師：川瀬 紀夫（新川地域在宅医療連携協議会・川瀬医院委員長）

講演 2：「高岡地域における取り組み～人生会議について～」

講 師：林 智彦

（高岡市医師会在宅医療支援担当理事・なのはなクリニック院長）

講演 3：「拠点病院における取り組み～がん哲学外来と CST～」

講 師：竹川 茂（富山県立中央病院 緩和ケアセンター部長）

～第 2 部～

・緩和ケア合同検討会議について

梶浦 新也（富山大学附属病院 臨床腫瘍部 副部長）

・緩和ケア合同検討会議（パネルディスカッション）～在宅緩和ケアについて～

川瀬 紀夫・林 智彦・竹川 茂・村上 望・梶浦 新也

主 催：北信がんプロ、富山大学附属病院

共 催：富山県がん診療連携協議会、富山県立中央病院、黒部市民病院、富山労災病院、厚生連高岡病院、高岡市民
病院、市立砺波総合病院、富山市民病院、富山赤十字病院、済生会高岡病院

後 援：富山県、富山市、富山県医師会、富山市医師会、富山県薬剤師会、富山市薬剤師会、富山県看護協会

参加者：298 名



内 容

金沢医科大学

市民公開講座
第31回日本サイコオンコロジー学会総会
 日 時：平成30年9月22日（土）15：30～16：30
 場 所：金沢歌劇座ホール
 講 演：「がんところのケア：ところの持ち方のこつ」
 講 師：明智 龍男
 （名古屋市立大学 医学研究科精神・認知・行動医学分野 教授）
 講 演：「がんとともに、自分らしく生きる」
 講 師：高野 利実
 （虎の門病院 臨床腫瘍科 部長）
 共 催：北信がんプロ、第31回日本サイコオンコロジー学会
 参加者：65名



金沢医科大学

市民公開講座
「がん治療と妊孕性温存：大切な生命のリレーのために」
 日 時：平成30年10月8日（月・祝）14：00～16：00
 場 所：ホテル金沢4階エメラルドルーム
 「北信がんプロのご紹介」
 元雄 良治（金沢医科大学腫瘍内科学 教授、
 北信がんプロ金沢医科大学コーディネーター）
 講 演：「若年がん患者の妊孕性に関する支援の現状と課題」
 講 師：清水 千佳子
 （国立国際医療研究センター病院乳腺腫瘍内科 科長）
 講 演：「がん患者の妊孕性温存と滋賀県の取り組み」
 講 師：木村 文則
 （滋賀医科大学産科学婦人科学講座 准教授）
 主 催：北信がんプロ、金沢医科大学大学院医学研究科腫瘍内科学
 共 催：石川県がん診療連携協議会
 後 援：石川県医師会、北國新聞社、テレビ金沢、エフエム石川
 参加者：38名



海外FD研修会／台湾・高雄（金沢医科大学主催）

【テーマ】ゲノム医療を含むがん高度医療、研究施設の視察

【日程】平成30年11月13日(火)～11月17日(土)

【参加者】13名

大学名	所属	役職
金沢医科大学	医学部再生医療学	教授
金沢医科大学	医学部臨床病理学	教授
金沢医科大学	医学部呼吸器外科学	教授
金沢医科大学	医学部免疫学	教授
金沢医科大学	医学部腫瘍内科学	特任教授
金沢医科大学	総合医学研究所生命医科学研究領域	教授
金沢医科大学	総合医学研究所先端医療研究領域	教授
金沢医科大学	看護学部成人看護学	講師
金沢大学	医薬保健学域医学類分子細胞病理学	助教
金沢大学	がん進展制御研究所腫瘍内科研究 分野	特任助教
金沢大学	附属病院	がん緩和ケア認定看護師
信州大学	医学部医学科包括的がん治療学	教授
信州大学	医学部附属病院信州がんセンター	医員

【訪問先】高雄医学大学：脂質科学・老化研究センター、ゲノム・プロテオミクス医学実験室、動物実験室

高雄医学大学附属中和紀念病院：臨床医学研究部橋渡し研究センター、

高医がんセンター、婦人乳房センター、ホスピス

高雄市立小港病院：娜路彎デイケアステーション

高雄市立大同病院：がんセンター、緩和ケアセンター、福楽学堂デイケアステーション、金齡書房



【訪問施設の概要】

高雄医学大学

1954年に高雄医学院として、前高雄市長と台湾第1号の医学博士取得者により創設され、1999年に高雄医学大学となりました。台湾で最も歴史があり、7学部（医学部、歯学部、薬学部、看護学部、保健学部、生命科学部、人文社会学部）からなるトップレベルの私立大学です。日本の31校を含む海外の130校と交流協定を締結しており、高雄医学大学附属中和紀念病院の他、高雄市から委託を受けた3つの病院を運営しています。

高雄医学大学 脂質科学・老化研究センター

高雄医学大学 脂質科学・老化研究センターは、脂質と老化に関する科学的知識を普及させるための教育、研究、社会的責任の啓蒙に焦点を当てています。目標を達成するため (A)研究資源部門、(B)医療統計学およびバイオインフォマティクス部門、(C)新規診断プラットフォームおよび治療法の開発を目指す発明、の3つの部門に分けています。



高雄医学大学 臨床研究部 橋渡し研究センター

1. 研究資源部門

コア機器のセクション、共通研究室のセクション、管理セクションの3つのセクションで構成されています。

2. 医療統計学およびバイオインフォマティクス部門

臨床研究チームの統計解析を担い、リソースを提供することにより論文の質を向上することに焦点を当てています。2014年には、Kaohsiung Medical University Hospital Research Database (KMUHRD) を設立し、医療研究リソースをさらに強化しました。

高雄医学大学附属中和紀念病院 高医がんセンター

高雄医学大学附属中和紀念病院 高医がんセンターは、がん予防、スクリーニング及びがん治療を含んだ、がん治療チームを形成することを使命としています。がん専門家で構成され、患者に対し最適な治療を議論し、チーム医療を行っています。



高雄医学大学附属中和記念病院 ホスピス

高雄医学大学附属中和記念病院は、高雄および屏東地域の患者を対象に 1986 年以来提供してきたホームサービスの緩和医療を拡充し、ホスピス病棟を設置しています。

高雄市立小港病院 娜路彎デイケアステーション

高雄医学大学は、高雄市の住民委員会と協力して、地域の高齢者のためのデイケアステーションを設立しました。

【研修内容・所感】

・上記施設への視察訪問を行い、臨床家、研究者、医療従事者との交流を行った。特に、14 日午前の脂質 科学・老化研究センター実験室を視察の後、ゲノム・プロテオミクス医学実験室のメンバーの方々と学術交流は非常に有意義であった。同日午後の学術交流終了後には、同大学の動物実験室を特別に見学させていただき、意見交換も行った。

特に、附属病院長の Dr.Hou 先生が統括する Clinical Medicine 部署は、大学内ならびに関連病院のがん登録情報（わが国のがん登録情報以上に詳細な内容）を独自のシステムで各施設のデータマネージャーがデータ入力を担当しこれらデータは大学の Clinical Medicine 部署に集積される。本データは、臨床研究・論文作成等発表の際に本部署が担当医の依頼内容を基に必要なデータの解析や統計処理を一手に行うシステムが驚くほど完璧に構築されていた。本システムは、繁忙な臨床医の日々の疑問を研究報告という形で論文発表する際に非常に重要な作業を提供する。当院をはじめ、北信がんブローを構成するがん拠点病院においても本システムの構築は非常に有用であるばかりでなく大きな武器になると深く感心し、当院での構築を強く意識させた。本システムの導入が今後がん診療・研究・教育に大いに役立つものと考えられ、大変貴重な研修となった。

15 日の医学生への OSCE 見学等、多岐に亘った、非常に実りのある研修であった。

・上記施設への視察訪問を行い、臨床家、研究者、医療従事者との交流を行った。14 日午後には、研修プログラムの他に、中和記念病院の緩和ケア・がんセンターを再び訪れ、緩和医療従事者と改めて意見交換を行った。15 日には医学生への OSCE 見学、教員教育の取り組みも紹介された。

視察施設では、1 日あたり約 100 名の化学療法を受けるがん患者に対応できる環境と、有害事象ケアだけでなく、外見の悩みや当事者の社会との関係の変化に応じたアピアランスケアのために専用個室も整備してあった。さらに、会計も同じ場で効率的に済ませるシステムになっていた。

その他、小児がん病棟や緩和ケア病棟では、当事者たちが語り合える個室・電話 BOX、臥床したまま入浴できる浴室も見学できた。日本とは異なる多民族、言語、宗教を持つ国民性を大事にした研修は貴重な内容であった。

すべてのプログラムにおいて、単なる視察ではなく、心のこもった交流を持つことができ、非常に有意義な研修であった。

広報活動

◆ホームページ公開

北信がんプロの紹介、患者・一般向け情報、教育コースの受講者募集・受講者向け情報、セミナーや市民公開講座の案内や活動報告を日々更新

URL <http://www.gan-pro.net/>



【ホームページアクセス状況（1年間）】

- ・新規ユーザー数 7,451
- ・ページビュー 52,198
- ・ページ/セッション 3.92
(ページ閲覧数/訪問者数)

【ホームページ更新状況】

- ・金沢大学 48回
- ・信州大学 22回
- ・金沢医科大学 12回
- ・石川県立看護大学 21回

SNS (facebook/Twitter) : 金沢大学 30回
金沢医科大学 8回



(facebook)

(Twitter)



◆ニュースレター発行

北信がんプロの取り組みをまとめたニュースレターを発刊し、がん診療連携拠点病院等に配布。連携各大学・がん診療連携拠点病院などの活動状況の報告、イベントの告知などを掲載。

< vol.2 >



< vol.3 >



< vol.4 >



◆新聞掲載記事

平成 30 年 11 月掲載 【北國新聞】
『平成 30 年 10 月 28 日（日）
第 1 回北信がんプロ 市民公開講座』
<金沢大学>



平成 31 年 1 月掲載
【福井新聞・北國新聞・信濃毎日新聞・富山新聞】
『平成 30 年 12 月 16 日（日）
第 2 回北信がんプロ 合同市民公開講座』
<福井大学>



◆新聞広告

平成 30 年 11 月掲載 【北國新聞】

多様な新ニーズに対応する
がん専門医療人材の養成を目指す

okushin
がんプロ
北信がんプロ

わが国の死亡原因1位である、がん。北信がんプロでは、文部科学省から「がん医療人材養成拠点」に認定された北陸信越地域の6大学が、それぞれの特色を生かした教育プログラムを構築し、がん治療の多様な新ニーズに対応できる「がん専門医療人材＝がんプロフェSSIONAL」を養成しています。

クラウド型e-learning講義 どこでも学習e-learnigシステム	北信がんデータベースの構築 北信地域のがん対策に活用	FD海外研修などのスタッフ研修 海外研修を支援、最新情報の共有
教員・受講生の人材交流 プログラム連携した国際シンポジウム	市民啓発・がん教育 患者会等との連携、正しい情報の発信	TV会議システムによる演習 TV会議システムでの多施設連携

インテンシブコース受講者募集中

教育 | 金沢大/がんゲノム医療生涯教育コース(医師・歯科医師)
コース | 富山大/高齢がん患者対策専門コース(医師)
福井大/在宅栄養管理コース(医師等)

●上記はコースの一部です。詳しくはホームページをご覧ください。

がんプロアワー 北國新聞ニュース・プラス
(地デジeich)

がん診療の最前線の情報やがん診療連携拠点病院の特色、患者の声などを紹介します。

金沢ケーブルテレビネットで毎週日曜日の午後2時より放送中!

●2018年10月28日に開催された市民公開講座の模様は2019年1月～3月放送予定。

お問い合わせ
〒920-8640 石川県金沢市宝町13-1 金沢大学大学院医薬保健学総合研究科内
TEL:076-234-4205 FAX:076-265-2855 Eメール:gpro@med.kanazawa-u.ac.jp URL:http://www.gan-pro.net

超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成(北信がんプロ)事務局

◆テレビ放送

『がんプロアワー』：金沢ケーブルテレビネットにて毎週日曜日 14：00～15：00 に放送中。
がん診療の最前線の情報やがん診療連携拠点病院の特色、患者の声などを紹介。

・平成 30 年 10 月 29 日（日）に開催された「第 1 回北信がんプロ 市民公開講座・第 30 回日本医学会総会 2019 中部プレイベント（金沢大学）」のダイジェスト版（60 分番組）を金沢ケーブルテレビネット、テレビ松本、ケーブルテレビ富山、福井ケーブルテレビにて平成 31 年 1 月に放送。

・平成 30 年 12 月 16 日（日）に開催された「第 2 回北信がんプロ 合同市民公開講座・県民シンポジウム（福井大学）」のダイジェスト版（60 分番組）を金沢ケーブルテレビネット、テレビ松本、ケーブルテレビ富山、福井ケーブルテレビにて平成 31 年 2 月に放送。



第Ⅲ部 外部評価委員会

「超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成（北信がんプロ）」

外部評価委員会議事次第

日 時：平成31年3月8日(金曜日) 14時30分～16時00分
場 所：金沢大学医学類B棟1階応接室

(進行) 統括コーディネーター 金沢大学附属病院がんセンター教授 矢野 聖二

I. 開会挨拶

金沢大学基幹教育改革・財務・附属病院担当理事 大竹 茂樹

II. 議 事

1. 配付資料確認
2. 外部評価の手順、確認 (資料1)
3. 活動状況報告（北信がんプロ全体） (資料2)
(発表30分、質疑応答15分 計45分)
4. 活動状況報告（連携各大学） (資料3)
(発表5分程度、質疑応答5分 計60分程度)
 - ① 信州大学 包括的がん治療学教授 小泉 知展
 - ② 富山大学 附属病院臨床腫瘍部教授 林 龍二
 - ③ 福井大学 がん診療推進センター教授 片山 寛次
 - ④ 金沢医科大学 腫瘍内科学教授 元雄 良治
 - ⑤ 石川県立看護大学 成人看護学領域教授 牧野 智子
 - ⑥ 金沢大学 附属病院がんセンター教授 矢野 聖二
5. 評価委員・コーディネーター意見交換
6. 各外部評価委員からの講評
7. 松浦成昭外部評価委員長 講評（総括）

III. 閉会挨拶

金沢大学医薬保健学総合研究科長 堀 修

IV. 閉 会 (16:00 終了予定)

次紙へ

配付資料

- 資料 1 外部評価委員会の手順、確認
- 資料 2 「超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成（北信がんプロ）」
活動状況報告資料（北信がんプロ全体 パワーポイント資料）
- 資料 3 「超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成（北信がんプロ）」
活動状況報告資料（連携各大学（信州大・富山大・福井大・金沢医科大・
石川看護大・金沢大） パワーポイント資料）
- 資料 4 外部委員評価記入用紙（委員用）（総括）

（参考資料）

- 資料 5 「超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成（北信がんプロ）」
文部科学省 平成 29 年度多様な新ニーズに対応する「がん専門人材（が
んプロフェッショナル）養成プラン」公募申請書
- 資料 6 「超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成（北信がんプロ）」
採択時の推進委員会からのコメント

外部評価の評価手順（平成30年度）

1. 外部評価委員会の各評価委員による評価

各評価委員がそれぞれ、委員個々の評価結果報告書を作成する。

(1) 評価にあたっては、「外部評価報告（委員提出用）」を用いて、中間評価（内部点検）活動状況と評価、運営協議会によるプレゼンテーション・質疑応答に基づき評価を行う。

(2) 当該評価報告書は、本プログラム担当ががんプロ事務局へメール等で提出し、事務局で一時お預かりした後、全ての委員からの報告が揃い次第、外部評価委員会委員長へメールにて送付・提出する。

※ 各委員からの外部評価報告 がんプロ事務局へ提出 3月18日（月）17時まで

2. 外部評価委員長による外部評価委員会評価結果（案）の作成

各評価委員からの評価報告を受けて、委員長が外部評価委員会としての評価結果（案）を作成する。その後、評価結果（案）を各評価委員へ送付し、評価委員は評価結果（案）を確認する。

各評価委員は、修正意見及び質問等があれば、その旨を任意の書式により記述し、事務局へ提出する。事務局は、意見等を整理して評価委員へ送付する。

評価委員長は、必要に応じて修正意見を踏まえた評価結果（修正案）を作成し、各評価委員へ送付する。委員長は、メール等で対応できない場合、審議の必要があると認めた場合は、外部評価委員会を再度開催する。

最終的に外部評価委員会としての外部評価結果を作成し、事務局へ通知する。

※ 外部評価（総括） 最終提出締切日 3月22日（金）17時まで

お忙しいところ、誠に恐縮ですが、文科省への取組調査等の報告期限もあり、上記日程にてご対応いただきたく、よろしくお願い致します。

諸事情により、ご対応が困難な場合は、お知らせください。

【問い合わせ先】金沢大学がんプロ事務局 担当 石塚・内山
TEL 076(234)4205、076(265)2854 FAX 076(265)2855
mail:gpro@med.kanazawa-u.ac.jp

北信がんプロ 外部評価委員名簿

	氏名	所属・職名
1	まつうら なりあき	大阪国際がんセンター総長
	松浦 成昭	全国がんプロ協議会会長
2	いしおか ちかし	東北大学腫瘍内科教授
	石岡 千加史	東北次世代がんプロ事業推進責任者
3	ましま よしゆき	患者会 NPO 法人
	眞島 善幸	パンキャンジャパン理事長
4	しぶや たけし	地元産業界 シブヤ EDI 代表取締役
	澁谷 武志	(澁谷工業グループ企業)

外部評価委員会 出席者名簿

	氏名	所属・職名
1	やの せいじ	金沢大学附属病院がんセンター長
	矢野 聖二	金沢大学がん進展制御研究所腫瘍内科教授
2	こいずみ とものぶ	信州大学医学部附属病院がんセンター長
	小泉 知展	信州大学包括的がん治療学教授
3	はやし りゅうじ	富山大学附属病院臨床腫瘍部教授
	林 龍二	
4	かたやま かんじ	福井大学がん診療推進センター教授
	片山 寛次	
5	もとお よしはる	金沢医科大学腫瘍内科学教授
	元雄 良治	
6	まきの ともえ	石川県立看護大学成人看護学領域教授
	牧野 智恵	
7	おおたけ しげき	金沢大学基幹教育改革・附属病院担当理事
	大竹 茂樹	
8	ほり おさむ	金沢大学医薬保健学総合研究科長
	堀 修	
9	やすだ じゅんこ	金沢大学医薬保健系事務部学生課副課長
	安田 純子	
10	いしづか やすし	金沢大学医学大学院係 事務補佐員
	石塚 靖志	
11	うちやま めぐみ	金沢大学医学大学院係 事務補佐員
	内山 恵	
12	よこがわ なおこ	金沢大学医学大学院係 派遣職員
	横川 直子	

外部評価結果（委員提出用）

外部評価委員： 松浦成昭

【評価結果】

■問題や不十分な点はない。

□一部問題や不十分な点がある。

□全体的に不十分であるか、一部に重大な問題がある。

[実施状況に関するコメント]

順調な滑り出しの昨年に引き続き、2年目としてがんプロの事業が優れた形で実施されたと高く評価できる。特にがんプロは人材養成事業であるので、すべての大学が各コースに多くの大学院生、受講生を確保した努力には敬意を表するものである。E-ラーニングの内容が質量とも充実したことと、ICTを用いたオンコロジーセミナー、ライフステージ事例検討会で学生に提供する教育環境は素晴らしい。ゲノム医療に必要な人材養成に向けての取組みも的確に行われている。また、学内外向けのセミナー・講演会も活発に開催され、ホームページ更新による情報提供も適切に行われ、全体としてがんプロ事業が高い内容で実施されたと評価できる。

がん医療の現場では多職種連携が必須なので、それぞれの職種が他の職種の専門性も理解し、交流するための取組みを考慮頂きたいと希望する。

次年度は中間評価の年なので、引き続き気を引き締めてがんプロ事業の実施にご尽力頂きたい。

(優れた点)

- ・がんプロ大学院コース、インテンシブコースとも予定人数を確保して教育を行っている点
- ・国がゲノム医療の推進の動きに呼応して、がんゲノム多職種連携入門のインテンシブコースを新設し、多職種の教育を行い、ゲノム医療開始に貢献している点
- ・E-ラーニングの教材をそれぞれの専門家が充実した内容で作成し、全国がんプロ e-ラーニングクラウドに提供した点
- ・各大学が積極的に市民向けの広報活動を行い、多くの参加者を得た点
- ・ライフステージ事例検討会はよく練られた内容で非常に優れた取り組みである
- ・ホームページを更新し、わかりやすい内容を発信していることは評価できる。特にがんプロの入学者確保に向けたアナウンスは優れている。

(改善を要する点)

- ・E-ラーニングによる自主的な教育が中心なので、大学間・職種間の垣根を払うための取組みとしてオンコロジーセミナー、ライフステージ事例検討会は大変重要と考えられる。オンコロジーセミナーは年4回の開催で、大学院生が学ぶのに量的に十分か検証を頂きたい。また、多職種連携の重要性からオンコロジーセミナーへの医師以外のスタッフの参加、ライフステージ事例検討会への医師の参加をもっと増やすことが望ましい（特に後者）。
- ・スタッフ研修を活発に行っており意味のあることと評価するが、参加職種に偏りが見られるので、できるだけ多職種が垣根なく交流するような配慮が望ましいと考える。
- ・どの大学も自身のがんプロホームページを作り、北信がんプロのホームページからリンクを張るようにして頂きたい。

外部評価結果（委員提出用）

外部評価委員： 石岡千加史

【評価結果】
<input type="checkbox"/> 問題や不十分な点はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 一部問題や不十分な点がある。 <input type="checkbox"/> 全体的に不十分であるか、一部に重大な問題がある。
[実施状況に関するコメント] 第3期を迎えたがんプロの新しいテーマであるがんゲノム医療、希少がん・難治がん、小児AYA世代のがん～高齢者のがんまでのライフステージに対応出来るがん医療従事者の養成のために、参加各大学が連携して幅広く精力的に活動している点が評価できる。また、これらの新しいテーマの啓発を目的とする市民向けのセミナーを多数開催している点についても評価できる。
(優れた点) 1. インターネット講義への収録について、参加各大学が積極的に取り組んでいる点 2. FDの一貫として、教員を海外の優れた取り組みを参考にしている点 3. 履修者ががん患者のライフステージに対応した医療が行えるようにセミナー等の開催に力を入れている点 4. 市民啓発活動に積極的である点
(改善を要する点) 1. 本科（大学院の修士または博士課程入学者）の学生の本来の専門性（例えば、医師なら消化器外科、呼吸器内科、腫瘍内科、放射線治療科、婦人科など、医師以外のメディカルスタッフについてもその専門職種について）が評価資料から読み取れない。 2. インテンシブコースについても1と同様である。履修者の将来の進路を各大学が客観的に把握できないと、地域での新しいテーマに対応するがん医療は推進できないのではないか。 3. プラン全体では各大学が専門性を補完して多職種への教育が包括されているように考えるが、大学毎に見た場合、特定の職種や専門性に力点が置かれている。地域での医療従事者の就労範囲を考えると県単位（＝大学単位）での包括的な養成が必要ではないか。

外部評価結果（委員提出用）

外部評価委員：眞島 喜幸

【評価結果】

- 問題や不十分な点はない。
- 一部問題や不十分な点がある。
- 全体的に不十分であるか、一部に重大な問題がある。

[実施状況に関するコメント]

総括：北信がんプロ全体「超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成」

がんは多職種がうまく連携し、患者中心のチームワークとして本来対応すべき疾患である。しかし、臨床現場において患者や家族が多職種の大勢の方に守られている、チーム医療の恩恵を受けていると感じる機会はあまり多くない。それを打破すべく、北信がんプロによる人材育成と多職種によるオンコロジーケアの実現に向けた計画を着々と進めている点は高く評価できる。さらに、6大学の強みを生かしたがんプロ養成の取り組みをテクノロジーを駆使しつつ、効率的に進めていること、3期がんプロの新科目としてライフサイクルを取り入れた「がんゲノム学特論」、「小児・AYA/希少がん特論」、さらに「老年医療学徳論」が設置された点は高く評価できる。

また、今年度から本格的に始まる「がんゲノム医療」についての準備も、ゲノム検査が受けられなくて「ゲノム難民」になるのではと、患者の不安もこれから高まることが予想されるなか、北信がんプロの6大学中5大学がゲノム連携病院に指定されている点は当該地域にとり心強い点である。また、がんゲノム医療に関連し多職種を対象とした取り組みも着々と進んでいることは高く評価したい。少子高齢化地域社会を念頭においた、今後のさらなるがんゲノム医療関連の活動にも期待したい。

がんプロのプログラムが全般的に順調に進んでいる点、本科生コースの受け入れ人数もすべてのコースで目標値をクリアできた点、さらにインテンシブコースも目標値をクリアし、187%という素晴らしい達成率を実現できた点は高く評価できる。

北信がんプロで育成されたがんプロフェッショナルのこれからの活躍に期待したい。

(優れた点)

- ① 信州大学：多職種を含むチーム医療でがんゲノム医療と認定遺伝カウンセラーの重要性の習得を目指している点は評価できる。また、希少がんのデータベース構築を進めていることはアンメットニーズ解消を目指して活動である点が評価できる。また、ライフステージに応じた終末期在宅医療を進めている点は地域特性にマッチしており、優れている。また、当初はがんゲノム医療のボトルネックと言われてきたエキスパートパネルを岡山大学病院と定期的で開催している点は評価できる。今後、がんゲノム医療エキスパートパネルの課題、その解決策などについて、北信がんプロとしてまとめていただきたい。
- ② 富山大学：スタッフ研修会の企画の良さが光っている。また、小児・AYA・希少がん、さらにライフステージにおける高齢者のがん医療講義の内容もとてもいい。「高齢がん患者対策専門コース」は、がん患者の7割が65歳以上という、まさに高齢者のがん医療に関するガイドライン策定も関連学会において進んできていることを鑑み、今後は多職種による「高齢者がん医療多職種連携入門コース」などのようなコースも検討していただきたい。
- ③ 福井大学：緩和ケアチーム検討会は、7施設から多職種が参加し、PDCAサイクルを回すことでQOL向上を目指し、さらにピアレビューによる施設間調整を進めるという、まさに新風を吹き込む企画は高く評価できる。また、「在宅栄養管理コース」は大変重要なトピックであり、大勢の方が参加している点は高く評価できる。特に高齢者機能評価にインパクトを与える栄養摂取については、患者・家族のライフスタイルに適した指導をこれからも進めていただき、全国のがんプロが学べるサクセスストーリーとなっていきたい。
- ④ 金沢医科大学：「がん腫学的治療医養成コース」は、目標値をクリアしたことは評価できる。北信がんプロのテーマにそったセミナー、市民公開講座などを開催している点は評価できる。また、がん医療にかかわる医師に対するコミュニケーション技術研修会（ロールプレイを含む）は、とても重要なトピックであり高く評価できる。ライフステージ（患者・家族のライフスタイル）にあったがん医療を進める上で、これから始まるがんゲノム医療・遺伝カウンセリング・費用対効果評価など、医師のコミュニケーションスキルは今後ますます重要となるため、このような医師のコミュニケーション研修を北信がんプロ内で広めていただきたい。

⑤ 石川県立看護大学：看護師を対象とした「がんライフステージ」インテンシブコースの「がんライフケア」も参加者目標値をオーバーしていることは高く評価できる。がんゲノム医療に対する取り組みもすでに始めており評価できる。また、ライフステージ事例検討会、高齢者ケアに焦点をあてた講話、リンパ浮腫のケアなど、がんと高齢化社会のニーズをとらえた実践的な内容が多く、企画者の着眼点の良さが目立つ。これからも少子高齢化地域社会のニーズにマッチした北信がんプロを積極的に進めていただきたい。

⑥ 金沢大学：予定した受入人数をすべてクリアしている点は高く評価できる。「がんゲノム多職種連携入門コース」が順調に進んでいる点も高く評価できる。今後、ゲノム検査の導入とともに増大すると思われる現場のニーズに対応するがんプロ教育プログラムについては、受け入れ人数の増加等も考慮いただけるとよい。

また、地域がんデータベースは、年間 35,000 人が登録され、高齢者がん、小児・AYAがん、希少がんなどが解析される予定となっている点は素晴らしい。地域がん DB は北信がんプロに所属する大学グループが研究を進める上でも要となる事業。改正がん対策基本法でも第 3 期がん対策推進基本計画でも「希少がん・難治性がん」の両方が含まれている。いまは全がんの 5 年生存率が 75% に到達したと言われているが、いまだに 5 年生存率 50% にも満たないがん種がある。この難治がん患者こそ予後改善のためにゲノム検査を早い段階で受け、ゲノム医療の恩恵を最初に受けるべきグループである。従って、この難治ながん種に光をあてて臨床研究を進めることは重要なことから、難治性がんをグループとして加え、「希少がん・難治がん」で解析できるよう配慮していただきたい。

(改善を要する点)

・特になし

外部評価結果（委員提出用）

外部評価委員：  碓谷 武志

（自筆にてサインをお願いします）

【評価結果】

- 問題や不十分な点はない。
- 一部問題や不十分な点がある。
- 全体的に不十分であるか、一部に重大な問題がある。

[実施状況に関するコメント]

- ・北信がんプロの活動に参加する6大学が、それぞれの特徴を生かしながら、相互補完的にがん医療人材の育成に積極的に取り組んだと、評価できます。
- ・北信地区は全国に先駆けて超少子高齢化社会が進行しており、この北信がんプロの先進的がん医療人材の養成という取り組みは、社会的に非常に意義深い活動だと思います。

（優れた点）

- ・各大学が作成したe-learningクラウド教材を学生が大学の枠を超えて受講出来るうえ単位互換出来ること。またTV会議システムを利用し、北信オンコロジーセミナーを各大学やがん診療拠点病院間を結んで定期的を開催し、地域のハンディを超えて相互補完的に遠隔教育に取り組み、先進的がん治療を学んでいることは評価できます。

北信がんプロのホームページがかなり充実しており、がんに関する情報源として大変有益なので、もっと利用・活用されるようにPRされたいと思います。

（改善を要する点）

- ・この北信がんプロの活動に関わった医療関係者が、どのような恩恵を受けてどんな成果を出したかを、もっとアピールされたいと思います。
- ・今後も引き続き、市民公開講座やホームページを通じて、早期発見、早期治療の大切さの啓蒙に努め、たとえがんに被曝しても早期に社会復帰が出来るようにする支援体制を強化してください。また、日進月歩するがん治療の最新情報などを発信・提供していただきたい。



北信がんプロ

北信がんプロ事務局

〒920-8640 石川県金沢市宝町13番1号

(金沢大学医学類B棟1階)

TEL(076)234-4205 FAX(076)265-2855

URL: <http://www.gan-pro.net/>

E-mail: gpro@med.kanazawa-u.ac.jp